平成28年第4回定例会

東吾妻町議会会議録

平成28年12月 6日 開会

平成28年12月15日 閉会

東吾妻町議会

平成28年東吾妻町議会第4回定例会会議録目次

第1号（12月6日）

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	1
○出席議員	2
○欠席議員	2
○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名	2
○職務のため出席した者	2
○議長挨拶	3
○町長挨拶	4
○開会及び開議の宣告	5
○議事日程の報告	5
○会議録署名議員の指名	5
○会期の決定	5
○諸般の報告	6
○議員派遣の件について	7
○同意第1号の上程、説明、採決	9
○議案第8号の上程、説明、議案調査	10
○議案第9号の上程、説明、議案調査	11
○議案第10号～議案第12号の一括上程、説明、議案調査	12
○議案第13号の上程、説明、議案調査	15
○議案第14号の上程、説明、議案調査	17
○議案第1号の上程、説明、議案調査	18
○議案第2号の上程、説明、議案調査	27
○議案第3号の上程、説明、議案調査	28
○議案第4号の上程、説明、議案調査	29
○議案第5号の上程、説明、議案調査	30
○議案第6号の上程、説明、議案調査	31
○議案第7号の上程、説明、議案調査	32

○議案第15号の上程、説明、議案調査	33
○散会の宣告	34

第 2 号 (12月14日)

○議事日程	35
○本日の会議に付した事件	36
○出席議員	36
○欠席議員	36
○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名	36
○職務のため出席した者	36
○開議の宣告	37
○議事日程の報告	37
○議案第8号の質疑、自由討議、討論、採決	37
○議案第9号の質疑、自由討議、討論、採決	38
○議案第10号～議案第12号の質疑、自由討議、討論、採決	39
○議案第13号の質疑、自由討議、討論、採決	47
○議案第14号の質疑、自由討議、討論、採決	48
○議案第16号及び議案第17号の一括上程、説明、質疑、自由討議、討論、採決	48
○議案第1号の質疑、自由討議、討論、採決	51
○議案第2号の質疑、自由討議、討論、採決	52
○議案第3号の質疑、自由討議、討論、採決	52
○議案第4号の質疑、自由討議、討論、採決	53
○議案第5号の質疑、自由討議、討論、採決	54
○議案第6号の質疑、自由討議、討論、採決	54
○議案第7号の質疑、自由討議、討論、採決	55
○議案第15号の質疑、自由討議、討論、採決	56
○発委第1号の上程、説明、質疑、自由討議、討論、採決	62
○議員派遣の件について	63
○閉会中の継続審査(調査)事件について	63
○町政一般質問	70

山田信行君	70
竹淵博行君	82
根津光儀君	88
青柳はるみ君	99
○延会について	108
○延会の宣告	108

第 3 号 (12月15日)

○議事日程	111
○本日の会議に付した事件	111
○出席議員	111
○欠席議員	111
○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名	111
○職務のため出席した者	112
○開議の宣告	113
○議事日程の報告	113
○町政一般質問	113
須崎幸一君	113
金澤敏君	125
○町長挨拶	134
○議長挨拶	135
○閉会の宣告	135
○署名議員	137

平成28年12月6日(火曜日)

(第 1 号)

平成28年東吾妻町議会第4回定例会

議事日程(第1号)

平成28年12月6日(火) 午前10時開会

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 諸般の報告
- 第 4 議員派遣の件について
- 第 5 同意第 1 号 東吾妻町固定資産評価員の選任について
- 第 6 議案第 8 号 東吾妻町情報公開条例の一部を改正する条例について
- 第 7 議案第 9 号 東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 8 議案第10号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 9 議案第11号 東吾妻町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- 第10 議案第12号 東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 第11 議案第13号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例について
- 第12 議案第14号 東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 第13 議案第 1 号 平成28年度東吾妻町一般会計補正予算(第3号)
- 第14 議案第 2 号 平成28年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 第15 議案第 3 号 平成28年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 第16 議案第 4 号 平成28年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 第17 議案第 5 号 平成28年度東吾妻町地域開発事業特別会計補正予算(第2号)
- 第18 議案第 6 号 平成28年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 第19 議案第 7 号 平成28年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- 第20 議案第15号 工事請負契約の変更締結について(旧坂上小学校校舎解体工事)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（14名）

1番	一場明夫君	2番	里見武男君
3番	小林光一君	4番	重野能之君
5番	竹渕博行君	6番	佐藤聡一君
7番	根津光儀君	8番	樹下啓示君
9番	山田信行君	10番	茂木恒二君
11番	金澤敏君	12番	青柳はるみ君
13番	須崎幸一君	14番	浦野政衛君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	中澤恒喜君	副町長	渡辺三司君
教育長	小林靖能君	総務課長	茂木聡君
企画課長	佐藤喜知雄君	地域政策課長	浅見梅雄君
保健福祉課長	橋爪克敏君	町民課長	三枝仁君
税務課長	黒岩康茂君	農林課長	丸山和政君
建設課長	桑原正明君	上下水道課長	高橋修君
会計課長兼 会計管理者	松井秀之君	教育課長	田中康夫君

職務のため出席した者

議会事務局長	堀込恒弘	議会事務局 補佐	水出淳
議会事務局 補佐	高橋智恵子		

◎議長挨拶

○議長（一場明夫君） 皆さん、おはようございます。

開会に当たり、ご挨拶を申し上げます。

師走に入り、一段と寒さが厳しくなってきました。先月はいろいろな出来事があり、24日には東京都心で気象観測を始めた明治8年以来初めて、11月の初雪を観測するなど、例年より早い冬の訪れが感じられます。

その前の22日には、福島県沖を震源とした地震が発生し、緊急地震速報とともに太平洋沿岸地域に津波警報や津波注意報が発令され、日本中に緊張が走りました。幸いにして大事には至りませんでした。改めて災害時における問題点もクローズアップされたことは記憶に新しいところです。

ことしの議会報告会においても、参加者の皆さんから、町の防災対策や訓練実施の必要性に関するご意見、ご質問等を数多くいただきましたことは、議員各位ご承知のとおりであり、より具体的な取り組みを始めることが強く求められていることを再認識しなければならないと思います。

また、27日の夕方、町職員が酒気帯び運転の上、事故を起こし、逮捕されるという不祥事が発生いたしました。率先して法令を遵守すべき町職員がこのような不祥事を引き起こしたことは、まことに遺憾であり、この事件により、行政に対する町民からの信用、信頼を著しく損なってしまったことは、痛恨の極みであります。

今後、議会も含めて、行政に携わる者全てが、今回の不祥事を厳粛に受けとめ、失った信用や信頼を回復すべく、全力を傾注していかなければならないと考えます。

一方、そんな中、今月4日に熊本県で開催された第18回米・食味分析鑑定コンクール国際大会において、萩生の大塚美雄さんが2年連続で金賞を受賞されるという嬉しいニュースも届いており、皆さんとともにその受賞を喜びたいと思います。

さて、本日ここに平成28年第4回定例会が招集されましたところ、議員各位には年末極めてご多用な折、ご参集をいただき開会できますことに対し、心から感謝を申し上げます。

本定例会には人事案件を初め平成28年度補正予算案等、重要案件が提案される予定となっております。どうか議員各位におかれましては、格別なるご精励をもってご審議をお願いしたいと思います。

町長を初め執行部各位におかれましては、来年度の予算編成時期とも重なり何かとご多忙かと思いますが、会期中、特段のご協力をお願いいたしまして、開会の挨拶といたします。

本日は傍聴の申し出があり、これを許可いたしました。傍聴される方に申し上げますが、受付の際にお渡しした傍聴人心得をお守りの上、静粛に傍聴されますようよろしく願いいたします。また、傍聴席にごございます議案等の傍聴用資料は、お帰りの際にはお返しくさせていただきますよう、あわせてお願い申し上げます。

◎町長挨拶

○議長（一場明夫君） 開会に当たり、町長の挨拶をお願いいたします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） おはようございます。

平成28年第4回定例会開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

初めに、11月27日の夕刻、総務課職員片貝修が、酒気帯び運転容疑で逮捕されました。法令を遵守すべき立場にある職員がこのような違反を起こしたことは、極めて遺憾であり、まことに申しわけなく、深くおわびを申し上げます。

このような不祥事を二度と起こさないよう、全職員に対し、服務規律の徹底と綱紀粛正を強く指示いたしました。今後は、飲酒運転撲滅に取り組むとともに、行政の信頼の回復に全力で取り組んでまいります。

さて、ことしもいよいよ20日余りを残すのみとなり、大変気ぜわしい年の瀬を迎えました。本日、ここに平成28年第4回定例会を開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともにご多用のところご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

来年度予算につきましては、例年より1カ月早く11月8日に予算編成会議を開催し、年内には各課からの予算要求書が提出される予定であります。引き続き厳しい財政状況ではございますが、主要事業に対し、必要性、費用対効果などを精査した事業評価を実施し、財源の重点配分や効率化を図るとともに、町民の視点に立った行政サービスの向上を目指し、予算を編成したいと考えております。

さて、本定例会では東吾妻町固定資産評価員の選任について、人事案件1件、東吾妻町情

報公開条例の一部を改正する条例を初め条例関係 7 件、平成28年度東吾妻町一般会計予算を初め予算関係 7 件、工事請負契約の変更締結について、その他関係 1 件を提案させていただく予定でございます。

慎重かつ熱心なご審議をいただきまして、ご議決を賜りますようお願いを申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

◎開会及び開議の宣告

○議長（一場明夫君） ただいまより平成28年第 4 回定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

（午前 10 時 06 分）

◎議事日程の報告

○議長（一場明夫君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。議事日程に従い、会議を進めてまいります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（一場明夫君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員の指名は、会議規則第125条の規定により 4 番、重野能之議員、5 番、竹淵博行議員、6 番、佐藤聡一議員を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（一場明夫君） 日程第 2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から12月15日までの10日間とし、その日程はお手元に配付の日程表のとおりとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(一場明夫君) 異議なしと認め、会期は10日間と決定し、その日程は日程表のとおりとすることに決定いたしました。

町政一般質問通告書の提出期限は、12月7日正午までといたしますので、よろしくお願いたします。

限られた質問時間の中で十分な効果を上げていただくため、議員各位には従前より理論的、具体的な通告書作成にご協力をいただいております。今後も一層、皆さんにご協力をいただき、単なる事務的な見解をただすにすぎないもの、制度の内容の説明を求めるもの、議案調査の段階で正せるものや、質問者の要望を述べるものなど、一般質問の内容として適当でないものを避け、建設的な政策議論に臨んでいただきたいと思います。

一般質問通告書の内容が具体性に欠け、要旨が明確にわからない場合、または町の事務の範囲外であったり、適正を欠く内容の場合は、通告書の修正を求めたり、受理しないことがありますので、あらかじめご承知おきください。

なお、執行部におかれましても、誠実、簡明な答弁に努めていただき、活発で能率的な議会運営にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◎諸般の報告

○議長(一場明夫君) 日程第3、諸般の報告をいたします。

前期定例会に報告以降、議長としての報告事項は、印刷をしてお手元に配付のとおりであります。後ほどごらんをいただき、議会活動また議員活動に資していただければと思います。

なお、11月9日開催の第60回全国町村議会議長全国大会並びに第41回豪雪地帯町村議会議長全国大会の関係資料と町長から提出された東吾妻町議会採択請願陳情処理経過一覧もあわせて添付してありますので、参考にしてください。

以上で諸般の報告を終わります。

◎議員派遣の件について

○議長（一場明夫君） 日程第4、議員派遣の件についてを議題といたします。

去る10月18日に開催されました吾妻郡町村議会議長会主催の吾妻郡町村議会議員研修会、10月28日に開催されました群馬県町村議会議長会主催の群馬県町村議会議員研修会について、9番、山田信行議員より報告を願います。

（9番 山田信行君 登壇）

○9番（山田信行君） それでは、2点、議員派遣についてご報告を申し上げます。

町村議会研修会並びに意見交換会が10月18日長野原町山村開発センターにおいて開催されました。後に会場を移動し、意見交換会も開かれました。講師に、一般財団法人移住交流推進機構、石川智康総括参事を迎え、演題は全国の移住の動向の課題ということでありました。アクションは、行く、来る、迎える、また、呼びかけの方法は、移住から定住、そして永住へと求めるものであると、いろいろなパターンを認識し、学習をしてみました。

2点目は、群馬県町村議会議長会主催によります町村議会議員研修会が10月28日、吉岡町文化センターホールにて開催をされました。お二人の素晴らしい講師による講演をお聞きしました。

最初に、お一人目は、「～自助・近助・共助でつくる～ 災害に強いまちづくり」という演題でありました。講師の先生は、メディアでもよく見かけられます自然災害スペシャリスト、防災システム研究所所長、山村武彦さんでありました。

各防災訓練計画は、極めて重要である。しかし、防災ごっこになっているのではないかと、また、警報が出る前にしっかりと自分で判断をし、避難をしていかなければいけないというお話もありました。その中で、大変感動するお話、また、胸を締めつけられるような素晴らしいお話がありました。三助の重要性を再認識したところであります。

お二人目は、動乱の21世紀を読み、中国の台頭と日米同盟の演題でありました。外交スペシャリスト、また、作家でもある手嶋龍一氏でありました。この方も、よくマスコミ等でお見かけする講師の先生でありました。言葉の歯切れのよさ、話に引き込まれるパフォーマンスと、大変びっくりしたところであります。

演題の中で、米国の大統領選挙のエピソード、日米安保保障、北方領土問題、北朝鮮問題等々でありました。お話の中で、例えでありますけれども、国益をかけた外交交渉は、ワイニグラスを手に華やかに見えるようではありますが、舞台の袖では銃口が向けられているとい

うようなお話をお聞きしました。トップは常に利益を重んじることを、また、私たちも痛感をしたところであります。

以上、報告とさせていただきます。

○議長（一場明夫君） 山田信行議員の報告を終わります。

次に、11月6日、7日、8日、10日及び12日に実施いたしました議会報告会について、10番、茂木恒二議員より報告を願います。

（10番 茂木恒二君 登壇）

○10番（茂木恒二君） おはようございます。

それでは、議員派遣の議会報告会について、議会運営委員会の委員長より報告させていただきます。

まず、議会報告会は、議会基本条例によって開催を義務づけられております。今回は、平成21年度を第1回として、今回第8回目ということになりました。日程、それから開催地区、会場、参加者、それから要した時間等について、順に報告をさせていただきます。

まず、11月6日日曜日、坂上地区、坂上公民館、参加者は18名でした。日曜日でしたので、10時から開催、終わったのが12時18分ということで、おおむね2時間の予定でしたが、若干18分ほど多く要しました。それから、11月7日月曜日、東、あづま農村環境改善センター、参加者は11名です。時間は19時から21時09分まで。3日目が11月8日火曜日、太田、太田公民館、参加者は13名。時間が19時から20時59分でした。10日木曜日、原町、中央公民館、参加者26名。時間が19時から21時22分。最終日、11月12日土曜日、岩島の岩島公民館、参加者29名。時間が10時から12時27分でした。参加者の合計は97名ということで、今回を含めて8回になるんですけども、一番多かったのが第1回平成21年度が98名、それに次ぐ2番目に多かったということでございます。

それから、意見、要望等は政策提言として受けとめるということでございますが、事務局のまとめでご意見、ご要望等が97、ダブるものもあります。この中で多かったものをここで紹介させていただきますと、庁舎移転に関する事、それから、町の借金である公債費に関する事、人口減対策について、それから、上信道に関連したもの、それから、地方創生、それから、あと、各地区ごとのそれぞれの個別の問題等の要望も含めてのものでございました。

これらについては、議会広報対策特別委員会で取りまとめをいただいて、町のほうに提出をさせていただくと。見解をいただいたものを各地区の公民館に備えつけるということで、

町民の皆さんにフィードバックをさせていただき、そういう流れになります。

今後については、これからいろいろ課題等、検討するわけなんですけれども、いかにして参加者をふやすか。それから、報告会の内容をいかにして町民の皆さんに興味を持っていただくかということについて、これからも引き続き、協議をしてみたいと思います。

以上で報告を終わります。

○議長（一場明夫君） 茂木恒二議員の報告を終わります。

以上で、議員派遣の件についてを終わります。

◎同意第1号の上程、説明、採決

○議長（一場明夫君） 日程第5、同意第1号 東吾妻町固定資産評価員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 同意第1号 東吾妻町固定資産評価員の選任について、提案理由の説明を申し上げます。

固定資産評価員とは、町長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、かつ町長が行う価格の決定を補助するため、地方税法第404条の規定により設置し、議会の同意を得て選任することとなっており、税務課長の職にある者を選任したいと考えております。

職員の退職に伴い、10月1日付人事異動により、黒岩康茂を税務課長といたしましたので、ご同意いただきたく、ご提案申し上げます。なお、ご同意いただければ、固定資産評価審査員に選任する予定でございますので、よろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件につきましては人事案件ですので、質疑、自由討議、討論を省略して、直ちに採決を行いたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（一場明夫君） 異議なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれに同意することに賛成の方は

起立願います。

(起立多数)

○議長(一場明夫君) 2番から10番起立、12番から14番起立。

起立多数。したがって、本件は同意されました。

◎議案第8号の上程、説明、議案調査

○議長(一場明夫君) 日程第6、議案第8号 東吾妻町情報公開条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長(中澤恒喜君) 議案第8号 東吾妻町情報公開条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

当町の議会は、全国的にも先駆けて議会基本条例を制定され、開かれた議会の先駆者であります。この議会運営の一つとして、情報公開条例の対象として、条例に議会を含めていただきたいとの要請がございました。ついては、この要請に基づき、議会の独自性を担保しつつ、条例の一部改正を提案するものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますよう、よろしく願いいたします。

○議長(一場明夫君) 続いて、担当課長の説明を願います。

総務課長。

○総務課長(茂木 聡君) 情報公開条例につきましては、今まで対象となっておりませんでした。それにつきましては、行政機関と性質を異にする議会につきましては、その独自性から情報公開の対象外となっておりましたが、議会の依頼によりまして、情報公開条例の対象機関として含めるものでございます。

ただし、他市町村の一般的条例に倣って、実施機関に議会を含めることは、手続上、議会管理の情報についても町長が行う可能性もあることから、独自性を確保する改正となっております。

新旧対照表をごらんいただきたいと思います。

第2条の「実施機関又は」、要するに、改正前につきましては「実施機関」であったものを、「実施機関又は議会」と、実施機関に議会を含めずに独立した形で「実施機関又は議会」という形の「実施機関等」という形で条例を改正させていただきます。

同じく第2条の3項になりますが、改正前につきましては、情報公開とは「行政情報」ということで定義しておりましたが、議会が加わりましたことによりまして、行政情報だけでなく、「情報」という形で文言を修正しております。

また、4条以下につきましては、「実施機関」は全て「実施機関等」という形で改正しておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますよう、お願いいたします。

◎議案第9号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第7、議案第9号 東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第9号 東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

現在の防災行政無線を整備する際に、可搬型無線機を6台整備し、そのうちの1台を榛名吾妻荘に配備いたしました。その後、平成28年1月、榛名吾妻荘を高崎市に売却したため、不要になり、廃棄するものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますようよろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明を願います。

総務課長。

○総務課長（茂木 聡君） 議案第9号の東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例につきましては、平成28年、ことし1月に榛名吾妻荘を高崎市に売却いたしました。このことに伴いまして、可搬型無線機が必要なくなりまして、現在、可搬型につきましては使用しておりませんので、榛名吾妻荘の分につきましては削除するということとなります。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますよう、お願いいたします。

◎議案第10号～議案第12号の一括上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第8、議案第10号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について、日程第9、議案第11号 東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について、日程第10、議案第12号 東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての3件を一括議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第10号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例、議案第11号 東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例、議案第12号 東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

人事院勧告を受けて、職員の給与及び議員、特別職の職員の報酬の改定を行うものでございます。地方公務員法において、職員の給与については、生計費、国及び他の地方公共団体の職員給与、民間事業者の事業者の給与、その他、事情を考慮して定めなければならないとされております。

本町では、県人事委員会の勧告も考慮して、給与等の改正を行うものでございます。議員

特別職につきましては、期末手当を年間0.1月分の増額、職員につきましては、給料を月額平均0.2%の増額と期末勤勉手当を年間0.1月分増額するものでございます。

また、配偶者に係る扶養手当を引き下げ、子に係る扶養手当を引き上げるものでございます。

また、冒頭のご挨拶で申し上げましたとおり、職員が酒気帯び運転容疑で逮捕されました不祥事につきまして、私自身及び特別職の幹部職員の責任として、給料を減額することをあわせて提案させていただいております。

詳細は、担当課長に説明させますので、ご審議の上、ご議決くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明を願います。

総務課長。

○総務課長（茂木 聡君） それでは、最初に議案第12号からご説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

今回の改正につきましては、ことし8月の人事院勧告に準拠する形で実施するものでございます。

主なものは、第1条で管理職手当の支給上限の規定について、初任給調整手当の引き上げ及び勤勉手当について、年間0.1カ月分の引き上げ、例月給については、平均0.2%引き上げという内容でございます。

第2条は、昇給に係る勤務成績判定を懲戒処分等についても反映させることができるように、平成29年度以降の勤勉手当の支給月数の改正、扶養手当の段階的引き下げ、引き上げをするための改正、時間外勤務手当の単価算出の労働基準法に改正する。

以上でございます。

それでは、最初に、新旧対照表をごらんいただきたいと思います。

第1条関係の新旧対照表の第9条、管理職手当の上限を給料月額の100分の25を超えてはならないとする規則の追加でございます。

また、第9条の2につきましては、診療所に勤務する医者の初任給調整手当を、月額41万3,300円を月額41万3,800円に改正。

第20条につきましては、勤勉手当でございますが、第2項に12月支給分を100分の80を100分の90に改正、特定幹部職員は100分の100を100分の110に改正する内容となっております。2号再任用職員につきましては、0.05月分の引き上げでございます。

次のページ、附則の14につきましては、55歳を越え、給料表6級を適用する職員は、勤勉手当を1.5%を減額するという内容でございます。

次の2条関係のほうになりますので、5分の1と書いてあるページになるところが最初のページにあります。よろしく申し上げます。

最初の1ページの第2条関係の新旧対照表の第5条は、地方公務員法の改正に伴う昇給に係る勤務成績判定を反映させるための改正。10条、11条につきましては、扶養手当の引き上げや引き下げをするための改正でございます。

また、5分の4ページになります。第17条は、時間外勤務手当の単価算出を労働基準法に改正する内容でございます。

次の20条につきましては、勤勉手当につきまして、本年度の12月で0.1カ月分を増額したものの。来年度以降、6月に0.05月、12月に0.05月、合わせて本年度と同様に0.1月分を増額するという内容になっております。

続きまして、議案10号をお願いいたします。

議案10号につきましては、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

新旧対照表をお願いいたします。一番最後のページになっています。

第1条関係では、第2条で本年12月の期末手当を0.1月分増額し、第2条関係の第2条で来年度の期末手当を6月で0.05月分、12月で0.05月分、合わせて本年同様0.1月分を増額する内容となっております。

よろしくをお願いいたします。

続きまして、議案第11号になります。

議案11号につきましては、東吾妻町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例につきまして、同様に期末手当を0.1月分増額する内容となっております。

また、新旧対照表をごらんいただきたいと思います。

この1条関係の附則第3項で、今回、職員の不祥事によります特別職の責任として、給料月額の特例を規定しております。平成29年1月1日から3月31日までの3カ月間、町長につきましては、月額10%の減額、副町長、教育長につきましては、月額5%の減額となっております。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第13号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第11、議案第13号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第13号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

国において、平成28年3月31日公布、4月1日施行の地方税法等の一部を改正する法律が成立いたしました。この改正を受けて、平成29年1月1日の施行に係る東吾妻町税条例の一部改正であります。

改正内容の詳細につきましては担当課長より説明させますので、よろしくお願いたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明を願います。

税務課長。

○税務課長（黒岩康茂君） お世話さまになります。

今回の改正は、平成28年度地方税法等の一部を改正する法律のうち、施行期日が平成29年1月1日施行に係る東吾妻町税条例等の一部改正でございます。

それでは、改正内容について説明させていただきます。

まず、議案第13号の新旧対照表をごらんください。

初めに、19条、43条、48条、50条の改正でございますが、ページによると、1ページ、2ページ、3ページ、4ページ、5ページでございます。

第19条、43条、48条、50条の改正でございますが、地方税法等の改正に伴う規定の整備でございます。改正の内容ですが、納期限後に国が更正減額をしたことで税額が減少した後

に、所得税の納税義務者等が修正申告を提出するか、または国が増額更正したときには、追徴すべき不足税額に加算される延滞金については、一定の期間を控除して計算することとされたことに伴う規定の整備でございます。

19条、48条、50条では、法人の町民税について規定の整備を行い、43条では、個人の町民税について規定の整備を行うものでございます。

次に、附則第6条についてですが、これは地方税法附則第4条の4の新設に伴う改正で、医療費控除の特例について規定しております。その内容ですが、平成30年度から平成34年度までに個人の住民税に限り、スイッチOTC薬控除の適用を受ける者については、所得控除の規定を読み替えて適用させるものでございます。

控除の内容といたしましては、平成29年1月1日から平成33年12月31日までの間に、いわゆるスイッチOTC医薬品の購入費用を年間1万2,000円を超えて支払った場合には、その超える分の金額が8万8,000円を超える場合には、8万8,000円について所得金額から控除するというものです。この控除は、現状の医療費控除と選択性となっております。

ここでいうスイッチOTC医薬品というのは、要指導医薬品及び一般用医薬品のうち、医療用から転用された医薬品のことをいいます。俗にいうロキソニンとかそういう薬になります。

次に、附則第10条の2ですが、地方税法附則15条のわがまち特例に新規の項が7つ加わり、それに伴い、項ずれが生じるものでございます。この特例は、平成28年4月1日以降に取得された資産について適用するもので、それ以前の資産については従前の例によるものです。なお、適用期間は3年から5年間で、償却資産に係る固定資産税の課税標準となる割合をそれぞれ定めたものでございます。

次に、附則20条の2でございます。外国居住者等所得相互免除法の改正に伴い、附則20条の2に特例適用利子等及び特例適用配当等に係る個人の特例を新たに設置し、従前からありました20条の2を附則20条の3に改正し、規定の整備を行うものでございます。

内容としましては、外国居住者等所得相互免除法に規定する特例適用利子等または特例適用配当等を有する者に対し、当該特例適用利子の額または特例適用配当等の額に係る所得を分離課税とするものでございます。ただ、ここで注意していただきたいのが、ここでいう外国とは租税条約相手国以外の外国であって、相互主義を満たすものとして規定するものをいい、具体的には現在、台湾が指定されています。

外国居住者とは、非居住者または外国人等で外国に住所または本店等を有する一定のものをいいます。簡単に申し上げますと、台湾国籍の企業等を通じて得た利子及び配当に係る個

人住民税については、分離課税をするということでございます。

次に、附則6条の7項ですが、最初に説明しました第19条の延滞金の取り扱いの改正に伴い、たばこ税に係る延滞金についての規定の整備でございます。附則につきましては、町民税及び固定資産税に係る経過措置でございます。

なお、施行期日は、附則第6条の医療費控除の特例が平成30年1月1日から、その他の改正につきましては、平成29年1月1日からの施行となります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第14号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第12、議案第14号 東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願ひます。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第14号 東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

国において、平成28年3月31日公布、4月1日施行の地方税法等の一部を改正する法律が成立いたしました。この改正を受けて、平成29年1月1日の施行に係る東吾妻町国民健康保険税条例の一部改正であります。

改正内容の詳細につきましては担当課長より説明させますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明を願ひます。

税務課長。

○税務課長（黒岩康茂君） お世話さまになります。引き続きまして、説明をさせていただきます。

今回の改正は、地方税法等の一部改正のうち、施行期日が29年1月1日施行の外国居住者等所得相互免除法の改正に係る東吾妻町国民健康保険税条例の一部改正でございます。

それでは、新旧対照表をごらんください。

改正の内容ですが、附則第10項を第12項に、第11項を第13項に繰り下げて、新たに附則第10項、11項を新たに追加するものです。

まず、新たに追加する附則第10項でございますが、町民税で分離課税をする特例適用利子等の額を国民健康保険税の所得割の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるものでございます。

同じく、附則第11項で規定する特例適用配当等の額についても、第10項同様、所得割の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるものでございます。

また、説明が重複いたしますが、ここでいう外国とは、租税条約の相手国等以外の外国であって、相互主義を満たすものとして指定するものをいい、現在、台湾が指定されております。外国居住者とは非居住者または外国法人で、外国に住所または本店等を有する一定のものをいいます。簡単に申し上げますと、町民税で分離課税となった台湾国籍の企業等から得た利子、配当等の額を、国民健康保険税の所得割の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるということでございます。

次に、附則ですが、1については施行期日について、2については適用区分について規定しております。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第1号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第13、議案第1号 平成28年度東吾妻町一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長(中澤恒喜君) 議案第1号 平成28年度東吾妻町一般会計補正予算(第3号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回補正をお願いする額は、歳入歳出ともに3億1,610万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を86億3,161万3,000円とするものでございます。

内容につきましては、保育所建設に伴う土地購入費、臨時福祉給付金事業費(経済対策分)、公団営畜産基地建設事業負担金及び原町・太田小学校空調設備整備事業費の追加等が主な内容でございます。

詳細につきましてはそれぞれの担当課長より説明させますので、ご審議の上、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長(一場明夫君) 続いて、担当課長の説明を願います。

企画課長。

○企画課長(佐藤喜知雄君) お世話になります。

それでは、1ページをお願いいたします。

一般会計補正予算(第3号)でございます。第1条でございますが、今回補正をお願いする額は、歳入歳出それぞれ3億1,610万4,000円を追加をして、総額を歳入歳出それぞれ86億3,161万3,000円とするものでございます。第2条は繰越明許費の補正、第3条は地方債の補正でございます。

次に、詳細について説明申し上げます。4ページをお願いいたします。

第2表繰越明許費の補正ですが、内容は繰越明許費の追加でございます。3款民生費、1項社会福祉費、臨時福祉給付金事業(経済対策分)から、8款土木費、1項道路橋りょう費、ダム関連道路事業(町道松谷・六合村線)まで、3事業の繰越明許費の追加補正でございます。

5ページの第3表地方債補正ですが、最初に地方債の変更でございます。合併特例債を活用する庁舎建設事業と保育所施設整備事業の起債限度額を補正後の額に変更するものでございます。

次に、地方債の追加でございますが、合併特例債を活用する小学校空調設備整備事業と、災害復旧事業費を活用する農業用施設現年補助災害復旧事業を追加するものでございます。

続きまして、事項別明細により歳入の説明をさせていただきます。7ページをお願いいたします。

10款地方交付税につきましては、1億159万4,000円の追加でございます。

12款分担金及び負担金1項負担金ですが、公団営畜産基地建設事業繰上償還分として、事業者からの負担金4,118万1,000円の追加でございます。2項分担金ですが、農業用施設災害復旧費分担金46万円の追加でございます。

14款国庫支出金、2項国庫補助金8,106万円の追加ですが、1目民生費国庫補助金、5目教育費国庫補助金とも、国の補正予算に対応した追加でございます。

15款の県支出金、2項県補助金ですが、1,979万4,000円の追加でございます。内訳でございますが、説明欄をごらん願いたいと思います。国の補正予算に対応した事業として、地籍調査事業補助金追加879万円。同じく、農業基盤整備促進事業費補助金追加の960万円が主な事業となっております。3項の委託金ですが、工業統計調査委託金2,000円の追加でございます。

17款1項寄附金ですが、ふるさと応援寄附金300万円の追加でございます。

20款諸収入、4項雑入ですが、2,371万3,000円の追加でございます。6目ダム関連事業雑入の説明欄をごらん願います。吾妻自然公園整備事業の追加による2,558万5,000円の追加が主になっております。

21款町債ですが、増減がございますけれども、差し引き4,530万円の追加でございます。説明欄をお願いいたします。2目民生費において、保育所土地購入費2,910万円の減額、5目教育債において、原町太田小学校の空調設備整備事業費7,300万円の追加が主となっております。

以上、歳入について説明をさせていただきました。

歳出につきましてはそれぞれの担当課長より説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明の途中ですが、ここで休憩をとります。

再開を午前11時10分とします。

(午前11時00分)

○議長（一場明夫君） 再開いたします。

(午前11時10分)

○議長（一場明夫君） 休憩前に引き続き説明をお願いします。

総務課長。

○総務課長（茂木 聡君） それでは、一般会計補正予算の歳出について説明させていただきます。

10ページをごらんください。

1款1項1目の議会費につきましては、給与改定に伴います人件費の追加と、職員等によります時間外勤務手当の追加でございます。

2款1項1目の一般管理費につきましては、給与改定に伴います人件費の減額と、庁舎建設検討委員会の事業の時間外手当の追加でございます。5目の財産管理費でございます。旧坂上小学校の解体工事費の追加と、ダム対策事業事務所の駐車場の用地の購入と、その造成工事費の追加となります。

○議長（一場明夫君） 企画課長。

○企画課長（佐藤喜知雄君） 9目の企画費でございますが、533万3,000円の追加のお願いでございます。

説明欄をお願いいたします。定住促進事業費ですが、上毛新聞による地方創生キャンペーンの一環として町のPRを行う広告料54万円の追加でございます。

次のふるさと応援寄附金事業ですが、寄附金に対する返礼費150万円、寄附金の積立金300万円の追加等でございます。

10目の運輸対策費ですが、事業運営費補助金の追加でございます。内容でございますが、運行費の追加と、利用促進策として現在回数券を扱っておりますけれども、これをより割引率のよいバスカードを利用することにより利用促進を図る狙いから、これに対する導入経費の追加でございます。

よろしくをお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 総務課長。

○総務課長（茂木 聡君） 続きまして、11目の支所費になります。支所管理事業につきましては、地域開発特別会計の繰出金の追加と改善センターの管理事業でございますが、施設の管理業務の委託料の追加となります。

続きまして、13目の交通対策費でございますが、安全対策工事のガードレールの追加工事50万円になります。

よろしくお願ひいたします。

○議長（一場明夫君） 税務課長。

○税務課長（黒岩康茂君） 次に、2款2項徴税費、税務総務費でございます。31万7,000円の追加でございます。内容は、給料から共済費まで、給与改定所要額に伴うものです。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 町民課長。

○町民課長（三枝 仁君） それでは、続きまして、12ページをお願いいたします。

3項1目戸籍住民基本台帳費3万8,000円の減額のお願いでございます。給与改定に伴う職員人件費の減額でございます。

よろしくお願ひいたします。

○議長（一場明夫君） 企画課長。

○企画課長（佐藤喜知雄君） 5目2項統計調査費ですが、4,000円の追加でございます。

よろしくお願ひします。

○議長（一場明夫君） 建設課長。

○建設課長（桑原正明君） 7項のダム対策費でございます。ダム対策総務費といたしまして、説明欄をごらんいただきたいと思いますが、給与改定に伴う職員人件費等の増額のお願ひ、また、溪谷自然公園事業、現在建設を進めております町道205号、猿橋から（仮称）十二沢パーキングまで上る町道を工事しておりますが、年度内完成ということが計画されておりますので、4月1日から供用を開始する前段といたしまして開通式を考えております。それにかかる費用の追加でございます。

よろしくお願ひします。

○議長（一場明夫君） 地域政策課長。

○地域政策課長（浅見梅雄君） 続きまして、13ページをお願いいたします。

8項事業費、1目岩櫃ふれあいの郷総務費19万2,000円の追加のお願いでございます。これは、職員の給与改定に伴う所要額の追加のお願いでございます。

次に、9項温泉事業費、2目温泉センター管理費10万7,000円並びに3目温泉センター食堂費5万円の追加のお願いは、職員の給与改定に伴う所要額の追加のお願いでございます。

よろしくお願ひいたします。

○議長（一場明夫君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（橋爪克敏君） お世話になります。

3款の民生費でございます。説明欄をごらんください。1項1目の社会福祉総務費の社会福祉事業16万9,000円の追加のお願いでございます。給与改定に伴います人件費、時間外勤務手当の追加と社会保険料の減額でございます。

次に、臨時福祉給付金事業、経済対策分ですが、5,457万5,000円の追加のお願いでございます。この給付金事業につきましては、平成29年4月から平成31年9月までの2年半分、一人1万5,000円を一括して支給するもので、財源につきましては、先ほど歳入で説明のとおり、全額国庫補助金となります。なお、この事業につきましては繰越明許を予定しております。

14ページをお願いいたします。

4目の老人福祉費の老人福祉事業では、介護保険システム改修に係る介護保険特別会計への繰出金86万4,000円、地域包括支援センター事業では74万4,000円の追加のお願いでございます。給与改定に伴います人件費10万4,000円と、介護予防ケアマネジメント委託料64万円の追加のお願いでございます。

○議長（一場明夫君） 町民課長。

○町民課長（三枝 仁君） 続きまして、6目国民健康保険費15万円の追加のお願いでございます。給与改定に伴う職員人件費の増額でございます。

よろしくをお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（橋爪克敏君） 続きまして、3款2項の児童福祉費でございます。1目の児童措置費の子育て支援費では、481万円の追加のお願いでございます。平成27年度児童手当交付金に係る国への返還金でございます。

2目の保育所費の保育所運営事業では、23万7,000円の追加のお願いでございます。

15ページをお願いします。

給与改定等に伴う人件費192万3,000円の減額と、あづま保育所のフェンス復旧工事費216万円の追加のお願いでございます。

次の保育所施設整備事業では、土地購入費3,057万5,000円の減額でございます。これは保育所用地の購入見込みによるものでございます。

次に、3目の学童保育費の学童保育事業では、49万6,000円の追加のお願いでございます。

主なものは、臨時職員の賃金などでございます。

次に、4款の衛生費でございます。1項1目の保健衛生総務費の保健総務費では、給与改定に伴います人件費39万2,000円の追加のお願いでございませう。

次の、国保特別会計施設勘定繰出金596万8,000円の減額ですが、後ほど特別会計で説明いたしますのでよろしくお願ひいたします。

以上でございませう。

○議長（一場明夫君） 上下水道課長。

○上下水道課長（高橋 修君） お世話になります。

16ページをごらんください。

4款3項1目の簡易水道費でございませうが、簡易水道特別会計の繰出金9万3,000円の追加でございませう。この内容につきましては、簡易水道特別会計補正予算のところでは説明させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

○議長（一場明夫君） 農林課長。

○農林課長（丸山和政君） お世話になります。

続きまして、6款1項1目の農業委員会費でございませう。24万円の追加のお願いでございませう。説明欄をお願ひいたします。給与改定所要額及び備品購入では、全国農業会議所との農地台帳事務に必要なパソコンの購入費でございませう。

続きまして、2目の農業総務費では17万5,000円の減額のお願ひでございませう。2節給料から4節共済費までの給与改定所要額でございませう。

3目の農業振興費では25万9,000円の追加のお願いでございませう。「はばたけ！ぐんまの担い手」支援事業法人化等支援型経営補助金は、平成28年第1回定例会で請願のありました農業用パイプハウス耐雪補強工事への補助金でございませう。

5目畜産振興費では4,118万2,000円の追加のお願いでございませう。歳入でも説明させていただいたとおり、公団営畜産基地負担金事業で有限会社コスモファームより繰上償還の申し込みがありましたので、繰上償還をするものでございませう。

6目農地費では1,369万7,000円の追加のお願いでございませう。説明欄をごらんください。基盤整備事業（萩生川西地区）では、平板確定図作成の減により92万8,000円の減額、農業基盤整備促進事業では、県補助金が採択されなかったことにより、9月議会で減額をお願ひいたしましたが、その後、小泉用水用排水路整備工事が採択になりましたので、時間外勤務手当から補償金まで1,319万6,000円の追加。町単小規模土地改良事業では、時間外勤務手

当及び原材料支給に伴います重機等借上料など132万5,000円の追加。多目的機能支払交付金事業では、時間外勤務手当10万4,000円の追加のお願いでございます。

7目地籍調査費では1,190万7,000円の追加のお願いでございます。国の平成28年度補正予算緊急経済対策の国土強靱化防災・減災対策で採択となります地籍調査事業、須賀尾の一部3の0.32平方キロの地籍調査に要する費用でございます。なお、この事業は平成29年度へ繰越を予定しております。

続きまして、6款2項1目林業振興費では、82万8,000円の減額のお願いでございます。緑の県民税事業2事業が地元との調整により実施できないこと、また、委託事業で計画していたものを地域活動として事業補助へ組みかえとさせていただくものでございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 地域政策課長。

○地域政策課長（浅見梅雄君） 続きまして、18ページをお願いいたします。

7款1項1目商工総務費でございますが、37万2,000円の追加のお願いでございます。これは職員の給与改定に伴う所要額の追加のお願いでございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 建設課長。

○建設課長（桑原正明君） 続きまして、8款1項1目道路橋りょう総務費407万1,000円の減額のお願いでございます。給与改定に伴います建設課職員の人件費の減額と、事務用パソコンの備品購入費の追加でございます。

続きまして、4目橋りょう維持費250万円の追加のお願いでございます。橋りょう点検で橋脚の地下部の深さを確認するため、高周波衝撃弾性波試験を行う必要が生じたことから、委託料の追加をお願いするものでございます。

よろしくお願ひします。

○議長（一場明夫君） 上下水道課長。

○上下水道課長（高橋 修君） 続きまして、8款2項2目の下水道費でございますが、下水道事業特別会計への繰出金35万3,000円の追加でございます。これにつきましても、下水道事業特別会計補正予算のところで説明させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

○議長（一場明夫君） 教育課長。

○教育課長（田中康夫君） お世話になります。

19ページ、10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費でございますが、149万2,000円

の追加のお願いでございます。

2節給料から4節共済費、19節負担金補助及び交付金まで、給与改定に伴います人件費の追加でございます。

5目給食センター運営管理費では、43万1,000円の追加のお願いでございます。こちらも、給与改定に伴います所要額になります。

6目外国青年招致事業費は8万3,000円の追加のお願いでございます。外国語指導助手の交代による社会保険料の追加になります。

続いて、2項小学校費、1目学校管理費では11万2,000円の追加のお願いでございます。給与改定に伴うものになります。

20ページをお願いいたします。

3目小学校施設整備費は1億360万円の増額をお願いでございます。これは小学校の空調設備に伴う経費でございます。空調設備につきましては、当初、平成29年度工事を見込んでおりましたが、文部科学省の補助金が前倒しで受けられる見通しとなりましたので、今年度追加計上させていただきました。

続いて、3項中学校費、1目学校管理費です。こちらは、4万3,000円の追加のお願いでございます。給与改定に伴う所要額でございます。

4項幼稚園費、1目幼稚園管理費では、768万7,000円の追加のお願いでございます。給与改定に伴う所要額と、東幼稚園西側の東京電力用地、ここを駐車場用地として買収・整備する費用でございます。21ページにかけて説明がございます。

5項社会教育費、2目公民館費では99万8,000円の追加のお願いでございます。中央公民館、岩島公民館の時間外勤務手当の追加と、中央公民館の修繕費70万円でございます。玄関のガラスドアヒンジ不良及び2階のステージ奥で雨漏りが認められ、その修繕に要する費用となります。

続きまして、6項保健体育費、3目施設管理費は、200万円の追加のお願いでございます。これは町民体育館の自動火災報知設備の改修工事にかかわるものでございます。

教育課関係は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 農林課長。

○農林課長（丸山和政君） 続きまして、11款1項1目農業用施設災害復旧費では、495万1,000円の追加のお願いでございます。本年9月7日の台風13号に伴う集中豪雨により、国・県の補助事業に該当する岡崎地区で2地区5工区、五町田地区で1工区、計6工区の農

地災害が発生いたしました。この災害復旧に要する経費でございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第2号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第14、議案第2号 平成28年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第2号 平成28年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回、補正をお願いする額は、施設勘定、歳入歳出それぞれ29万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を9,746万6,000円とするものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明を願います。

町民課長。

○町民課長（三枝 仁君） それでは、国保特別会計補正予算、施設勘定につきまして、事項別明細書により説明をさせていただきます。事業勘定につきましては補正はございません。

それでは、4ページのほうをお願いいたします。歳入から説明いたします。

4款1項1目一般会計繰入金596万8,000円の減額でございます。

次に、5款1項1目繰越金626万5,000円の追加、繰越金の確定によるものでございます。

次に、歳出ですが、1款1項1目一般管理費29万7,000円の追加です。給与改定に伴う職員人件費でございます。

以上、国保特別会計補正予算の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第3号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第15、議案第3号 平成28年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第3号 平成28年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回補正をお願いする額は、歳入歳出それぞれ70万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億8,753万7,000円とするものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明させますのでご審議をいただき、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明を願います。

町民課長。

○町民課長（三枝 仁君） それでは、後期高齢者医療特別会計の補正について、事項別明細書により説明をさせていただきます。

4ページをお願いいたします。

まず、歳入ですが、3款2項1目保険料還付金70万円の追加です。広域連合から還付金として歳入受け入れするものでございます。

次に、歳出ですが、1款2項1目徴収費70万円の追加です。先ほどの歳入の還付金を、過年度分還付金として追加するものでございます。

以上、後期高齢者医療特別会計補正予算の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第4号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第16、議案第4号 平成28年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第4号 平成28年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第2号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ172万8,000円を追加して、歳入歳出それぞれ16億6,657万5,000円とするものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明を願います。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（橋爪克敏君） それでは、介護保険特別会計補正予算の説明をさせていただきます。

事項別明細書4ページの歳入をお願いいたします。

介護保険の財源は法定負担となっておりまして、それぞれの負担割合が明確になっておりますので、それに基づき歳入を見込んでおります。

1款1項の介護保険料は第1号被保険者保険料で、歳出4款の地域支援事業費960万円の増額に対する2.5%の増額を見込んでおります。

3款1項の国庫負担金は介護給付費負担金でございまして、歳出2款の保険給付費960万円の減額に対する法定負担分20%で、192万円の減額でございます。

2項の国庫補助金、1目の調整交付金も、先ほどの保険給付費の7.5%、72万円の減額を見込んでおります。2目の地域支援事業交付金は、歳出4款の地域支援事業費の増額に対す

る法定負担分25%で、240万円の増額を見込んでおります。

4 款の支払基金交付金も法定負担分でありまして、1 目の介護給付費交付金が保険給付費の28%、268万8,000円の減額。2 目の地域支援事業交付金は地域支援事業費の28%、268万8,000円の増額を見込んでおります。

5 款 1 項の県負担金も保険給付費の12.5%、120万円の減額。5 ページの 2 項 1 目地域支援事業交付金も歳出 4 款の地域支援事業費の12.5%、120万円の増額を見込んでおります。5 目の介護保険事業費補助金は、歳出 1 款総務費の介護保険システム改修に対する半額補助で、86万4,000円の増額を見込んでおります。

次に、7 款 1 項の一般会計繰入金ですが、これも公定負担分の繰り入れとなります。1 目の介護給付費繰入金120万円の減額は保険給付費の12.5%でございます。2 目の地域支援事業繰入金120万円の増額は、歳出 4 款の地域支援事業費の12.5%でございます。5 目の事務費繰入金86万4,000円は、介護保険システム改修費の 2 分の 1 でございます。

続きまして、6 ページ、歳出をお願いいたします。

1 款 1 項 1 目の一般管理費では、システム改修委託料172万8,000円をお願いするものがございます。これは、平成29年度から保険料の段階判定、負担割合等に使用する所得基準額の改定に対応するための改修費でございます。

2 款の保険給付費960万円の減額ですが、4 款の地域支援事業費の増額に伴う減額となります。

以上で説明のほうを終わらせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第 5 号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第17、議案第 5 号 平成28年度東吾妻町地域開発事業特別会計補正予算（第 2 号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長(中澤恒喜君) 議案第5号 平成28年度東吾妻町地域開発事業特別会計補正予算(第2号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ405万円を追加して、歳入歳出の総額をそれぞれ9,836万3,000円とするものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長(一場明夫君) 続いて、担当課長の説明を願います。

総務課長。

○総務課長(茂木 聡君) では、地域開発事業特別会計補正予算(第2号)の説明を、事項別明細書により説明させていただきます。

4ページをお願いいたします。

歳入でございますが、4款2項1目一般会計繰入金でございます。情報通信事業一般会計繰入金384万8,000円の追加、それと、5款1項1目繰越金でございます。前年度繰越金20万2,000円の確定による追加でございます。

次に、歳出でございますが、1款2項1目情報通信施設事業費でございます。これにつきましては、五町田地内の光ケーブルの修理工事費で405万円の追加をお願いするものでございます。

よろしくお願いいたします。

○議長(一場明夫君) 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第6号の上程、説明、議案調査

○議長(一場明夫君) 日程第18、議案第6号 平成28年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長(中澤恒喜君) 議案第6号 平成28年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回補正をお願いする額は、歳入歳出ともに35万3,000円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億5,783万6,000円とするものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長(一場明夫君) 続いて、担当課長の説明をお願いします。

上下水道課長。

○上下水道課長(高橋 修君) それでは、説明させていただきます。

事項別明細書4ページ、2の歳入をごらんください。

5款1項繰入金でございますが、1目1節一般会計繰入金35万3,000円の追加のお願いでございます。

続きまして、3の歳出をごらんください。

1款1項1目の一般管理費35万3,000円の追加のお願いでございます。これは職員の異動及び給与改定による人件費の追加によるものでございます。

以上ですが、よろしくお願いいたします。

○議長(一場明夫君) 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第7号の上程、説明、議案調査

○議長(一場明夫君) 日程第19、議案第7号 平成28年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長(中澤恒喜君) 議案第7号 平成28年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算(第2

号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回補正をお願いする額は、歳入歳出ともに9万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8,143万4,000円とするものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明をお願いします。

上下水道課長。

○上下水道課長（高橋 修君） それでは、4ページをお開きください。

2の歳入より説明させていただきます。

3款1項1目の繰入金でございますが、9万3,000円の追加のお願いでございます。

続いて、3の歳出でございますが、1款1項1目の維持管理費でございますが、職員の給与改定に伴う人件費差額分9万3,000円の追加のお願いでございます。

以上ですが、よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第15号の上程、説明、議案調査

○議長（一場明夫君） 日程第20、議案第15号 工事請負契約の変更締結についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第15号 工事請負契約の変更締結について、提案理由の説明を申し上げます。

平成28年9月より工事を進めてまいりました旧坂上小学校校舎解体工事につきまして、工事請負金額に変更が生じたので、当初契約金額6,372万円を329万4,000円増額いたしまして、6,701万4,000円に変更契約締結をお願いするものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、担当課長の説明をお願いします。

総務課長。

○総務課長（茂木 聡君） 工事請負契約の変更締結について、ご説明させていただきます。

議案書の1枚はぐっていただきまして、地図があるかと思います。工事請負契約の変更締結につきましては、当初、校舎の解体工事を中心に進めてまいりましたが、この赤くあるところなんです、校舎周辺のインターロッキングや花壇の解体撤去工事、また、樹木等の伐採等を追加しまして契約を変更するものでございます。

以上、簡単な説明ですが、よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。12月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎散会の宣告

○議長（一場明夫君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

議員各位に申し上げます。

本定例会に提案されました議案につきましては、時間を有効に活用し、十分調査されるようお願いいたします。

なお、次の本会議は12月14日午前10時から会議を開きますから、ご出席をお願いいたします。

本日は、これをもって散会いたします。

大変お疲れさまでした。

(午前11時48分)

平成28年12月14日（水曜日）

（第 2 号）

平成28年東吾妻町議会第4回定例会

議事日程(第2号)

平成28年12月14日(水) 午前10時開議

- 第1 議案第8号 東吾妻町情報公開条例の一部を改正する条例について
- 第2 議案第9号 東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 第3 議案第10号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第4 議案第11号 東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- 第5 議案第12号 東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 第6 議案第13号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例について
- 第7 議案第14号 東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 第8 議案第16号 東吾妻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第9 議案第17号 東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第10 議案第1号 平成28年度東吾妻町一般会計補正予算(第3号)
- 第11 議案第2号 平成28年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 第12 議案第3号 平成28年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 第13 議案第4号 平成28年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 第14 議案第5号 平成28年度東吾妻町地域開発事業特別会計補正予算(第2号)
- 第15 議案第6号 平成28年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 第16 議案第7号 平成28年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- 第17 議案第15号 工事請負契約の変更締結について(旧坂上小学校校舎解体工事)
- 第18 発委第1号 意見書の提出について(地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書)
- 第19 議員派遣の件について

第20 閉会中の継続審査（調査）事件について

第21 町政一般質問

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（14名）

1番	一場明夫君	2番	里見武男君
3番	小林光一君	4番	重野能之君
5番	竹渕博行君	6番	佐藤聡一君
7番	根津光儀君	8番	樹下啓示君
9番	山田信行君	10番	茂木恒二君
11番	金澤敏君	12番	青柳はるみ君
13番	須崎幸一君	14番	浦野政衛君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	中澤恒喜君	副町長	渡辺三司君
教育長	小林靖能君	総務課長	茂木聡君
企画課長	佐藤喜知雄君	地域政策課長	浅見梅雄君
保健福祉課長	橋爪克敏君	町民課長	三枝仁君
税務課長	黒岩康茂君	農林課長	丸山和政君
建設課長	桑原正明君	上下水道課長	高橋修君
会計課長兼 会計管理者	松井秀之君	教育課長	田中康夫君

職務のため出席した者

議会事務局長	堀込恒弘	議会事務局長 補	水出淳
議会事務局 補佐	高橋智恵子		

◎開議の宣告

○議長（一場明夫君） 皆さん、おはようございます。

ただいまより本日の会議を開きます。

本日は傍聴の申し出があり、これを許可いたしました。

傍聴される方に申し上げますが、受け付けの際にお渡しした傍聴人心得をお守りの上、静粛に傍聴されますよう、よろしく願いいたします。また傍聴席にございます議案等の傍聴用資料は、お帰りの際にはお返しくさせていただきますよう、あわせてお願い申し上げます。

（午前10時00分）

◎議事日程の報告

○議長（一場明夫君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

議事日程に従い、会議を進めてまいります。

◎議案第8号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（一場明夫君） 日程第1、議案第8号 東吾妻町情報公開条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（一場明夫君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第9号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（一場明夫君） 日程第2、議案第9号 東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

5番、竹渕議員。

○5番（竹渕博行君） ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

この条例廃止につきましては、旧吾妻荘、これが高崎のほうに渡ったということで、廃止というようなことで詳細説明があったと思います。

しかしながら、旧吾妻荘は当町の管轄ということで、そもそもが遠隔地であったということから、可搬型というんですか、移動式というんですか、そういった無線機は設置されていたというように確認をさせていただいております。そうであれば、高崎市の新しい宿泊施設になったとしても、防災上はできれば廃止しないで、名称を変えてそのまま設置しておくというようなことも合理的ではないのかなというふうに思います。いざ火災だとか、もしくは災害、こういったものがあつたときに、やはり連絡がとれる体制を整えておくということが必要ではないのかなというふうに思っております。

ただ、今回、廃止ということで提案をされておりますけれども、その辺の代替処置、または一旦廃止後も再度検討されて、必要であれば改めて設置するというような考えはあるのかどうか、その辺をちょっとお尋ねしたいというふうに思います。

○議長（一場明夫君） 総務課長。

○総務課長（茂木 聡君） 吾妻荘の高崎市への売却に伴いまして廃棄をしたものですが、この設置が平成6年から8年度におきまして防災行政無線を各地域に設置させていただきました

た。それに伴いまして、可搬型ということで吾妻荘にも設置をさせていただきました。

設置後20年がたちまして、可搬型につきましては電池等の使用になっております。備品等の修繕がなかなかきかなくなっております。今現在、可搬型もちょっと大き目のもので重くて大変なんです、今現在は携帯電話等、軽くて便利なものがありまして、十分に対応できるということを踏まえて、今回の廃止とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） 5番、竹淵議員。

○5番（竹淵博行君） そうすると、現在は携帯だとかそういったもので十分対応できるんだということの考えから、廃止ということに至ったということに理解しておけばよろしいですね。はい、わかりました。

○議長（一場明夫君） よろしいですか。

○5番（竹淵博行君） はい。

○議長（一場明夫君） ほかにございますか。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） ほかに質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（一場明夫君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第10号～議案第12号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（一場明夫君） 日程第3、議案第10号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について、日程第4、議案第11号 東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について、日程第5、議案第12号 東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての3件を一括議題といたします。

本3件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。
14番、浦野議員。

○14番（浦野政衛君） 議案第11号についてちょっとよろしいですか。

○議長（一場明夫君） はい、どうぞ。

○14番（浦野政衛君） 一括提案ですので。

この11号の特別職の給与の一部改正する条例であります。これは過日の職員の不祥事による給料の減額案であります。これは当然、町が町民駅伝競走大会というふうなことで日曜日に催しをして、その後で職員が慰労会をして、酒を飲んで事故を起こしたというふうなことであります。実際、公安委員会のほうではその判決というか、罰則みたいなのはまだはっきりしないわけですね。そういう中で、町長さんが10%減額、副町長さんと教育長さんが5%減額というふうなことで、このパーセンテージが何を根拠に示したのか、一応この本会議で議事録を残すために回答をいただければと思いますけれども。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 11月27日に役場職員が酒気帯び運転をいたしまして、ガードレールに追突をするという事故を起こしまして、このようなことは、公務員にとってあってはならないことですので、町民の皆様方に本当に心からおわびを申し上げる次第でございます。

これに関しましては、今後、町の懲戒委員会、法律の専門家2名、また副町長が入った懲戒委員会でこの処分は決定をしていく、そういうものを経た上で決定をしていくということでございます。今回の給料の減額につきましては、そのような不祥事を町民の皆様におわびを申し上げ、そして、その姿勢を早急にあらわすという対応を行ったところでございます。

減額の金額につきましては、規定等もございません。これにつきましては、我々の話し合い、気持ちの中で決定をしたということでございます。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 14番、浦野議員。

○14番（浦野政衛君） 内容的にはわかりましたけれども、話し合いで10%、5%に決めたということですが、町長さん、これは町が主催した駅伝競走大会であります、慰労会については、プライベートで公務から離れて慰労会に臨んだというふうに思っているのか、それとも公務の延長でというふうなことで、どちらかで考えて対応しているのか、その辺もお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） お尋ねの点でございますけれども、これにつきましては公務か、あるいは公務以外かということは関係ございませんので、飲酒して運転をすること自体が非常に公務員にとってあるべき姿ではございませんので、そういう観点から行ったものでございます。

○議長（一場明夫君） 町長、公務か公務外かの確認をとっているようですね、答えていただけますか。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 公務か公務外かということでございますけれども、これにつきましては公務外ということになるかと思えます。

○議長（一場明夫君） 14番、浦野議員。

○14番（浦野政衛君） 公務外ということになると、三役が給料の減額もちょっとおかしいんじゃないかというふうに思いますけれども、本来なら公安委員会の刑罰の結果が出てから給料の減額案を出すのも1つの手かというふうに思いますけれども、早々と3カ月間、1月、2月、3月分を減額するということですが、結局、その結果を待つからでもいいんじゃないかというふうに感じたわけでありませう。

○議長（一場明夫君） ただいまのは意見としてよろしいですか。

ほかにございますか。

5番、竹淵議員。

○5番（竹淵博行君） ただいま浦野議員のほうから質問ございましたけれども、改めてちょっと確認させていただきたいんですけれども、今回、町長10%、副町長、教育長5%の削減ということで、先ほどの話を聞いていますと、ある意味誠意なんだと、町民に対する申しわけなかったという誠意だというふうに聞こえます。その姿勢は本当にすばらしいものかなというふうに思っておりますし、ただ私も、今回の町長の10%、副町長、教育長の5%が妥当なのかどうかという判断は非常につきにくい、今の状況です。

というのは、私も1期目のとき、町長が就任してすぐですか、ある意味。平成22年に職員が飲酒の上、車で歩行者天国に侵入し逮捕された。この際には、町長はそういった姿勢を見せなかった。いろいろ調べてみますと、そのときは、町長は公約として自分の給料の3割の削減というようなことで、3割削減されていました。だからいいんだという話じゃなくて、そのときはそんなような答弁だったのかなというような気がしております。

なぜ、今回削減するのか。それはまた、そのときそのときの心境というものもあるかと思えますけれども、改めてちょっと確認させていただきますけれども、文教厚生常任委員会ときに委員が町長に質問をしました。そのときたしか、とりあえずというような表現もされたような気がしております。

そういった中で、今回は誠意ということですので受けとめますけれども、刑が確定して、懲戒委員会が開かれて、そしてまた、そのときはそのときで改めて身を引き締めるんだというような考えでよろしいのでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） ただいまの竹淵議員のご質問の中に、以前に職員が飲酒をしていて、そのときには減額をしなかったという理由に、30%の給料の削減をしているからしないというふうなことを言ったことはございません。

もう一つ、今回の議会の中で、私がとりあえず10%、5%の減額をするという表現をしたことはございません。

以上なことでございまして、さきの職員の飲酒による運転につきましては、はっきり申し上げて、申しわけないですけれども、その職員は、実は精神的な疾患でございまして、病院で病休というふうな状況の中で、自宅で朝から酒を飲んで、そして何を思ったか、そのときはきっとやっぱり精神的な理由があったんかと思えますけれども、乗り出してしまって、警察に捕まってしまったということでございます。そのようなことでございますので、これは完全にみずからの病休の中の出来事でございますので、その面から判断をされたというふうにご覚えています。

今回との差といいますと、そういうところだと思っております。

○議長（一場明夫君） 5番、竹淵議員。

○5番（竹淵博行君） 町長のほうから、平成22年の出来事については、本人が悪くなくて病気のせいなんだと。しかし、病気の人が職員だったんですよね。職員だったんですよね、職員というのは事実だと思いますよ。だから、病気のせいだから減額しなかったというふう

今答弁されたんだと思うんですけども、私はちょっとその辺の答弁というのはおかしいのかなというふうに思います。

今回、町長が町民に対してやっぱり誠意を持って減額した。この姿勢については非常に感心するところです。ただ、言いわけとして、過去のことは病気だから許されるんだというような表現というのは、ちょっとおかしいと思いますよ。病気の人を、だって職員にしておく自体がおかしいでしょう、それだったら、正直言って。病気であろうと何だろうと、本人がやはり車に乗って歩行者天国に侵入していったわけですから、お酒を飲んでね。現職の職員ですよ。だけれども、病気だから病気が悪いんだというような今答弁だったと思うんですけども、ちょっと改めて確認したいと思いますけれども。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） この職員につきましては、お話ししましたように病気で、精神疾患で病休中でした。いわば本当にその期間は役場とのかかわりがなく、また本人が飲酒の上、精神的な疾患の中から多分乗り出したんだというふうに判断をいたしました。これにつきましても、処分につきましてはかなりきつい処分が出まして、その後は、本人は退職をしているということでございます。

そのようなことございまして、今回の事故と前回の事故、その背景についてはかなり、お話ししたように違っているということがおわかりになるかと思います。

○議長（一場明夫君） 竹渕議員に申し上げますが、先ほどの発言の中で病気の職員はやめさせればよいというような発言がありましたけれども、職員には病気の休暇の制度があって、それをとっていた上の行為だったということを考慮の上で、必要があれば訂正をお願いしたいと思います。

5番、竹渕議員。

○5番（竹渕博行君） 大変失礼いたしました。職員に対して病気、やめさせるというようなことではなかったんですけども、そういった休暇中だということはちょっと私も知らなかったものですから、その辺、ちょっと無礼があれば取り消しをさせていただきたいというふうに思います。

ちょっと質問を変えます。

さきに戻りますけれども、今回、事故を起こして早急に10%、5%ということで削減をした。これについては非常にいい姿勢なのかなというふうに判断をしております。

そういった中で、刑が確定して、そして懲戒委員会で処分が出たというときに、改めてそ

の辺は見直す必要があるのか、つもりがあるのか。その辺をお聞きしたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 懲戒委員会の後、職員に対する処分がそこで出るわけでございますけれども、それを見た上でまた10%なり5%という額を変更する気はあるかというお話だと思いますけれども、それにつきましては、当然、その処分の状況を見まして改めて十分に考えてまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） ほかにございますか。

4番、重野議員。

○4番（重野能之君） 今回の条例改正ということで、町長、また副町長、教育長の給与減額ということで早い対応で、僕自身は非常に評価ができるものであらうと思います。そしてまた、多くの町民の方々もご理解を示していただけるものと思います。そして何よりも、この罪を犯した本人自身の心にも、こういった町長を初めとしたその姿勢が罪を犯した本人の心にも必ず届くものと思います。

そこでまた、1つ質問なんですけど、今回、町長、副町長、教育長の減額ということなんですけど、一般の課長を初め、職員の方々に今後こういったことが発生しないように、モラル、そういったものをしっかりとしていく、こういったことが二度と起きないように、そういった町長の取り組みというか、こういった対応を今回されたか、お聞きしたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） お尋ねの点につきましては、11月29日に私の名前で、町長名で、今回の非常に恥ずかしい、公務員としてあってはならない酒気帯びによる事故というものでございまして、大変遺憾でありまして、こういうことは町民の信用を著しく損なうことであるので、このような事態が二度とないよう職員は法令順守の責務を自覚して、今後絶対のないよう行政の信頼回復に向けて今後全力で取り組むようという文書を出しました。

あと、課長会議におきましてもこの旨を強く指示をいたしまして、各課長からも職員に強く指示をしたところでございます。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） よろしいですか。

○4番（重野能之君） はい。

○議長（一場明夫君） ほかにございますか。

3番、小林議員。

○3番（小林光一君） 町職員が酒気帯び運転の上に事故を起こしたということで逮捕されたわけですが、その町職員は現在どのようになっているのか、ちょっと教えてください。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） この職員は現在、自宅で謹慎中でございます。これにつきましては、有給休暇をとって謹慎中ということでございます。

○議長（一場明夫君） 3番、小林議員。

○3番（小林光一君） そうしますと、今、有給休暇をとっておられる。そしてお休みになっているということなんですけれども、それはいつまでそういうことが続くんでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） これにつきましては、本人の申し出で今謹慎しておるものでございますので、本人の気持ちでございますので、私どもがいつまでということはありません。

○議長（一場明夫君） 3番、小林議員。

○3番（小林光一君） そういうことで、それじゃ、本人からの申し出によってということでございます。

それでは、そうすると私は誠意でこの減額をやると、それは大変いいこととは思いますが、本来ですとやっぱり刑罰が確定した後に、本来は責任をとるという形になるのではないかなと思うんです。だから、どうも原因と結果が逆になっているような気がするわけなんですけれども、それについてはまた刑が確定した後に再考するということですから、そういうことでお願いしたいとは思いますが。

ただ、1つ、重複するといけませんけれども、町行政の関係ない、例えば教育長が責任をとるというのは、私としてはちょっと意味がわからないんですけれども、この点についていかがでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町行政と教育行政が違うので、町行政の職員の管理をしていない教育長が責任をとるというのはどういうことかということを知っていると思います。

町長。

○町長（中澤恒喜君） これにつきましては、先ほどもご説明申し上げましたように、町民駅伝大会開催をされまして、その職員につきましてはその役員になっておりまして、慰労会につきましても陸上部に関係する役員でございますので、そのようなことで社会体育関係のその行事の引き続きということでございますので、このようなことでございまして、教育長まで一緒にということでございます。

○議長（一場明夫君） 3番、小林議員。

○3番（小林光一君） 今回は自分の下部の職員が事件を起こしたということなんで、全然関係ない教育委員会のほうが責任をとるというのは、ちょっと私には理解はできないんですけども、そういうことで、その点、それじゃ教育長はいかが考えていますでしょうか。

○議長（一場明夫君） 教育長。

○教育長（小林靖能君） 先ほどから町長が答弁しているように、そのとおりで、私も主催者の一人の立場にいた人間ですから、当然だというふうに自分自身は受けとめております。

以上です。

○議長（一場明夫君） 3番、小林議員。

○3番（小林光一君） そういうことでしたら、誠意でやられたということでしょうから、私としては理解したいとは思いますが。

以上です。

○議長（一場明夫君） ほかにございますか。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） ほかに質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

最初に、議案第10号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例についての採決を行います。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立多数）

○議長（一場明夫君） 2番から10番起立。12番から14番起立。

起立多数。

したがって、本件は可決されました。

次に、議案第11号 東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一

部を改正する条例についての採決を行います。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

○議長(一場明夫君) 2番から10番起立。12番から14番起立。

多数起立。

したがって、本件は可決されました。

次に、議案第12号 東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての採決を行います。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第13号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第6、議案第13号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は

起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第14号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第7、議案第14号 東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第16号及び議案第17号の一括上程、説明、質疑、自由討議、

討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第8、議案第16号 東吾妻町職員の勤務時間、休暇等に関する条

例の一部を改正する条例について、日程第9、議案第17号 東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についての2件を一括議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長(中澤恒喜君) 議案第16号 東吾妻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について、議案第17号 東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についての提案理由の説明を申し上げます。

人事院勧告を受けて、職員の給与に関する条例及び職員の育児休暇等に関する条例の改正を行うものでございます。介護休暇の分割取得、介護時間の新設、育児休業等に係るこの範囲を拡大する改正でございます。

詳細は担当課長に説明させますので、ご審議の上、ご議決くださいますようお願いいたします。

○議長(一場明夫君) 続いて、担当課長の説明を願います。

総務課長。

○総務課長(茂木 聡君) それでは、ご説明申し上げます。

最初に、議案第16号 東吾妻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

今回の改正につきましても、ことし8月の人事院勧告に準拠する形で実施するものでございます。

それでは、16号の新旧対照表をごらんいただきたいと思います。

初めに、第8条の2になります。育児または介護される子供の範囲を拡大するものでございます。特別養子縁組で職員が監護している場合、養子縁組里親である職員に委託されている場合が該当いたします。

続きまして、第8条の3でございます。育児及び介護を行う職員の深夜勤務等の制限を改正したものでございます。3歳までの子を養育する職員は、請求すれば所定外労働、いわゆる残業が免除されることとなります。

続きまして、第15条です。介護休暇の取得が今までは1回6月までとれました。今回の改正によりまして3回の分割が可能になり、6月まで取得できるようになりました。

また、15条の2につきましては、無給の介護時間が新設されました。1日2時間を限度と

して最長3年間取得できるように改正されました。

以上が16号の改正の内容になります。

続きまして、議案第17号 東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

また、新旧対照表をごらんいただきたいと思います。

第2条です。育児休業を取得できる期間が1年から1年半に改正されました。

第2条の2でございますが、先ほどの16号と絡んでおりまして、養育里親である職員に委託される子は、育児休業が取得できる追加の改正でございます。

続きまして、次のページにまいりまして、第3条、育児休業をしている職員が産前の休業または出産したことにより産休に入ります。そのため育児休業が効力を失います。しかし、その後、その子供が死亡したり、養子縁組等により職員と別居することになった場合は、以前の育児休業が特別の事情によりまして取得できるという改正でございます。

続きまして、次のページの10条になります。10条につきましても同様に、育児の短時間勤務をしている者が産前の休業または出産したことにより、産休をとった場合については、当然その育児短時間勤務が取り消されるわけなんです。先ほどと同じとなり、子供さんが亡くなった場合や養子縁組等で解除した場合については、特別事情によりまして短時間勤務がまたとれるというふうな改正になっております。

最終ページの第21条になりますが、これは先ほどと同じでして、無給の介護時間が1日につき2時間取得できる改正になっております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

続いて、質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

最初に、議案第16号 東吾妻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例についての採決を行います。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

次に、議案第17号 東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についての採決を行います。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第1号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第10、議案第1号 平成28年度東吾妻町一般会計補正予算(第3号)を議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は

起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第2号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第11、議案第2号 平成28年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)を議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第3号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第12、議案第3号 平成28年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長（一場明夫君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第4号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（一場明夫君） 日程第13、議案第4号 平成28年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は

起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第5号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第14、議案第5号 平成28年度東吾妻町地域開発事業特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長(一場明夫君) 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第6号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第15、議案第6号 平成28年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長（一場明夫君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第7号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（一場明夫君） 日程第16、議案第7号 平成28年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は

起立願います。

(起立全員)

○議長(一場明夫君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第15号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(一場明夫君) 日程第17、議案第15号 工事請負契約の変更締結についてを議題といたします。

本件については、去る12月6日、議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

9番、山田議員。

○9番(山田信行君) 基本的には賛成せざるを得ないかなというふうに思いますけれども、現在、旧坂上小学校解体事業がもう行われているわけですが、町長等にお尋ねしたいんですが、この際、当然学校の施設を見た限り、インターロッキングや浄化槽、立ち木、その他もろもろが想定されると思うんですけれども、どうして一緒に入れなかったか、その辺をちょっとお尋ねしたいんですけれども。

○議長(一場明夫君) 町長。

○町長(中澤恒喜君) これにつきましては、立木につきましては、今回、地域住民の皆さんの要望で伐採をするというふうなこと、要望が出たということでございます。浄化槽なりインターロッキング等につきましては、校舎解体のみということで、当初から設計には入っておらなかったということでございます。

○議長(一場明夫君) 9番、山田議員。

○9番(山田信行君) わかりました。

ただ、商工会を今中心に小規模工事等希望登録制度、大手Aランク、Bランク、Cランクとありますけれども、会社の能力によって仕事のランクがあるように聞いております。その中で小規模の土木業者が結構おられるわけですね。その方たちが300万円ぐらいのこの改めでの工事ですけれども、そういったものの救済というか、そういう形で捉えられるというふうに思うんですけれども、また1社で随契ということなのか、また競争の原理が働かないということもあると思うので、その辺、町長いかがですか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） お尋ねの点でございますね、商工会の皆様、どちらかと言えば中小的な企業に出してはどうかということでございます。それにつきましては、町として以前からそういった町の中の中小の企業の皆さんに対する優遇事業といいますか、優先事業というふうなものを行っているところでございます。

しかし、この工事につきましては、本体との関連がございますので、その点につきましては、制度上、別の中小の企業の方に行っていただくという道はちょっと厳しいのではないかなというふうに考えております。

○議長（一場明夫君） 町長、1社随契では競争の原理が働かないと思うがという質問がありますが。

町長。

○町長（中澤恒喜君） これにつきましては、町から出す事業費等の兼ね合いもありまして、随契にするほうがいずれにしろ予算としては軽減されるというふうなこともございます。そのようなことから、中小企業の皆様につきましては、またほかの事業もまだまだございますので、そのような事業を請け負っていただくことで、また活性化をしていただきたいというふうに思っております。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） おっしゃることは十分わかるんですけども、やはり最初に精査したときに、坂上小学校の跡地、校舎を解体ということで六千数百万円かけて壊すわけですけども、そのときに当然普通であれば町職員が学校へ行って、これから使っていくのに、理想は更地だというふうに思いますけれども、どうしてその辺ができないのか、ちょっと調査不足という件があるかと思えます。

また、町長は、商工会でやっております小規模工事等希望者登録申請制度、この辺が余り活用されていないようなので、少し考えていただければというふうに思います。単価的に高いから云々ということも当然あるかと思えますけれども、やはり大手企業ももちろん大事ですけども、零細企業、父ちゃん母ちゃんで行っている方も結構おられるわけですよね。そういう人たちにもひとつ目を向けていただければということで、一言、回答いただきたいと思えます。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 山田議員のご意見でございますけれども、町としてリフォーム事業と

いいまして、地元の大工さんや下水道関係の皆様に対する優遇事業等も積極的に行っているところがございます。そういうものを今後も拡大しながら、地域の事業者の皆様をさらに活性化する、そういう方向に持っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 私も少し確認したい。確認というか意見述べたいなと思うんですけども、この議案が出てきたとき、ああ、またかと思いました。いつもそうなんですよね。最初は金額少なく出して、補正でこうやって膨らませてくると、そういうやり方をずっと行ってきました。今、世間では東京の豊洲市場の問題やら、東京オリンピックのいろいろの施設の問題と同じように、同じような手法がこの行政で使われている。それ何とかやめませんか。

こんなの常識で考えたって、校舎解体、更地にして次の有効利用に持っていくというのが本当の姿じゃないですか。後になってこれもこれも、予算がこんなにふえましたといって、また補正予算で出してくる。幾らたったってこの町、健全な財政なんかなるわけじゃないじゃないですか。そう感じます。

東吾妻中学校しかり、そして今度の庁舎建設しかり。最初の数字は、だますとはきっと思っていないんでしょうけれども、少ない数字を出しておいて後で膨らませていく。本当にやめてほしいなと思うのが私の気持ちなんですけれども、町長の考えを伺います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 金澤議員からのご質問でございますけれども、東京の豊洲市場の件であったり、また今、最初は少なく出して後からお金を多くするとか、そういうご意見でございますけれども、そのようなことは絶対にあり得ないことでございますので、ご承知をいただきたいと思えます。

今回のことは、本体の旧校舎を解体をするということで出したものでございまして、その後インターロッキング等をどこかす必要が出てきたということでございますので、一種おっしゃいましたように、調査段階で不足があったということでございますので、その点は十分にこれからこのようなことがないように指示をしまいたいと思っております。

いずれにいたしましても、今後、この跡地利用につきましても、まず解体をして、そして

更地にしていくことが後の有効な利用につながるというふうに思った事業でございますので、よろしく願いをいたします。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 今、町長、図らずも最後に言いましたように、新しく何かやるときに更地にするのが普通ですよね。してから、次の事業者やら、次の有効的に何か使おうというときに何かあっては邪魔だから、当然そのように行うというのは常識だと思いますよ。だから今、常識が成り立たない世界があるんじゃないかなと思うわけです。

これ、図面見ても、当然後で邪魔になるということはわかっていますよね。これを最初に考えずに、校舎だけ解体というような判断したことに対する責任というのはあるんでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） ご指摘の点でございますけれども、校舎解体のみに目が行っておって、その周辺のことを取り込んでいなかったというふうな事態でございますので、先ほども申し上げましたように、調査不十分ということでございますので、今後はこういうことがないようにしっかりと課長等にも言い渡しまして、適正な事業執行を行いたいと思っておりますのでございます。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 今後このようなことがないようにということは、何度もお聞きしております。一向に改まらないのが現状だと思います。何かどこかに問題があるんじゃないかなと、組織の中にどこか問題があるんじゃないかなというように考えてしまいますけれども、最後、もう時間がありませんので、町長のご意見をお聞かせ願いたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 非常に先ほどから申しておりますように、今後このようなことがないように、しっかり職務を遂行することが我々の務めでございますので、各課一丸となって、こういうものに対しては十分に調査を行えるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

14番、浦野議員。

○14番（浦野政衛君） 今回、私も、この小学校の三百数十万円の追加になるわけでありま

すが、これは周りの立ち木の伐採だけでなく、校舎本体の周りに係る構造物の解体も含まれているわけですね。そういった中で、皆さん各課ごとにプロの集団なわけでありますから、やはり現状を把握している課長さん、そういうものは当然、現地の状況は一番よく把握しているわけですから、当然本体のみでなく、こういうところとこういうところが残るから、それまで含めた中で解体をとというふうなことで入札審査会にかけて入札に臨まねば、今回の三百数十万円を追加しなくも事業に踏み切れた可能性もあるわけですね。

事例を出させてもらおうと、東吾妻中学校の駐車場整備をしたときに、あそこに今の天皇陛下が正田美智子さんと皇太子時代にご成婚記念の記念樹があったと。それを要するに、駐車場整備をする前に伐採してしまったんですよ。たまたまあの近所にちょっと用足しがあって寄ったら、地元の町民の方が、浦野さん、皇太子の結婚の記念樹が植わっていたけれども、あれは誰が切るというふうに決めたんだと、いや、俺もその記念樹自体を知らなかったんだというふうなことで、じゃ後日確認をして、教育委員会のほうに聞いて、誰が切っているんだか、その当時の課長さんにも聞いたんですけれども、確認したところが、当時の校長さんに聞いたら切ったほうがいいたろうというようなことで切らせてもらったと。

それで、当然下地を整備して上目に舗装をかけたわけですよ。そうしたところが、その記念樹の脇に大きなケヤキが1本残ったわけです。それが、知らないうちに舗装ができ上って全部工事が完了したにもかかわらず、後にそのケヤキを大型のトラッククレーンだとか高所作業車を入れてケヤキを伐採したんですよ。なぜかというケヤキの木を伐採するのに、もう駐車場の整備が全部済んでいますので、根から切って倒すわけにいかないの、つるし切りをしたんですよ。大きなトラッククレーンで。それで、たまたま課長さんにも後日聞いてみたら、予算が余ったからケヤキを切ることになったんだというようなことで、100万円ぐらい当時かかっているんですね。

だから、そういう無駄な公費の使い方、要するに舗装整備をする前に伐採するんであれば、根倒しで1回で倒してから細切れにできれば経費的にも安くなるわけですよ。要するに、そういう無駄な税金の使い方をしないような事業執行が望ましいんじゃないかというふうに思うんですよ。

だから、今回の小学校の解体についても更地が目的なんですから、確かに建物の脇の木が1本枯れていて4本だか5本切るようなあれものっていますけれども、その前に校舎本体の建物に係る構造物が、こういうものが残るんだということがはっきりわかったわけですから、そういうものをやっぱり各課ごとに調査研究をして、見積もりを業者に出すときにはこま

でだというふうなことで、今後、事業執行に取り組んでいただければありがたいというふう
に思いますけれども。

○議長（一場明夫君） 町長、答弁ありますか。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 過去の事例等もいただきまして、今後はそのようなことがないように
しっかりと、町民皆様からお預かりしている財源でございますので、無駄に使うようなこと
がないようにしたいと思います。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は
起立願います。

（起立多数）

○議長（一場明夫君） 2番から10番起立。12番から14番起立。

起立多数。

したがって、本件は可決されました。

ここで休憩をとります。

再開を午前11時15分とします。

（午前11時04分）

○議長（一場明夫君） 再開いたします。

（午前 11 時 15 分）

◎発委第 1 号の上程、説明、質疑、自由討議、討論、採決

○議長（一場明夫君） 休憩前に引き続き会議を進めてまいります。

日程第18、発委第 1 号 意見書の提出について（地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書）を議題といたします。

提出者は趣旨説明を願います。

総務建設常任委員長。

（総務建設常任委員長 樹下啓示君 登壇）

○総務建設常任委員長（樹下啓示君） それでは、ご提案を申し上げます。

去る11月25日、議会運営委員会におきまして総務建設常任委員会にその審査を付託され、地方議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出についてであります。去る12月8日、一場議長の概要説明をいただき審査をいたしました。

委員の中からはいろいろな意見が出されましたけれども、もとより議員報酬を上げるべきであるとか、本制度は不公平な面があり附帯決議を付すべきである、また意見書の提出は必要ない等々のさまざまな意見が出されましたが、委員会として、基本的には将来に向け若い世代の人たちが専門議員として活躍していける環境をつくるべく、厚生年金制度への加入を実現すべきであると、当委員会として賛成多数により決しました。

議員各位におかれましても、ご賛同をいただきますようお願いを申し上げます。

以上です。

○議長（一場明夫君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（一場明夫君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（一場明夫君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長（一場明夫君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長（一場明夫君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議員派遣の件について

○議長（一場明夫君） 日程第19、議員派遣の件についてを議題といたします。

1月17日に開催される公益財団法人群馬県市町村振興協会主催の「平成28年度群馬県市町村トップセミナー」については、会議規則第127条第1項の規定により、お手元に配付した議員派遣の件のとおり決定したいと思います。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（一場明夫君） 異議なしと認め、お手元に配付したとおり派遣することに決定いたしました。

なお、後日、内容等に変更が生じた場合は、議長に一任されたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（一場明夫君） 異議なしと認めます。

したがって、内容等に変更が生じた場合は、議長に一任することに決定いたしました。

◎閉会中の継続審査（調査）事件について

○議長（一場明夫君） 日程第20、閉会中の継続審査（調査）事件についてを議題といたしま

す。

各委員会において、審査、調査を実施され、それについて報告がありましたらお願いいたします。

総務建設常任委員会。

(「議長、ありません」と呼ぶ者あり)

○議長(一場明夫君) 文教厚生常任委員会。

(「議長、ありません」と呼ぶ者あり)

○議長(一場明夫君) 議会運営委員会。

議会運営委員長。

(議会運営委員長 茂木恒二君 登壇)

○議会運営委員長(茂木恒二君) それでは、議会運営委員会より1点ご報告申し上げます。

一般質問の時期についてということで委員より提言がありまして、10月27日に議会運営委員会で協議いたしました。

一般質問については、会期の初めに行う方法と会期末に行う方法の2点があるということで、当町は会期末に一般質問を行っているわけなんですけれども、委員のほうから、会期の初めに行うことを検討したらどうかということがありまして、これについて協議をいたしました。

まず、議員のバイブルと言われている議員必携には、一般質問は会期の初めに行うというふうに書いてあります。それから、議会の運営に関する基準ということで、これについても一般質問は会期の初めに行うというふうに書いております。それから、議会事務局のほうから県の町村議会議長会事務局に照会しましたところ、県内町村の議会の全体の状況については把握していないということなんです、会期の後半に一般質問を行うと言いつ放しで閉会してしまうため、会期前半に実施することがよいとされているという回答がありました。こういうことで、県の事務局も会期前半に実施することがよいというふうな見解をいただきました。

それでは、郡内のほかの町村議会はどうかといいますと、当町が会期末、それから長野原町議会、嬭恋村議会、草津町議会、高山村議会が会期末ということで、中之条町議会だけが会期の前半。ただし6、9、12月定例会は会期前半、3月議会については予算等もあるので、会期の後半に行うことがよいとされているというふうな結果でございます。

これについて協議した結果、当町にもいろいろな意見があったわけなんですけれども、執

行部のほうも会期前半にやっても対応できるという回答をいただいたんですが、皆さんの意見をまとめたところ、現在どおり会期末に行うということでよいだろうという結果になりましたので、ご報告をいたします。

以上です。

○議長（一場明夫君） 行財政改革推進特別委員会。

行財政改革推進特別委員長。

（行財政改革推進特別委員長 金澤 敏君 登壇）

○行財政改革推進特別委員長（金澤 敏君） それでは、行財政改革推進特別委員会の報告をさせていただきます。

私ども行財政改革推進特別委員会は、閉会中の当委員会審査を去る10月13日、11月11日、12月5日にわたって庁舎建設に特化いたしまして開催いたしました。

まず、10月13日にはプロポーザルの審査結果が決定したことで、適正規模及び適正事業費かどうか、調査研究を行いました。

提出された東吾妻町役場本庁舎基本実施計画プロポーザル提案書では、おおよそ500平方メートルでありますけれども、497平方メートルとなる増設案が出されたことで、ことし2月4日に出ました岩櫃ふれあいの郷改修調査報告書で、基本的には改修のみでも庁舎として利用できることとされた根拠が崩れたことが判明いたしました。

廃止となった福祉・温泉及び健康増進センターの代替措置が講じられるのかについても関連があるので、引き続き調査研究していくこととなりました。

町はプロポーザル案に対して職員の意見を取りまとめている段階で、次回の特別委員会までにはその意見に沿った設計案を示すとのこととなりました。

11月11日には、職員の意見をもとに作成されました650平方メートル増設案が提出され、質疑応答が交わされました。いまだ総費用の積算金額などが示されていないことで、議論が進まないことへの不信や、外構工事の予算が示されないことへの催促の意見が多く出されました。次回には資料請求を行い、その資料により調査研究を深めていくことを確認いたしました。

この11日の時点でありますけれども、財政悪化を招くような必要以上の施設になることが予想されることから、将来に禍根を残す危険性が出てきたことを当特別委員会として提言を出していくと、そういう方向性を各委員と確認いたしました。

12月5日でありますけれども、資料請求に基づいての資料の提出と口頭での説明を受けた

後、質疑を行いました。ここで初めて労働基準法による休養室の必要性が明らかになり、これでは最初に出されましたふれあいの郷改修調査報告書自体にそごがあったとの疑念が生じるものでありました。500平方メートルから650平方メートル、この150平方メートルの増築案でありますけれども、この予算約5,700万円増額との金額が出てきております。外構工事の概略も予算も明らかにせず、この時点でも庁舎建設にかかわる総額が明らかになっておりません。

当特別委員会としては、町から段階的に出された資料や計画案をもとに、真剣に調査研究してきた結果、改善すべき内容があると判断しまして、早急に再検討の上、適切な措置を講じることを求めて、提言書を町当局に提出することを賛成多数で決定いたしました。

そして、12月定例会会中でありまして、12月定例会会中の当特別委員会では、まず企画課長より戦略本部内の行財政改革推進会議の経過と事務事業評価委員会報告の説明があり、総務課長より東吾妻町公共施設等総合管理計画（案）の説明を受けました。公共施設とインフラ施設の更新費用が1年間で26億円かかる見通しで、投資的経費実績額が15億円であることから年間で11億円の縮減とする必要が生じるとの説明であります。

これから、保育所、中央公民館の耐震工事及び東部消防本部移転に伴う地元自治体の負担など、めじろ押しの状態が続いております。ますます行財政改革をスピード感を持って推進しなくてはならないのではないかと考えております。

最後になりますが、当日も各委員の意思により、当特別委員会として東吾妻町役場庁舎建設に関する提言書を町に提出することを採決し、12日に委員長、副委員長をもって町長に提言書を提出してまいりました。

以上であります。

○議長（一場明夫君） 次に、八ッ場ダム及び地域開発事業対策特別委員会。

八ッ場ダム及び地域開発事業対策特別委員長。

（八ッ場ダム及び地域開発事業対策特別委員長 根津光儀君 登壇）

○八ッ場ダム及び地域開発事業対策特別委員長（根津光儀君） 第3回定例会閉会以降、今定例会までの八ッ場ダム及び地域開発事業対策特別委員会の調査、事件について報告いたします。

第3回定例会会期中の特別委員会において、所管事務について現地調査を行う旨決定され、詳細が委員長、副委員長に委ねられ、JR廃線敷の利活用について現地視察を行うこととしました。

10月14日、金曜日、午前6時、役場出発で、岐阜県飛騨市神岡町にある特定非営利法人神岡町づくりネットワークが運営する自転車とレールで風になる「レールマウンテンバイク・ガッタンゴー」を訪れ、理事長鈴木進悟氏らの説明を受けた後、2.9キロメートルを往復する体験乗車をいたしました。感想としては、適度な運動量と風を切る感覚でさわやかなものでした。運営は完全予約制で、細やかなサービスと厳密な安全対策により年間4万1,840人の乗車で5,700万円を稼ぎ出し、822万円の黒字経営ということでありました。

11月7日、月曜日、午前9時、第一委員会室にて委員会を開催後、八ッ場ダム打設現場右岸高台より状況の視察後、松谷地区のJR廃線敷の現地踏査を行いました。おおむね2.5キロメートルを実際に歩くことができました。帰着後、委員会室にて、10月14日の視察と当日の視察を踏まえて会議を行いました。この中でレールマウンテンバイクのほかに町道としての歩道利用はあり得るのかとの意見が出され、両者の比較についてまとめるよう執行部に伝え、今定例会中の委員会において報告されました。

会期中の特別委員会についてでございますが、八ッ場ダム関連の事業について国交省八ッ場ダム工事事務所より矢崎所長ほか職員の皆さん、群馬県八ッ場ダム水源地域対策事務所より松井所長ほか職員の皆さん、町からは建設課、地域政策課より進捗状況等説明していただきました。

JR廃線敷活用について、また、東電松谷発電所導水路などについて質疑が交わされました。上信道につきましては、役場建設課より進捗の説明があり、委員からは取りつけ道や用地説明会などについて質問がありました。

以上、八ッ場ダム及び地域開発事業対策特別委員会の報告といたします。

○議長（一場明夫君） 地方創生調査特別委員会。

地方創生調査特別委員長。

（地方創生調査特別委員長 青柳はるみ君 登壇）

○地方創生調査特別委員長（青柳はるみ君） 地方創生調査特別委員会から報告いたします。

9月28日、みなかみ町を視察してきました。

当町の課題である山間地の生活維持、工場誘致とその住宅政策、町の地形が長く広いということから、解決している課題もあるため、みなかみ町を訪れました。議員、議長を含む12名、企画課谷次長、農林課飯塚次長、みなかみ町議会から原澤副議長、高橋久美子議員が迎えてくださり、みなかみ町役場において総合戦略課課長宮崎課長、ユネスコパーク推進室長、総合戦略推進室長、櫻井課長、観光課長星野課長、新治農村公園公社阿部常務、合同会社藤

原石油社長に説明していただきました。

まず、企業誘致と定住促進ですが、降雪の少ない町南部に工業団地が集積して、豊富な雪解け水を求めて飲料水や麺つゆの工場が入っています。関越自動車道、新幹線があり、東京や埼玉に本社を置く企業が進出している。

工場の全てが県の基本法により、5カ所の工業団地が全て企業立地促進法の重点地域に指定されているため、優遇措置が受けられています。町の奨励金、固定資産税投資額が5,000万円以上、町内居住従業員数が常時20人以上、補助金について固定資産税の納税義務が確定した年度から起算して5年間に固定資産税相当額の範囲内、工場排水施設の整備条例上で対象施設を定めるとしていました。奨励金は固定資産税の納税義務が確定した年度から起算して5年間に賦課すべき固定資産税相当額の100分の70の範囲内ということでした。

具体的にヤマキでは、本社からの異動者が29人、関連企業からの出向者48人、県内出身者51人、みなかみ町居住者32人、夏場の忙しい時期には20人ほどが派遣社員として近所に暮らす人が入っています。本社からの異動者は工場周辺で貸し家暮らしをしている。

住宅手当がある会社は、沼田、前橋に住む人が多いということでした。公営住宅は規制があり豪華なものはいけません。北のほうは雪でつくれないということで、町外に流れているという現実だそうです。

次に、一般財団法人みなかみ町農村公園の運営について伺いました。

入場者は最高の平成18年より10万人少なく38万人、農村公園でヨーグルト、みそ、イチゴ及びジャム、果物、農産物販売、加工体験、販売、たくみの里への集客対策はNPOたくみ会というのがしているそうです。ここでそばの昼食をいただき、藤原地区へ移動しました。

藤原ガソリンスタンド、合同会社藤原石油、町の中村石油が2013年に13年問題で閉鎖。市街地から隔絶している地域、ホテル、スキー場、4つのダムを有することから、地元からの要請を受け、宝川温泉社長を職務執行者として宝川温泉汪泉閣、武尊山株式会社、水上リゾート株式会社が100万円ずつ出資、300万円を資本金として新会社設立、スタンドは建てかえではなくて油漏れセンサーで対応している。町の補助金は1,232万円、地下タンクの電気防食工事、給油システム設備をこれで賄ったということです。

次に、自伐型林業森林資源プロジェクト。

まず、自伐をしたり推進している全国のスペシャリストを呼び、その取り組みを紹介して、4回の研修を10月8日から12月10日まで、平日、休日コースを設けてテキスト代2,000円でチェーンソーの取り扱いから伐倒、搬出、作業道開設、経営相談まで初心者向けに行ってい

ます。

低投資、低コスト型林業を実現し、多くの人が参入しやすくする。目指すのは木の駅、地域内エネルギー循環を目指している。自治体参考事例は、高知県佐川町や気仙沼市を参考にしたということです。ボイラー参考自治体は、山梨県道志村で村営温泉施設にまきボイラーを導入、1,800万円だった重油代が430万円になったということです。これをまきをくべる人件費に1,000万円ほどかけ、結果は200万円の経費削減であったということです。

このほか、みなかみでは移住促進について、関東農政局指導の一般社団法人みなかみ町体験旅行、北山郁人さんが観光課の一角に事務所を置いて、専門として移住をコーディネートしています。関東子ども農山村交流プロジェクトでの民泊、台湾からの民泊、空き家調査、古民家紹介を専門にしているそうです。

以上で報告を終わります。

○議長（一場明夫君） 議会広報対策特別委員会。

議会広報対策特別委員長。

（議会広報対策特別委員長 山田信行君 登壇）

○議会広報対策特別委員長（山田信行君） それでは、議会広報対策特別委員会を委員長より報告をさせていただきます。

議会広報研修会は11月22日、群馬県市町村会館にて開催をされました。広報委員7名、担当職員の参加で研修を受けてまいりました。講師に編集・出版アドバイザー芳野政明氏による研修会でありました。演題は「読まれ、伝わる議会広報へー広報紙の基本と編集技術ー」ということでありました。また発行目的に沿った企画、編集になっているかというお話を受けました。

今後、議会広報も町民の皆さんに親しまれるみんなの議会ということで作成を務めていきたいと思えます。また今後、議会広報紙も写真に関しては全面カラーがよいのではないかとというようなお話もありました。

以上、これから検討することがあると思えますが、報告とさせていただきます。

○議長（一場明夫君） 以上で各委員会からの報告を終わります。

次に、次期定例会までの閉会中の継続審査（調査）事件について、お手元に配付のように各委員会から申し出がありました。

お諮りいたします。各委員会から申し出のように、閉会中の継続審査（調査）事件として決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(一場明夫君) 異議なしと認めます。

各委員会の閉会中の継続審査(調査)事件が決定いたしました。

◎町政一般質問

○議長(一場明夫君) 日程第21、町政一般質問を行います。

◇ 山 田 信 行 君

○議長(一場明夫君) 9番、山田信行議員。

(9番 山田信行君 登壇)

○9番(山田信行君) それでは、議長の許可をいただきましたので、通告に基づき一般質問をさせていただきます。

1つ目は、防犯カメラの設置・どう守る通学路ということで質問をさせていただきます。

日本の安全神話は、近年、少しずつ危ぶまれているような状況というふうに思います。当町においては、警察、また地域の皆さんの見守りのおかげで軽犯罪、凶悪犯罪、誘拐事件等、幸いにも起きていないようであります。

しかし、今、まさか、また想定外という言葉がよく聞かれます。また登下校、児童・生徒の列に車が突っ込むという考えられない事故もあります。児童・生徒が巻き込まれる痛ましい事件が相次いでいることは大変残念であります。また高齢者による悲惨な交通事故の報道も目にします。そのたびに被害者を救える手だてはなかったのかと胸を痛めるところであります。

報道等を見ていると、大きな意味で、これからの対応の1つとして、防犯カメラの設置があるのではないかとというふうに思います。犯罪の抑止力効果、また事件・事故の解決の具体的な証拠となる防犯カメラは、安心・安全な社会づくりに不可欠なツールとなっているのではないのでしょうか。

また、地域の人の目による見守り活動も行っているものの、人的配置の苦労や時間的な制

限もあり、また街路灯、防犯灯の普及や地域の見守り活動によって未然防止を図っていることはありがたく思っております。

通学路などの事件、事故の起こりやすい箇所については、防犯カメラ、映像記録装置を設置、町民の命を守る方策として積極的に進めていくべきと考えます。

大きく5つについて、町長に質問をいたします。

通学路確保のためのPDCAサイクルはどのように進めているか。危険性を抑止し、みずからの命を守るための交通安全教育の改定、効果的な促進はどうであるか。3、通学路の設置に関する防犯カメラの設置場所を計画決定するに当たり、関係者の意見をどのように収集し集約するのか。4番、防犯カメラ設置説明についてどのように考え、事前説明は必要と思うが、どうか。学校、駅周辺に新たに防犯カメラの設置状況、今後についてお聞かせをいただきたいと思います。

2つ目の大きな質問であります、防災力、自主防災組織や町民の危機意識はどうでしょうか。

近い将来発生が懸念されている南海トラフ大地震、都市直下型地震、各地での地震。想定外の集中豪雨、また突風、竜巻、あるいは川の堤防の決壊など、巨大災害に立ち向かうべく防災に強い地域をつくるためには、国や行政に頼ることばかりでなく、町民みずからが周辺地域の人たちの命や生活を守ることができるように、平素から防災対応能力を高めていく必要があると思います。

防災リーダー、また防災士は、自主防災組織の中で被害者情報収集の指示、被害者状況の把握、あるいは防災組織としての活動内容の指示、消防団、ボランティアとの連携、また復興のため地域の意見集約や合意形成を図るなど、重要な役割を有していると思います。防災士はさまざまな災害対策の知識を有し、地域住民の安全確保や復興活動を効率的に実施するために必要であると思います。リーダーシップが求められるということでもあります。

振り返りますと、4月14日、また16日に熊本大地震が起きました。数多くの犠牲者と文化財、公共施設、一般の家屋、インフラ等に多大な被害が及びました。私たち、また町にとっても新たな課題をたくさん突きつけられた災害であったと思われれます。

そこで、5点、町長はどのようにお考えか、お尋ねをいたします。

1、自主防災組織や町民危機意識の取り組みについて。

2、今、防災士の登録数はどのくらい把握していますか。行政職員、学校関係、地域の皆さんへの防災士資格の取得のための支援は。

また、3番、5地区の避難所、避難場所としての機能は、マニュアルはどうなっているか。

4番、要援護者、避難支援等、関係者はどのような形で把握しているか。

5番、災害時の避難連絡伝達方法は。

以上、5つお尋ねいたします。

以下は議席に戻って質問を続けます。

○議長（一場明夫君） 町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） それでは、山田議員のご質問にお答えをいたします。

初めに、防犯カメラの設置について。

当町では、平成23年より管内にある4駅などに防犯カメラを設置しておりますが、昨今の事件、事故での原因究明に防犯カメラは不可欠となっていることから、町でもその重要性に鑑み、今後において町内主要箇所へ防犯カメラ増設を考えております。

なお、設置場所やカメラの数につきましては、今後、吾妻警察署生活安全課に指導、助言をいただき、住民の安心・安全に直結するように検討していきたいと思っております。

なお、現在設置をされている防犯カメラにつきましては、各設置場所へ防犯カメラ作動中等のプレートを掲示し、利用者、通行者への告知をしているところですが、今後設置予定の防犯カメラにつきましても、犯罪抑制にもつながるよう、同様に周囲への告知をしてまいりたいと思っております。

通学路への防犯カメラ設置についてでございますが、現在のところ通学路に限定した目的での設置、運用について具体的に検討する段階には至っておりません。先ほど1点目のお答えの中で申し上げましたが、今後町内主要箇所へ増設を考えておりますので、関係機関及び町内関係各課で連携を図りながら、限られた予算の中で最大の効果が得られるように取り組まなければならないと考えております。

3点目の防犯カメラ設置説明について、どのように考え、事前説明は必要と思うがでございますが、防犯カメラは幾つかのメリットがある一方、場合によっては監視カメラと捉えられる一面もございます。実際の運用に当たっては、個人のプライバシーに十分配慮した情報管理を確保する必要があり、作動中を表示する掲示のほか、運用する前には区長を初め、地域の方々へ周知等図らなければならないと考えております。特に通学路に設置する場合は、児童・生徒を初め、保護者に対しても十分な周知を図ってまいりたいと思っております。

4点目の通学路に設置する防犯カメラの設置場所を計画決定するに当たり、関係者の意見をどのように収集し集約するのかでございますが、今後、子供たちの安全・安心を考える中で、通学路に設置する必要がある場合は、学校、PTA等で十分協議をいただき、関係機関や町内関係各課で連携しながら取り組んでまいりたいと考えております。

5点目の通学路の安全点検は、毎年どのような内容で行っているかでございますが、通学路の安全点検は、登下校中の交通事故はもちろん、けがをするおそれがある場所について点検をしております。

具体的には、新年度に小学校ごとに保護者と先生方で通学路の点検調査を実施し、場所や状況を集約しております。その中で改善が必要と思われる箇所については、教育委員会に報告をいただいております。その後、合同点検ということで、県中之条土木事務所、吾妻警察署、該当小学校、校長さん、教頭さん、PTA会長さんからそれぞれ参加をいただき、町から総務課、建設課、教育課の職員が出席し、実施をしております。その中で見つかった課題につきましては、関係機関が情報を共有し、通学路の安全を図ることができるように進めております。

6点目の学校の防犯カメラの設置状況、今後についてでございますが、現在の状況は管内全ての幼稚園、小学校及び中学校に設置しております。設置台数については、各幼稚園に2台ずつ、各小学校にも2台ずつ、中学校は4台でございます。できる限り学校現場の要望を踏まえながら、子供たちのために改善を進めてまいりたいと考えております。

今後も防犯カメラの設置に関しましては、その特性を十分理解し、関係機関と連携しながら地域社会全体の安全・安心を確保するために運用してまいりますので、よろしく願いをいたします。

次に、自主防災組織の取り組みについての質問ですが、各区のご意見等を伺いながら、順次、区が中心となった避難訓練や非常訓練に対し、町として必要な支援、情報提供を行い、訓練が実施でき、防災に対し住民の皆さんがより関心が持てるよう関係機関と調整をしていきたいと思っております。

また、防災士についてのご質問ですが、現在、群馬県で公表されている資格取得者は773名おりますが、町内の防災士の数については公表されておられません。今後は町職員を初め、関係機関、地域住民、それぞれからも防災に対し十分な意識、知識、技能を有する防災士の有資格者は必要不可欠となっておりますので、資格取得に向けた支援等を検討してまいります。

次に、各地区の指定避難場所については、毎戸にお配りしております防災マップや町ホームページに掲載しておりますが、各避難所ごとに設備や広さもそれぞれ違いますので、各避難所に合った避難所運営マニュアルについて整備をしていく予定であります。

次に、要配慮者についてですが、被災時には避難行動要支援者名簿を基本に、民生委員、消防団等の関係機関において情報共有できる体制を整え、早期対応に努めたいと考えております。

最後に、災害時、避難情報等の伝達方法ですが、現在整備されている防災行政無線は20年以上が経過し、老朽化による修理等も年々増加し、また現在運用しているアナログ方式も平成34年までにはデジタル方式への移行が不可欠となっておりますので、来年度より順次、防災行政無線のデジタル方式への更新を予定しております。その際には、野外スピーカーの難聴地域への改善等をあわせて行い、有事の際には確実に住民の皆さんへ情報が届くよう整備をしてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 質問の途中ですが、ここで休憩をとります。

再開を午後1時ちょうどとします。

(午後 零時01分)

○議長（一場明夫君） 再開いたします。

(午後 1時00分)

○議長（一場明夫君） 休憩前に引き続き、町政一般質問を行います。

9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 大変お世話になります。

それでは、引き続き質問させていただきます。

悲惨な相次ぐ事故を受けて、国では通学路の交通安全推進に関するという通達が出て、通学に対策する推進委員会を開きなさいということでもありますけれども、当町ではどんな形で

開かれたのかお聞きいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 対策委員会というふうな名称で会議を行っておるということはございませんが、お答えの中で申し上げましたように、県の土木事務所、吾妻警察署、それから学校関係者、そして町の関係職員等が合同で点検をするということを行っておるところでございます。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） わかりました。何か国は、県を通じて対策推進委員会みたいなのを開いて早急に対応しろということが通告されたように聞きましたけれども、町長のお話の中では、新年度に関係機関の皆さんにお集まりをいただいて、そこを調査するということでありましたけれども、実際、じゃこの国の通達というものはなされなかったという解釈でよろしいでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） お尋ねの点の通達については、教育委員会のほうでは把握をしております。また合同点検は今年度からということではなくて、以前からもう実施をしておるということでございます。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） ちょっといろいろのネットとか新聞等で見ると、そういう通達が出たということなので確認をしたんですけれども、改めてやっていなかったという解釈しております。事故はどこでも起き得ることを前提に、もう一度通学路の点検を、いい機会なので早急にやっていただきたいというふうに思います。

例えばですけれども、1つの例ですけれども、たまたま私、原町におりますので、原町小学校、幼稚園、その辺についてちょっと考えてみているんですけれども、小学校、幼稚園ともに正門の前に350メートルぐらい、いわゆる登校時にスクールゾーンを提案をしたいと思えます。タイムラグもあろうかと思えますけれども、少なくとも朝、園児、または生徒が登校するときにあの間に車が通っていくと。現状、通勤の大人の方々も時間に追われて信号を避けて通るという現状があります。そんなところで結構厳しい面があるので、町長、あの辺を時間差でスクールゾーンというのを提案したいと思えますけれども、お考えはどうでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 先ほどのご質問の続きでございますけれども、これにつきましては何度も申し上げましているように、合同点検ということで県関係者、警察関係、また町の教育委員会の関係で既に十分に実施をしながら進めておるということでございます。

幼稚園北側の、あるいは小学校南側といいますか、町道をスクールゾーンにできないかというお話でございましょうか。確かにこの抜け道といいますか、そういうもので使われていることが多いように思われます。私も昼休みにはよくあそこをウォーキングで通っているんですけども、そういうふうな形で朝は当然もっと多いのかなという感じがいたします。

これにつきましては、時間帯を何時から何時までにするとか、また地元の住民との協議も要するというところでございますので、スクールゾーン設定ということは非常に安全性が向上しますので、よいことだというふうに思っております。規制をする場合には、公安委員会との協議なども必要になってくるということでございまして、ほかに注意喚起の看板ですとか、そういうものも出てくるところでございます。

一番大きいのは、その地域住民の皆さんのご理解をいただくということが一番の問題かと思っております。そのようなことでございますので、協議をしながら検討してまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 町長が今、前向きなご意見をいただいたんですけれども、先ほどお話の中で、新年度に関係の皆さんにお集まりをいただいて、現地を見て安全対策をという協議をなさっているということなんですけれども、PTAの皆さんに聞くと、そういう要望がもう既に上がっています。学校としても本当に先生には感謝しておるんですけれども、信号のところへ3人の方が毎朝立っておられます。大変、もう数年続いておるわけです。その辺は信号ということでさほど問題はないと思いますけれども、学校ではそういう意識はあるようですよ。

ただ、公安を含めて警察、地元の方がどういう感覚でいるのか。ほんの朝、集中する時間をあの間だけ車が通れないようにするのは簡単なように思うんですけども、実際そういう話は新年度の会議の中で、少しでも触れられておられるようですか。その辺はどうでしょう。

○議長（一場明夫君） 教育長の答弁でよろしいですか。

○9番（山田信行君） はい。

○議長（一場明夫君） 教育長。

○教育長（小林靖能君） 町長答弁があったように、課題を見つけるということはやっていま

すけれども、今の山田議員さんの質問のようなスクールゾーンというところまでは話が踏み込んでおりません。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） わかりました。

ぜひ、教育関係でありますし、子供たちを守るということで幼稚園の園児、また小学校の皆さん、もう一つ、一斉下校がありますよね。そのときなんかも本当に考えておかないと、びっくりするほど車が元気よく通りますので、ぜひ検討をいただきたいというふうに思います。

また次に、地域住民の皆さんは防犯事項をいろいろ防ぐために、タウンポリスと呼ばれるような町内でパトロールをさせていただいております。まさにボランティアだというふうに思いますけれども、そういう地域住民が共同で取り組んでいるということでもありますけれども、そういったものの保険とか、そういう位置づけみたいのがちょっとお示しいただければと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 各地区で防犯協会が組織をされておまして、特に暮れになりますと防犯パトロールということで地域の皆さんの事業所ですか、そういつて夜寒い中を回ってただいてパトロールをさせていただいておるところでございます。そのようなことでございまして、これはもうかなり以前から行っていただいておりますということで、本当にありがたく思っておるところでございます。

それについての保険というふうなお話でございますけれども、教育長のほうからひとつお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 教育長。

○教育長（小林靖能君） ボランティアの方々には本当に感謝してもし切れないということでございますけれども、保険のところまではまだ確認しておりませんし、これは恐らくという言葉を使わせてもらいますけれども、恐らく入っていないんじゃないかなと思っております。今後検討していきたいと考えております。

以上です。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 私がちょっとお話ししたのは、夜の防犯も含めてかもしれませんが、今の通学路の問題でお話ししている中で、登下校のときにマイタウンポリスといいま

すか、地域の皆さんがベストを着て結構見守っておるわけですね。それで、ちょっとトラブルもあったということで、歩道に生徒がいる中で、その方が車をとめようとしたら、ちょっとおりてきてトラブルがあったという、そういうこともあるので、その人たちのどういふふうを守るかも必要ですし、保険もそうです。その辺の位置づけを町として、あくまでもボランティアだからおまえた手勝手にやってるんだと言え別ですけども、その辺のお話をちょっとお聞きしたかったんですけども、わかる限りで結構ですけども。

○議長（一場明夫君） 教育長。

○教育長（小林靖能君） 今、ご指摘いただいたこと等の中で、改めてボランティアの皆さん方には感謝してもし切れないという思いがありますので、今後、そういう方向で検討していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） それでは、早急を含めて皆さんで子供たちの通学を守っていこうということで再度お願ひをしたいと思います。

次に、防災についてなんですけれども、町では防災協定というのをかなり積極的に結んでおりますけれども、近隣の町村についてはどんな状態になっているかお聞きしたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 防災協定は、他の自治体との防災協定でございますけれども、現在東吾妻町は杉並区、南相馬市、あるいは小千谷市等、その杉並区のグループとスクラム支援会議等も持ちまして、防災に関して今非常に連携して取り組んでいるところでございます。また、徳島県の藍住町、滋賀県愛荘町とも、これは岩島麻の関係で交流しておりますので、この3町で防災協定を結んでおるところでございます。

郡内の町村につきましては、中之条町は大網白里市と交流関係がございますので、そういうものも含めて、防災協定も結んでいるのではないかなというふうな気はしております。高山村につきましては、今までは余り交流自治体というものをつくっていなかったということでございますけれども、今、何か神奈川県の方の湘南地区の自治体と結びたいというようなことで動いておるようでございます。草津町は温泉地等の関係で、遠くの温泉地、あるいは葉山ですとか、そういう一種の何か観光地グループみたいな感じで交流しておりますので、そういう中で防災協定もあるのかなという気はしております。嬭恋村も千代田区と交流しておるので、当然そこまで踏み込んで協定を結んでいるのかなという感じがいたします。

正確にどことどういふうに、どこまで協定をしているかということとはわかりませんが、そのような状況にあるかと思えます。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 大きな意味でスクラム協定、いろいろ草津町を含めてお話をいただきましたけれども、もっと身近に、本当に何かあったときには、一緒に被害に遭うという可能性はあるとは思いますが、例えば中之条とか高山村とか長野原、高崎、渋川、そういうところと、隣接するところとお互いに何か話し合っておく必要があるように思います。

例えば、コンビニとかいろいろあちこちでやっていますけれども、物資の調達等ということだろうと思いますが、そういう意味での近隣の防災協定といえますか、そういう何かお互いに助け合おうねというような話し合いみたいなのは、持たれたことがあるんでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 具体的にそういった調印ですとか、そういうものは行っておらないと思います。そういうものにつきましては郡の町村会なり、あるいは県の町村会なりで町村間の支援というものは実際に行っております。

この前の東日本大震災の折には、県の町村会から各町村に1,000万円の災害給付金を出しておりますし、当然大災害になれば近隣町村、近隣の町村会等が手を取り合って復旧復興に当たるといふものは、もう当然のことです。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 本当に十分大きな意味でありがたいと思っていますけれども、例えば地震はいつ来るかと思っていたら、いや、それがまさかきょうだった、そういうような言葉もあるような中で、本当に地元の近くの町と具体的にそういうものがあつたかをお聞きしているんですけれども、その辺はしていないということですか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 具体的にそういう協定に調印をしたかどうかというのは、ちょっと把握はしておりませんが、近隣町村とは余り行っていないのではないかと。やはり今申し上げましたように、郡の町村会なりで常々会議を持ってあらゆることを検討、連携しておりますので、そのようなことから、当然有事にはそういうものが有効に働くんだというふうに思っております。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 十分わかるんですけれども、職員レベルというか、事務局レベルで、

例えばあそこの道路が崩れた場合、ここから行くとか、中之条にこういう形で応援をしてもらうとか、シミュレーションを含めて、町長を初め職員の皆さんの担当課の方たちがそういう話し合いを1回持っていただければありがたいというふうに思うので、これは要望でありますけれども、ぜひそんな形で、イメージトレーニングも必要かと思っておりますので、ぜひお願いをしたいと思います。

次に、より町民が安全に避難できるようにということで、避難訓練を積極的に進めていければというふうに思うんですけれども、町長の考えの中で、例えば小字単位とか大字単位とかそういう形で避難訓練というのは考えておられるかどうか。

また、10月19日にいわびつ荘で大きな避難訓練がされたわけですがけれども、本当にきちんと、通告の練習から最後の避難を終えるまでのシミュレーションをいわびつ荘でしたようでもありますけれども、そういうものを含めて重要性があると思っておりますけれども、その辺は、町長、どういうふうにお考えでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 防災訓練、避難訓練でございましょうけれども、これにつきましては、このところ日赤原町病院につきましても災害救助訓練というんですか、行っております、そういうものに町として連携して合同で行うということも、1つの大きな力になるかなというふうに思っております。ほかには各地区で、地形なり河川の状況等がかなり独特のものがございましてから、各地区ごとに防災訓練等も行っていくことが必要かなというふうに考えております。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 教育長にも答弁いただいているので、もしよろしければお話をいただきたいと思うんですけれども、学校の中で災害時の対応、そういったものも恐らくやっておられると思っておりますけれども、先ほどの答弁の中で、町長が防災士の育成というなお話もありました。また支援をするということでもありますけれども、時間的にも費用も大変かかるんでありますけれども、町の職員含めて地域のリーダーということで職員の皆さん、また教員の皆さん、学校関係者、そういった意味での防災士の取得、そういったものは教育長はどういうふうにお考えですか。町のほうでは町長にお尋ねしたいと思います。

○議長（一場明夫君） 最初に、教育長、答弁願います。

○教育長（小林靖能君） 今のところ、学校の教職員の中で防災士の資格を取りに行ったという話は聞いておりません。しかし、学校、幼稚園では年に2回、それぞれ災害の対象のあれ

は異なるんですけれども、避難訓練は行っておるはずですし、それはもう特別活動の中の1つの行事として教育課程に位置づけられておりますので、きちんと実施しているというふうに見ております。

以上です。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 防災士につきましては、お答え申し上げましたように、今後、資格取得に向けた支援等を検討してまいるといふふうにお答えをいたしました。特に町の職員につきましても消防団に入って、消防団の幹部でいる者もございます。こういう者を率先して、その経験を生かして防災士を取っていただいて、有事のときには各地区でその力を発揮していただくというふうなことも必要かと思っております。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） 今お話しいただいた防災に関してですけれども、町ぐるみでしっかりと取り組んでいただければというふうに思います。また町長、地域として一度防災の練習を試みようかということで話が今出ております。そんなときは、ある程度学校が避難場所になるとは思いますけれども、それが日曜日なんだか平日なのかちょっとわかりませんが、時間帯もあると思いますけれども、そういった場合のご支援をご協力をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 訓練をやるとなれば、町民の皆様幅広くそこに参加できる日ということで土日、休日ということになるかと思っておりますけれども、そのようなときには学校につきましても教育長さんにも後でお答えいただければよいと思っておりますけれども、利用していただくことは十分あるかと思っております。

○議長（一場明夫君） 9番、山田議員。

○9番（山田信行君） これで質問は終わりますけれども、本当に災害というのは予測つかないことが起きるので、しっかりとみんなでシミュレーションをして重ねていけば最小限でとどまるかなというふうには思うんで、ひとつご協力もお願いしたいと思います。

以上、質問を終わります。

○議長（一場明夫君） 最後に答弁はよろしいですか。

○9番（山田信行君） はい。

○議長（一場明夫君） 以上で山田信行議員の質問を終わります。

◇ 竹 渕 博 行 君

○議長（一場明夫君） 続いて、5番、竹渕議員。

（5番 竹渕博行君 登壇）

○5番（竹渕博行君） それでは、一般質問させていただきます。

私は、防災に対する行政の役割についてということで、先ほど山田議員が質問しましたけれども、多少重複するところがあるかと思いますが、ご容赦いただきたいというふうに思います。

私たちは、近年の多くの自然災害に対し、体験やメディアによる情報などを通し学んでまいりました。

まず、近年の地震、津波被害は阪神・淡路大震災、1995年1月17日午前5時46分、マグニチュード7.3が発生。死者6,434人を出す大災害となりました。死者の8割以上が木造住宅などの倒壊による窒息死でありました。また、この災害を契機として各地で建物の耐震診断や耐震補強を進めてまいりました。

そして、新潟、福島、福井を襲った集中豪雨災害、2004年7月13日、梅雨末期の集中豪雨が新潟、福島県下を襲い、堤防の決壊などにより大規模な水害を招きました。16人の死者のうち13人は70から80歳代の高齢者でありました。これら的高齢者が亡くなったのは全て家屋内の溺死であり、この前例のない惨事を踏まえ、高齢者など災害時要配慮者に早期の避難を促す「避難準備情報」が創設されました。

また、東日本大震災、2011年、大津波が東京電力福島第一発電所を襲って、水素爆発や炉心溶融を発生させ、放射性物質が大気中に放射されたため、周辺市町村の住民は長期にわたる避難生活を余儀なくされています。東京都沿岸部だけでも東京ドーム900個分に当たる約4,200ヘクタールで液状化が発生、住宅地の被害は9都県で2万7,000件に達しました。

2013年、台風18号による被害については、避難指示・勧告は近畿2府4県だけで50万世帯、約120万人に出されました。また特別警戒が8月30日の運用開始後初めて発表されました。

2014年の御嶽山噴火については、国内において噴火災害で死者を出したのは1991年6月3日の雲仙普賢岳の大火砕流以来となり、死者数も戦後最悪の57人、行方不明者6人となり

ました。

このように、代表的なものを述べさせていただきましたが、災害はいつ起きてもおかしくありません。

そこで、災害対策基本法が1959年の伊勢湾台風を契機として、1961年11月に公布されました。この法律において、防災対応サイクル（循環）に沿って、行政が実施すべき事項を定めております。

第1フェーズ災害予防対策、第2フェーズ災害応急、第3フェーズ復旧復興。災害は地震であれ風水害であれ、住民に最も身近な行政機関である市町村がその事情をよく知ることから、災害対策基本法では防災対策の一次的責務を市町村に担わせております。これを市町村中心の原則と言います。

1つ、町では東吾妻町防災計画・防災マップがありますが、現状どのように有効に運用しているのか。

2つ目、今後どのように有効に運用していくのかお尋ねいたします。

ほかは議席に帰りまして質問させていただきます。

○議長（一場明夫君） 町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 竹渕議員のご質問にお答えをいたします。

当町では、平成27年3月に東吾妻町地域防災計画を改定し、また防災マップにつきましても同年3月に作成し、4月に毎戸へ配布をさせていただきました。

東吾妻町地域防災計画につきましては、各種災害の予防、災害応急対策及び災害復旧を実施し、住民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的に改定し、策定されました。有事の際には、この計画に基づき迅速かつ的確な行動がとれるよう、日ごろから自主防災組織を初め、関係機関と連携が図れる訓練等に取り組み、町民全体の防災意識を高め、災害に強い町づくりを推進したいと考えております。

防災マップにつきましては、家庭でいつでも手に取り、日ごろから災害に対して住民一人一人がとるべき行動や避難場所等が確認できるよう、大き目の冊子として作成をいたしました。これからこの防災マップが有効活用していただけるよう、広報等を通じ広く周知していきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 5番、竹渕議員。

○5番（竹渕博行君） 答弁ありがとうございます。

先ほど町長から答弁いただきましたこの防災計画、そして、町長が今手元に持っています防災マップ、こういったものが各家庭に配られている。大変いいことだなというふうに思っております。

さて、私はこれを一通り拝見させていただきました。ここへ行く前に、防災に対しての質問ですけれども、非常に広範囲にわたるということで、ある程度絞って質問させていただきますけれども、特に近年は雨が降るわけです。私が調べたところ、昭和59年からの10年間、年の平均が182回、50ミリ以上の雨が降っている。そしてその後の10年間、平均で197回降っていると。そして平成25年まで241回降っているということで、近年は非常に雨の降り方が変わってきている。当町においては、特に中山間地ですから土砂崩れだとか、そういった災害の可能性が非常に大きい地域だということは、多分町長も認識していると思います。

そこで、ここに、ある程度素人が見てもわかるんですけれども、例えば「あなたにもできる土砂災害の予防策」とか「警戒区域と特別区域の設定概念」と書いてあるんです。非常に素人が見てわかりづらい。これは基本的には防災マップ、ハザードマップですね。各地域に分かれていまして避難所、避難場所、病院等々記入してある。素人が見ますと、黄色が警戒区域、赤が特別警戒区域、これはわかるんです。ですが、これに入っていないところが、ああ、よかった、これは素人ながら当然私もそう思います。よかった。だけれども、あくまでもこれは参考資料なんだという認識をやっぱり町民に持っていただかなくちゃならない。そのためには、やはり一言二言必要なんです。そういった意味ではもう少しみ砕いた形での防災マップというものが需要ではないのかなというふうに思っております。

まだあります。別に文句言っているわけじゃないですよ。これでも十分活用はできると思うんですが、あえて言わせていただいております。

例えば「覚えてください171」、伝言ダイヤルだと思います。これは大体伝言ダイヤルだとわかっているんですが、ですが、これを実際にかけてシミュレーションした町民がどの程度いたか。私は試してみましたけれども、多分、ここにいる方々もほとんどの方というのはされていない。

この部分については、町長もご存じだと思いますけれども、毎月1日、15日、これについては無料で体験できます。そして正月の三が日、そして防災週間の8月30日から9月5日、それと防災とボランティア週間1月15日から1月21日の間、無料でこれ体験できるんです。

よ。こういったことをやはり町民に知らせる、そういったものが行政の役割なのかな、親切的なやり方なのかなというふうな気がしておりますので、ぜひそういったこともお願いしたい。お願い……、取り組むべきだというふうに思っております。

先ほども申し上げましたけれども、ハザードマップ、本当にぱっと開いたときに、ああ、うちは外れていた、よかったな、これを見てそう思っていたいただいても結構なんだけれども、だけれども、今は想定外という言葉が出てきちゃったんですね。ですから、この黄色の範囲に入っていないなくても注意してくださいよ、こういった言葉をやはり投げかけていく、こういった姿勢がやはり行政としての役割なのかなというふうに思っております。細かいことを町長に質問するつもりはないので、ちょっと私が語らせていただきますけれども。

それと、2年やはりたったということで、先ほど、それは違う人の答弁ですからあれなんです、そろそろ、やはりこういったものが本当に町民に読まれているのかどうか、こういったものをきちっと調べる、そういったことがやはり必要だと思います。ぜひそういったものを取り組んでいただきたい。これ私の言い方なんです、言いつ放し、出しつ放し、やりつ放しというのはよくない。ぜひそういったものを積極的にやはり取り組むべきだというふうに思っております。

まず、その辺、町長のお考えをお聞かせください。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 竹渕議員ご指摘のように、最近では地球温暖化によりまして豪雨が集中化するというような傾向にあると思います。

特に、平成19年の19号台風がございまして、このときやはり大雨が降って、群馬県の南西部下仁田町とか南牧村で大きな被害を出した災害がございました。これにつきまして、私はもう災害現場に行きましたし、また復旧の状況等もつぶさに見てまいりました。やはり東吾妻町で一番可能性のある災害は、ああいう災害ではないかなというふうに思っております。中小河川が氾濫して、そして橋に流木等が引っかかってダムのようになってあふれ出して、護岸を壊し、また道路を壊していく、そして河川の護岸というか壁も、岸壁も崩れていくというふうな状況でございまして、これが東吾妻町、一番大きな可能性のある災害だというふうに思っております。

そういうことで、この防災マップ自体も大変に利用価値が高いものかと思っております。しかし、議員がおっしゃったように、これに外れているから安心だという、そういうことも考えられますので、今後はやはり町民の皆様に対しまして、自分たちの周辺のところをみずから見て、

災害になりやすいような箇所等も十分に理解をしてもらうような、そういった防災訓練等も行っていく必要があるのかなというふうに思っております。

また、171のダイヤルにつきましては、群馬県警察につきましては、たしかあれはお祭りのときですか、やはり警察に通報する体験コーナーみたいなのがありまして、私も1回やったことがあります。大変いいことだと。実際こういうふうに受け答えしてくれるんだというものがありますので、やはりそういうことは今申し上げましたように、竹淵議員も言いましたように、体験する期間もあるようでございますので、そういうものをしっかりと経験をしていく、体験をしていただくということも必要かと思えます。そういうふうな広報もしてまいりたいと思っておりますのでございます。

それで、一番基本的にはやはりこのマップを各家庭で見やすく、取りやすいところに置いてもらって、何かのときには見てもらうということが必要ではないかなというふうに思っております。

○議長（一場明夫君） 5番、竹淵議員。

○5番（竹淵博行君） 答弁ありがとうございます。

町長の前向きな姿勢を拝見いたしまして、今後、その防災に対する取り組みというものがある程度積極的に見られるのかなというふうに期待をするところでございます。

さて、実技訓練だとか図上の訓練、いろいろあろうと思えます。東日本大震災のときに助かった方々に統計をとったそうです。例えば100人に対して、15人については正常に行動ができる。しかし、15人についてはパニック状態になる。そして70人については、これは約ですけれども、腰が抜けたような形で、走っているつもりでも歩いているようになる、そんな状況だということが報告されております。これはやはり訓練しかないというふうに思っております。

当町については、これから取り組むようでございますけれども、きっかけはやはり行政でつくってあげる。地域でやるのであればそれを行政がどのように、側面からでもお手伝いしますよというようなことを投げかけていくということがやっぱり必要なのかなというふうに思っております。

結構、今はやっておりますのが「DIG」と書きまして「ディグ」と言います。そして「HUG」って「ハグ」と言うんです。DIGについては地図を使って、そこにさまざまな危険な箇所だとかいろんなことを書き込んで、1つのゲームなんですけれども、Dについては災害、Iについては想像力、Gについてはゲームという意味でございます。

そして、HUGについては、これはローマ字、日本で生まれた名前でございます、避難所のH、そして運営のU、ゲームのG、これでHUG、温かく抱きしめるというような意味でございます。

そういった中で、これで何が言いたいかといいますと、やはり避難所、避難場所に行くときに、自分のうちからとか会社からどのような障害物があるとか、そういったものをやっぱり事前に知っておくということが非常に重要でございます。こういったものは学校教育にも取り入れられますし、地域でもぜひ積極的に取り組んでいってほしいというふうに思っております。

そして、HUGについては、避難所の運営ゲームということであります。例えば、いざ災害が起きて、ある公民館に何世帯か、例えば10世帯なら10世帯避難しましたといったときに、ただ避難させればよいという話じゃなくて、当然受け付けがあったり、要するに補給所というんですか、何かそういったものも設けたり、みんなやはりわがままですから、みんな端のほうをとるような形、誰かが指示をしてあげて、例えばお年寄りトイレの近くだとか、そういうものを即座に決めていかなくちゃならない。そういった人を率先してつくっていかなくちゃいけない。やはりそういった立場の人というものが行政であったりとか、また防災士であったりとか、そういったものが必要になってくるのかなというふうに思っております。

どちらにしても、災害については多岐にわたりますので細かなことを言いません。ただ、町長の答弁を聞きますと、非常に積極的に今後も取り組んでいくというような話がございました。災害とは、とかく防ぎようのない災害がほとんどでありますけれども、防ぎようがあったと思われる災害も過去にはございました。町民に対する情報の提供や避難訓練、または備蓄品の確保、または消防や警察、町の消防団、病院など、図上、実訓練を行い、連携を実際にどのようにシミュレーションしていくのか。これはこれからの課題だと思いますけれども、町長、これからでも本気で取り組んでいくべきだというふうに思います。

最後に答弁をいただいて終了したいと思います、よろしく申し上げます。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） このような災害のときには、首長等が判断、あるいは決断することが重要だというふうに思っております。

阪神・淡路大震災のときに、ある県の知事は自衛隊を認めないというふうな立場から、自衛隊出動をためらって、長時間、自衛隊が出動できなかったということで大変な死者があったかと思われま。

やはり災害というものは、即座に判断して、そして初動が一番重要なことだというふうに思っております。またこれからも町民の生命・財産、安全を守るために、関係機関と連携をして取り組んでまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 5番、竹渕議員。

○5番（竹渕博行君） 最後、ちょっと時間が余っているようなので、述べさせていただきたいと思いますが、いま一点、この防災マップの中で、別にここで言わなくてもいいんですけども、ここの最後のほうに備蓄品、非常時持ち出しチェック表というのがあるんですけども、それで、避難するときに持ち出す最小限の必需品、男性15キロということを書いてあるんですけども、今現在、最低でも3日間の備蓄をしてほしいということがございます。これはどういう意味かといいますと、72時間体制というのがあるんですね。ですから、大きな災害があったときに、緊急医療チーム、またはいろいろ警察も含めて消防もそうなんですけれども、3日間の猶予をいただいているという流れの中で、3日間はある意味、救助行けないよ、そういうことを前提として言っているんです。

そういった概念もございますので、もう少し具体的に何日分は用意しておく必要がある、そういったことをやはり載せる必要があるのかなというふうに思っております。言い出せば切りがないんですけども、やはり町民がわかりやすく、そしてまた利用しやすい、先ほど町長が述べていただきましたけれども、そういったものをぜひ改正できるところは改正する。まだこれは出したばかりですから、そういった意味では違う意味での情報提供をしていくということに、ぜひ心がけていただきたいと思います。

以上で私の一般質問を終えたいと思います。

○議長（一場明夫君） 答弁はよろしいですか。

○5番（竹渕博行君） はい、結構です。

○議長（一場明夫君） 以上で竹渕博行議員の質問を終わります。

◇ 根 津 光 儀 君

○議長（一場明夫君） 続いて、7番、根津光儀議員。

（7番 根津光儀君 登壇）

○7番（根津光儀君） 議長の許可を得て、町長に質問いたします。

まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定され、間もなく1年になります。2040年の我が町の姿を描きながらつくられたこの計画書は、今後、私たちが進むべき道を示しているものです。町の第1次総合計画が29年度で終了年度を迎え、新たな総合計画を策定する準備を始めたと聞きましたが、総合戦略と矛盾することなく、よりよい計画がつけられていくことを願っています。総合計画と比べて総合戦略は、より具体的に振興計画が練られておりますが、その中でわかりにくい面が少々あるので、総合戦略本部長である町長に伺いたいと思います。

まち・ひと・しごと創生総合戦略において、農業振興に直接的な記載はなく、食、農産物、コンニャクなどのキーワード的な扱いとなっています。林業について、ひがしあがつま森林創生プロジェクト事業として項目を設けているのと大きな違いがあります。しかも、ひがしあがつま森林創生プロジェクト事業は基幹事業として位置づけられております。

そこで、以下について細かくお答えいただきたいと思います。

1、総合戦略策定に当たって農業にかかわる項目が余りにも少ないと思いますが、この町にとって農業の位置づけはどのようなものでしょうか。

2、町の農業の変化についてどのように捉えていますか。

3、基礎部分の農業戦略が示されないままブランド化や産学連携、観光利用はあり得ないと思いますが、町長は農業振興についてどのように考えていますか。

4、農業経営に欠かすことのできないビニールハウスなどの積雪による倒壊や雪による道路の不通などについて、町長としてどのように取り組んでいくお考えですか。

5、ひがしあがつま森林創生プロジェクト事業が基幹事業として取り上げられていますが、一体どのようなプロジェクトでしょうか。

6、このプロジェクトにどのような体制で取り組み、その進捗状況はいかがででしょうか。

以上、通告書に記載の6項目を1次質問として自席に戻らせていただきます。

○議長（一場明夫君） 続いて、町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） それでは、根津議員のご質問にお答えをいたします。

まず、1点目の総合戦略の中での農業の位置づけでございますが、ご承知のとおり、総合戦略は2040年に1万人の人口維持を目指すために若年層世代の人口増を実現し、あわせて目指すべき町の姿である「子供も大人もいきいき暮らせる元気なまち」を実現するために、平成27年度から向こう5カ年間の各種施策を策定したものでございます。

また、総合戦略には4つの基本目標がございまして、町の農業に関連する事業につきましては、基本目標1の「東吾妻を知ってもらう。」と基本目標2、「東吾妻で働くことができる。」の中で、各種事業が策定されております。

東吾妻を知ってもらうでは、町の重要な資源である農作物等のPRを行う手段として、大学などと連携した食による町おこし事業や、交流自治体と連携した地場産品都心販売事業などを展開することとしております。

また、東吾妻で働くことができるでは、ひがしあがつま森林創生プロジェクト事業により、町の貴重な地域資源である森林における新たなビジネスモデルの構築を目指すものでございます。

冒頭でお話をさせていただいたとおり、総合戦略は、目指すべき人口ビジョンと町の姿を実現するための各種事業を策定する必要があり、若年層世代の定住や移住に直接関係する施策が多くを占めるという結果となっております。しかし、町の主要産業である農林業は、町の魅力であり、重要な地域資源でもありますので、総合戦略を推進する上で不可欠なものとして、今後もこれを生かしていきたいと考えております。

2点目の町の農業の変化をどのように捉えているかでございますが、戦後、食生活の大きな転換、農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加、食料自給率の低下など、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、一方、安全で良質な食料の安定供給と環境保全や有効な環境形成、文化の継承など、さまざまな面で期待が高まっていると捉えております。

3点目の農業振興についてどのように考えているかでございますが、農業は当町の基幹産業であります。総農家数は多くありますが、その多くは自給的農家で、後継者不足などにより専業農家は減少し、厳しい状況が続いております。意欲のある農業者が法人化を進め、地域農業の発展に努めています。この活動が町内の他地区の手本となることを願っております。

このような活動の前提として、労力の省力化のための圃場整備や作物の産地化なども進めてまいりたいと思います。収入面でも、また職業としても魅力ある農業を目指し、耕作放棄地の減少による環境保全と良好な環境の形成のため、県の指導を仰ぎながら農業者の皆様と協働による農業振興を進めてまいります。

4点目のビニールハウス等の積雪による倒壊や道路の不通などについて、どのように取り組んでいくかでございます。

平成26年2月14日の記録的な大雪により、当町のパイプハウスにも甚大な被害がありま

した。パイプハウスの復旧には資材不足により大変な時間を要することとなりました。この復旧には国・県及び町でも経営体育成事業として、撤去には100%、再建には90%の補助を行ってまいりました。また、国の補助事業を利用しない農業者には、町単独で撤去費の補助を行ってまいりました。平成27年度中にはほぼ再建も終わり、被災前の営農活動が行われております。

今補正予算においても、平成28年第1回定例会で農業用ハウス耐雪補強工事へ県補助金制度創設を求める意見書の提出をお願いする請願によりまして、県では、「はばたけ！ぐんまの担い手」支援事業と法人化等支援型経営発展タイプのソフト事業の補助制度の適用と、町単独での補助金の上乗せを行っております。県においても来年度以降も継続する見込みですが、補助の趣旨は実証試験となっておりますので、施設整備のための補助とはなっておりません。それぞれパイプハウスの所有者の皆さんも、平成26年の大雪の教訓がありますので、事前の対応を行い、被害をなくすよう啓発してまいりたいと思います。

また、雪による道路の不通につきましては、町民生活に大きな支障を来しますので、生活道路を中心に業者委託を含め、また地域の皆様のご協力もいただきながら早急な除雪に努めてまいります。

5点目のひがしあがつま森林創生プロジェクト事業についてでございますが、1点目の答弁と重複するところもあるかと思いますが、町の貴重な地域資源である森林における新たなビジネスモデルの構築を目指すものでございます。具体的には、森林経営計画を策定することにより集約化した森林での計画的な伐採を行うことができ、それにより安定的な森林経営が可能となります。あわせて森林所有者は税制や融資、補助金等の支援措置を受けることができます。

まず、広大な面積の町有林や共有林からその推進を図ることにより、個人の森林所有者が施業する機運を高めるとともに、林業従事者の育成や技術の取得の場にもつながるものと考えております。そして、森林所有者が施業や保護に取り組みやすい仕組みをつくることにより、森林の保全や水源涵養、地球温暖化防止などにつながるとともに、適正に管理された森林は、そのもの自体が財産であると再認識してもらえるようなプロジェクトにしていきたいと考えております。

6点目のプロジェクトの推進状況でございますが、総合戦略本部の組織体制の中に未来創生部会がありまして、その中の仕事に関する各種事業を協議する地域産業連携分科会という組織がございます。この中で群馬県や吾妻森林組合の方々の意見なども伺いながら、事業に

関する検討を進めているところでございます。

5点目でご指摘もありましたとおり、総合戦略での基幹事業の1つでございますので、十分な協議の上、慎重に進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 質問の途中ですが、ここで休憩をとります。

再開を午後2時15分とします。

（午後 2時04分）

○議長（一場明夫君） 再開いたします。

（午後 2時15分）

○議長（一場明夫君） 休憩前に引き続き、町政一般質問を行います。

7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） 丁寧なお答えありがとうございます。

順を追って2次的質問を交わしていきたいと思うんですけども、農業の位置づけというものについて、総合戦略の中では知ってもらい、生かしていくという、この町を伸ばしていくためのアイテムの1つであるというようなお考えのようです。私も本当にそういう意味で農業って素晴らしい産業の1つだなと思っております。その点、私も町長も全く同じ考えだなと思っております。

町の農業の変化についてということで、町長は高齢化が進んでいるということを心配しておられました。確かに高齢化が進んでいて、農業の規模が自給型に変わりつつあるという一面もありますけれども、一方、優秀な農家が土地利用型の農業から施設利用型の集約的農業にシフトしてきている、そういう流れがあるというのも、私、現実を感じております。そういう方にとって施設というのは、農地と同じように非常に大切なものなんだというふうには思っております。

後ほど別項目でお話を交わしていくんですけども、雪害によるそれらの施設の倒壊とい

うのは、非常にこの町の農業にとって大きなダメージだったなというふうに思っております。

また、もう一方、農業が6次産業化しているという変化も確実にあるんだと思うんです。町長は、この辺については余り触れられておられませんでしたけれども、6次産業化が非常に進んでいると考えております。6次産業化の今の現状を見てみますと、これが各農家、あるいは生産者ごとの個別化、そして孤立化が見られるということをおはここで町長に訴えて、ぜひこの辺を町の力で救っていただきたいと思うんですけれども、6次産業化が個別化している、そして孤立化しているということについて、町長は思い当たる節ってございませんでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 6次産業化でコンニャクを主として6次産業化を行って、自分たちでつくったコンニャクを製品にして、そして自宅前で販売をしてという方がいらっしやいました、これにつきましては天皇杯に輝いたということでございます。そのようなことで大変に頑張っいらっしやるといってございませけれども、孤立化というのが、ちょっと私がそこら辺をよく把握できないので、もう一つそこら辺のところをご説明いただければと思います。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） 実は、町長が今お話しされた方は非常に大規模な方で、私の言っている個別化や孤立化の話とはちょっと無縁の方だと思います。

ただ、私の集落の中に、お母さん方がお菓子であるとか、パン、おまんじゅうであるとか、漬物、御飯もの、さまざまなタイプの6次産業化を成功させました。しかし、この方たちはその施設の保健所の免許の都合の関係で、お菓子の方はお菓子とパン、それから漬物の方は漬物、それから農産加工の方は農産加工の施設しか基本的に持つことができませんので、そうすると、最初は集落全体でそういった人たちが協力し合っているやっていたんですけれども、どなたか一人が弱体化すると、そうすると連携がまたうまくいなくなってくるというようなことで、全体的に孤立化していつているんですね。

それで、私がお願いしたいのは、例えば岩島の地域振興センターの調理教室のようなところを開放していただいて、そして共同で使える加工施設をつくっていくというようなこととか、あるいは地域の公民館を使って同じようなこともできるかなと思うんですけれども、そういったところに町の力をかしていただくということではできませんでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） お尋ねの点でございますけれども、町のそういう建物、施設を地域の皆様が農業の進展のために共同で協力して使うということであれば、認めることができるのかなというふうには思いますけれども、ただ、その場合には衛生面といいますか、いわゆる保健所関係のそういったものをクリアできるかどうかの課題があるかと思います。それにつきましては、今後よく調べて、煮詰めていくことが必要かなというふうには思います。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） そういった動きが出てきたら、町としては協力していただけるというふうに取りたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 各種の課題等がございますので、そういうものを十分よく検討して、クリアできることになれば行っていきたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） 次に、農業の戦略ということで、町長のほうからは自給的農家が多くなっている中で、意欲ある農家の方が法人化して整備、土地の基盤整備も進められ、また産地化もある程度進んでいるというふうにおっしゃられました。本当にそういった動きもあるのも確かだとは思いますが、私は、基盤整備という、そういうハードのことも非常に大切なんですけれども、やはり一人一人の農家がこの町のブランドであるという、いわゆるこの町がアイテムとしてぜひあなたの商品を、あるいは農産物を使わせてくださいというようなぐらいの他に追随を許さない高品質化、それから付加価値というものがこれから求められていくんだと思うんです。

若い農業者がこの町に入ってきているのも、実際に農業委員会や農林課の方のほうから教えていただきまして、そういう動きは確実にあるということで、それで、その若い人たちに今まで培ってきた農業の真髄みたいなものを一緒に学んでいく、あるいは先輩が教えていくというような動きが必要だと思うんですけれども、そういった動きをもしグループでやるとすれば、そういったことも町の仕事として取り組んでいくということはどうでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 町のブランド化ということでございまして、おいしいお米「さくや姫」、今回の米・食味国際コンクールにおきましても、金賞やそれに並ぶような優秀な成績を東吾妻町の生産者の皆様がいただいたということでございまして、これからもこういったブランドを進めてまいりたいと思っております。

また、若い農業者の参入ということでございまして、これにつきましては私も経験をいたしまして、中之条高校を卒業してすぐにコンニャクで農業を始めたいということで、そのときは町外のコンニャク生産の農家に行って学んできて、現在は自分で自立して頑張っているという方を知っております、若者を知っております。非常によいことだと思ひまして、そういう若者を見ると本当にすがすがしくていいなと思っております。最近は何か彼女もできていい話もあるようでございまして、さらにいいかなと思っておりますけれども、やはりそういう若い人を育てるような、その場合はコンニャク生産者の中できつとそういう連携した流れがあったんだと思ひます。

そういう作物作物のグループで教え合うというふうなことも必要かと思ひます。町として協力できるものがあれば、協力させていただくというスタンスでいきたいと思ひます。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） かつては農県連という組織があつて、そういった役割を担っていたんですけれども、今これが消滅してしまいました。それはいろんな事情があつて消滅せざるを得なかったという面もあるのかと思ひます。一番は事務局を誰が持つかということで、町から農協に渡し、農協もこれ以上、そこに携わることができないというようなことで消滅していったような、私はそういうふうには受け取っています。

ぜひ町、あるいは町の農業委員会のようなところに事務局をきちんと設けて、そして若い世代を先輩方が支えて、教えて、鍛えていくというような、そういう組織というか固まりというか動きが必要だと思ひます。ぜひそういったものをつくっていただくようお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） ご提案の点でございましてけれども、町としてできないとか農協としてできないとかという、いろんな弊害が出てきてということだと思ひますけれども、そういうものを乗り越えられるような、そういった組織的なものが形成できればなというふうには思っておりますので、今後十分にその点につきましては検討してまいりたいと思ひます。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） ぜひよろしくお願ひいたします。

次に、ビニールハウスの耐雪補強のことですけれども、これは私、一議員としても、また、この町の他の議員の皆さん方も、そして議長も巻き込んで意見書を県に提出してお願ひしてきたんですけれども、いかんせん、はばたけ群馬というソフト事業の中に閉じ込められると

いう形での実施となってしまいました。

来年度もこの事業は継続されるというふうに農林課長からは聞いていますので、その意味ではある程度は進展というか、少なくとも啓発を進めていくことができるかなと思いますけれども、ぜひこれを、啓発していくということは非常に大切です。というのは、ビニールハウスが潰れてしまうと、本当に農業生産そのものが停滞してしまいます。それを契機に廃業という方もいます。ハウス自体が安いものではないんですね。

ただし、一度建設してしまったハウスに新たにこういった補強をつけるというのは、なかなか実際問題が大変なんです。下に作物があつたり、上にビニールが張ってあつてというようなことで、ある程度の苦勞が伴うんですね、設置するのに。そういった意味で、補助金というのは1つの後押しになることだと思いますので、ぜひこれについて、町のほうで啓発事業をやっていただきたいんですけども、例えば農協は無論、農協サイドでやるでしょうけれども、町の広報などで、耐雪補強のこういった方法がありますよというような啓発をしていただきたいんですが。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） この事業につきましては、県で大変ご配慮をいただいて、厳しい状況の中で立ち上げてくれたという事業でございまして、使うほうの皆さんにとっては少し中途半端な事業かなというふうな声も聞こえておりますけれども、こういうものも1つの手段として利用していただいて、しっかりとしたパイプハウスを建てていただいて、よい農業製品をつくっていくことが必要かなというふうに思っております。

広報におきましても、町の広報でありますとか農業関係者の集まる会議でございまして、そういうところで積極的にPRさせていただきたいと思います。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） それと、農産品の出荷にかかわる大切な道路の除雪についてなんですけれども、これ一般的な生活道中心の考え方のほかに、やはりこの町の農業を守っていくという中において、別の除雪体制を考えないといけないんじゃないかなと思うんです。

農家の方は機械を持っていますから、自分で除雪もします。ただし、私も実際に経験しましたがけれども、農家で大きい機械を設置しているという人は、地域においてもリーダーシップをとってさまざまところで活躍している人なんです。その方が、雪が降ったときに自分のハウスのめぐりを優先するのか、それとも、もし何かあったときに救急車が入れるようにいち早く生活道を確保するのかということに悩まなきゃならない。何でかという、町から

のそういった支援がされてこないからなんです。ですから、ぜひとも町の除雪体制をもう少し充実させていただきたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） かつての大雪のときに、非常に経験したことのないような状況でございまして、そのときには、やはり今お話にありました農業関係者がトラクターで雪かきをしていただいたということでございまして、地域の本当にリーダーがリーダーシップを発揮していただいて、地域の除雪を積極的にやっていただいたということでございまして、大変ありがたく思いました。

それにつきまして、燃料費の補助、支給みたいなことで行っておりますけれども、今後は、生活道路の幹線につきましては、業者委託というふうなことで進めておりますけれども、それに含まれないような支線といいますか、農業用道路みたいなものは、そういった農業者の皆様がトラクター等でお願いをするということが出てくるかと思えます。

そういうふうなことで、これからも燃料費等の面も、単価等も今後時世にあったようなものにしていく等を考えまして、やはり町ぐるみ、地域ぐるみで緊急の大雪のときにはそのような形で対応してまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） 心強いお答えだというふうに受け取っておきます。ぜひとも除雪体制、確立させていただきたいと思います。

というのは、1日不通、あるいはちょっと不通となっただけでも、卵が何万個、豚が何十頭、そして豚の餌でいえば何百頭分の餌、牛でいえば何十頭の餌、そして大量のミルク、それらが市場に出ていかないし、餌が来ないし、動物は飢えるしということになるわけですから、ぜひよろしく願いいたします。

それで、森林関係についてちょっと伺いたいと思います。町長のお話の中では、この森林創生プロジェクト事業の中で自伐林家、あるいは自伐林業の業者を育成していくというような考えのもとに、これはお話があるのでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 森林創生でございましては素材生産を行っている業者の皆様、あるいは森林組合の関係、作業班を含めたそういう実行部隊、それから今、議員がおっしゃった自伐の林家等も私が知っているだけでも何人かいらっしゃいます。そういうものを含めたものでございまして、やはり森林、広大な面積でございまして、

方々からの力をいただいて森林整備を行って、そして森林を経済にのっけて、地域経済が潤っていきような、そういうものにしていかなきゃならないなというふうに思っておるところでございます。

いずれにいたしましても、そういった各組織、団体等も含めて自伐的な個人的な力もいただきながら進めてまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） 計画の中に、森林経営計画というものを立てていくということが盛り込まれていますが、それ以前の仕組みの中では森林施業計画と呼ばれていたようですが、現在、森林施業計画というのは、この町で認定して動いている計画なんですか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 森林施業計画というものは、その役割を終わらして、今は森林経営計画というものに移行しつつございます。これにつきましては、経営計画を立てられるのが、森林組合等が立てられるということございまして、個人的に立てることはできないと思いますので、そういう点につきましては、自伐林家なり森林組合等が連携し合って、お互いの力を協力し合っていかなきゃならない点だなというふうに思っております。

ですから、吾妻森林組合におきましても素材生産業者の皆様と協定を結んで、お互いに森林計画は森林組合がつくるから仕事は一緒にやりましょうというふうなことで、協定を結んだところでございます。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） そうすると、森林経営計画は既に実働を始めているということなんですか。はい、わかりました。

それで、蛇足ながらの話ですけれども、町有林や恐らく烏帽子山植林組合もこれに該当するのかなと思いますけれども、そういったものの中でぜひ自伐林業をやっておられる方、あるいは、これからそういうものをやりたいと考えておられる方にも、こういった森林を公に、オープンに出していただきたいと思いますが。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 森林経営計画を町の町有林を含め民有林全体に網をかけていくということが必要なのでございまして、これにつきましては、やはり森林組合、あるいは町、それから自伐林家等の個人の皆様、素材生産の皆様の一体化した力が必要かと思っておりますので、その点につきまして連携を図るよう努めてまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） 7番、根津議員。

○7番（根津光儀君） 1,082ヘクタールほど町有林があるそうでございます。植林した使える部分が。それでもう伐期を迎えているということです。

また、C材、D材についての燃料供与につきましては、32円で1キロワットアワー当たり買い取られるというようなことも、この森林経営計画の中に入っていることだそうですから、ぜひこのプロジェクトをいい方向に進めていっていただきたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 最後に、C材、D材の話もございます。やはり森林経営計画の中で計画された施業を行って出るC材、D材につきましては、バイオマスチップにして発電所に出して、その発電所が売る単価が32円ということで優遇されるということでございますので、やはりこの経営計画を策定して、これにのっとりて施業を行うということが必要かと思えます。

○議長（一場明夫君） 以上で根津光儀議員の質問を終わります。

◇ 青 柳 はるみ 君

○議長（一場明夫君） 続いて、12番、青柳はるみ議員。

（12番 青柳はるみ君 登壇）

○12番（青柳はるみ君） それでは、議長の許可を得まして、一般質問通告書に基づき質問させていただきます。

3点についてお伺いします。

このごろ、若いお母さんと話す中で、幾ら言っても子供に伝わらず大きな声を上げてしまう、こだわりが強過ぎて同じことばかりしているが、正常の範囲か心配だ、子育てに不安を思うが、相談していいものかわからないという声を聞きます。3歳ではわからなかった発達の問題が5歳では明らかになるという。何より保護者が気づくことが第一であり、保育園、幼稚園、保健師、心理士の連携ができないものでしょうか。

人間関係や不器用で仕事が続かないなどで引きこもる若者もいます。子供のころからの手当が必要だったと言います。人口減の中、社会にとっても大損失だと思えます。

また、周囲の理解が必要で、個性と捉え一緒に生きていきたい。そのためには発達につい

での理解を進めるため、町民への啓発が必要になると思います。そのために、町の事業として講演や映画などでアプローチが必要と思います。

次の地域活動の指導者養成についてお伺いします。

町づくり、地域創生では住民が各地で立ち上がり地域をつくっている。昔から脈々と伝えられ、水路を初め里山を守っている。これに加え、新しい活動に対しリーダー養成をすることが大切だと思います。社会福祉協議会主催の町内のサロンの取り組みを各地の代表が発表しましたが、大変感動しました。町内各地の取り組みを区長会などの会合でぜひ紹介、発表して啓発していただきたい。

次に、婚活、縁を結ぶ広域での取り組みについてお伺いします。

12月初めの土日は、各市町村の婚活が盛んに行われました。当該町村だけで実施するところが多い中、まちなかマラソンとリンゴ狩りという中之条の取り組みは、広く呼びかけていました。女子は広く呼びかけることが多いが、男子は町内という事例が多いです。縁を結ぶ事業では自治体にこだわらず、特に郡内、東と西の真ん中であると町長が広く呼びかけを実施していただければと思いますが、見解をお伺いいたします。

○議長（一場明夫君） 町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） それでは、青柳議員のご質問にお答えをいたします。

1点目の我が子の発達について気づく5歳児健診の実施についてですが、発達障害5歳児健診の実施に関して、群馬県では5歳児就学前健診の全県実施に向けて啓発活動を開始しております。保健センター方式、園医方式、巡回方式が提案されているところがございます。この動きを受けて、当町においても実施可能か検討した経緯があります。

しかし、5歳児健診実施には、発達障害に精通した医師と心理職、言語聴覚士の配置が不可欠であり、現状ではスタッフの確保が難しく、健診を実施していない状況にあります。また5歳児健診の実施に関しては、療育環境の整備が不可欠と判断しております。確かな診断とその後の療育環境が保障されて、初めて健診を行う意味があるように思います。

発達障害につきましても、この障害を当事者、親が受けとめ、社会的に自立ができるように育てることが大切であると考えております。あわせて発達障害を理解し、見守る寛大な社会的環境こそ必要と考えております。

5歳児健診は実施しておりませんが、早期発見、早期療育に向けては既に1歳半健診、3

歳児健診の健診表の整備を行い、スクリーニング強化に向けて取り組みを開始しております。

また、3歳児健診の事後フォローとしまして、相談支援センターとの連携、児童相談所の巡回相談の活用、保健センターにおける発達相談等を活用し、就学前、さらには就学後も夏休み、冬休みを活用して相談を継続実施しております。

また、今年度、地方創生加速化交付金事業といたしまして、子供の相談支援事業などにも着手しているところでございます。

2点目の質問についてでございますが、町内各地の地域活動の取り組みとして、社会福祉協議会主催事業の町内サロンの取り組みが紹介されました。地域の高齢者サポートを地域の方が自主的に取り組み、参加する。高齢者にも大変喜ばれているということです。大変よいことであり、多くの皆さんに活動が知られるように配慮したと思います。

町では地域のさまざまな課題解決のため仕事をしているわけですが、内容によっては地域の方の協力で解決できるものもたくさんあると思います。ご指摘をされました地域創生のための指導者育成につきましては、既に進められている分野もあると思いますが、地域の要望を把握し、協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えております。

3点目の婚活事業での参加者を自治体にこだわらず広く呼びかけることについてでございますが、ご質問のまちなかマラソンとリング狩りを行った婚活事業につきましては、12月3日から4日にかけて地域社会ライフプラン協会の主催により実施をいたしました「ミライカレッジ吾妻まちなかマラソン婚」のことであるかと思っております。これは吾妻振興局が共催となり、郡内の6町村全てに協力依頼があったものでございまして、郡内の20歳から49歳までの男性を対象に参加募集をかけ、首都圏からも田舎暮らしを希望する女性を招いて実施したものでございます。

このほかにも、今年度から新たな試みとして、中之条町、高山村、本町の3町村で「ちょっと遠くで婚活パーティー in 高崎」という婚活事業を11月26日に開催をいたしました。参加者は男女ともに3町村限定で募集し、高崎市内のレストランで立食形式のパーティーで実施をいたしました。

また、町の単独事業といたしまして、2回目になるいわびつ婚を7月2日に実施をいたしました。実施に当たっての体制につきましては、昨年度の当初開始時より町民参加を重視して実行委員会体制とし、民の力を存分に発揮していただける形としております。実績といたしましては、男性は町内より16名、女性は県内各所から18名の方に参加をいただき、あづま森林公園でのバーベキューと箱島ホテル保護区でのホテル観賞で実施をされました。カッ

プリングにより8組が成立をし、参加者アンケートでも9割以上の方から楽しかったという回答をいただいたところでございます。

ご指摘のとおり、婚活事業につきましては、参加者を広く呼びかけるというような手法的な検討はもとより、若者の出会いの場を創出する上で重要な事業の1つと捉えて、引き続き総合的に検討していく必要があると感じているところであります。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） 丁寧なお答えありがとうございました。

5歳児健診のできない理由というのを伺いましたが、5歳児健診というのは、我が子の発達について保護者が気づくということが一番大切だと思います。行政の役割としてスタッフの確保がありますけれども、当町では検討したが、心理士、言語聴覚士、発達障害に精通した医師の配置が難しかったというお返事ですけれども、県予算説明会では、心理士について昨年よりぐんと予算をとったという県振興局の説明会があったときに聞きましたが、心理士がどこかの場面で入るのは難しいのでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 難しいと、一口には言えないかと思います。

県内でも、この5歳児の健診、始めておるところが何カ所かあると聞いておりますので、今後もそういった困難を、課題をクリアして、5歳児健診を今後しっかりと検討してまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） 発達障害に精通した医師確保について群馬県医師会では、この研修に数人中央へ派遣して、その医師がまた県内の医師に伝えるように理解を深めているということでしたけれども、徐々にですが、医師みずからの研さんが進んでいる様子です。

こういう確かな目、療育環境が保障されて初めてできるという町のお返事でしたけれども、群馬県では、通常の学級の1.7%が発達障害とされる子がいるという発表がありました。そして適切な手当があれば克服できるんだという話がありました。医師の研修も進めておられるということですが、保健師の養成も県ではしているとのことですが、我が町では参加しているのでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 研修につきましては、服巻先生という珍しい名前の先生がいらっしゃ

いますけれども、その先生の講習会等に町の保健師も参加して、研修をさせていただいておるところでございます。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） 服巻智子先生の研修を受けて、我が町も保健師の発達障害に対する研修をされているということではとしました。服巻智子先生については、この間の12月4日に桐生で脳科学者の茂木健一郎さんの発達障害についての研修に参加してきましたら、第一人者だと言っていましたし、また、そのときに個性として社会の中で捉えてほしいという話がありましたけれども、保健師の養成はしているということです。

そしてその次に、5歳児健診をしているまちなこと話だったんですが、3歳ではわからなかった発達について5歳では出るというんですね。反対に、3歳では特にわからなかったというんです。5歳で出ても3歳のときは何もなかったというんです。3歳でわからなかった障害が5歳では明らかになりましたという結果聞いたんですけれども、健診の最大の目的は、保護者が我が子の発達に気づくことということだと思いますけれども、納得できるかというところがまた難しいんですけれども。

これが12月3日の上毛新聞なんですけれども、ここに自分の子が発達障害の息子がいますというお母さんの手記がありまして、ちょっとおくらしているのかなと思ったけれども、1歳2カ月のときにバイバイ、母子手帳にバイバイできますかとか、何ができますかと書いてあるんですけれども、そのときにバイバイって、普通バイバイってこうにしますね。それをこうにするんだそうです。そうすると、ここに書いてありますけれども、普通、そういう子もいるよねと思っちゃうんですけれども、これはやはり専門家が見たら、これは反転、逆さバイバイというんだそうです。手のひらを自分に向けてこうするのは、これは発達障害の特徴なんだそうです。

こういうのというのは、本当に私たちじゃわからない。ああ、そういうのもあるかなと思っちゃいますよね。こんなことで、専門家が見ればそういうことなんだと……。

（発言する者あり）

○12番（青柳はるみ君） はい。

そうやって、やはり専門の勉強をされた専門家が参加してほしいな、こういうことでそういう発達を見破れるんだなと思いましたので、やはり心理士、医師、保健師さんの専門的な知識でもって見ていただきたいということで思います。

その中で、町では環境が整わないのでできませんというお返事でしたけれども、平成22年

から5歳児健診に取り組んでいる婦恋があります。実験で22年から3年間やったけれども、非常に効果が上がっているし、そこで発見された方は、やはり今おっしゃったような専門的な児童相談とかかかかっていて、とても好評だという、お母さん方もひとりで悩まないでいいということで継続されているそうですけれども、婦恋の取り組みでは発達障害支援法法的根拠として、早期発見、支援の取り組みを行うため、教育委員会等関連機関と連携してやっているということです。

歯科、心理士、栄養、保健、看護師が従事して、事前にアンケートを配布して、そのアンケートというのが医師会からも出ているし、県からもいろいろ出ているんですね。何ができますか、何はどうですかという、いろんなアンケートを自分で書いてくるんだそうです。それで、これをその子の誕生日に全員が受ける。この全員が受けるというのが非常に大切なんだそうですけれども、このようにやっている自治体がありますので、また研究を求めます。

5歳児健診の必要性と、今ある環境で、今できませんというお返事でしたけれども、そこでお伺いします。当町の子育て支援策のどこが手薄になっているか、町長、どう思われますか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 私どもは、子育てにつきましてさまざまな事業を行っておりまして、どこが不足しているか、手薄になっているかということでございますけれども、そのようなものは今後十分に内容を精査して、もしそのようなものがあるならば、今後充実をさせてまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） ありがとうございます。

人口減の中、社会に出られない若者がいるとたびたび言わせていただいておりますけれども、やはり人とうまくいかない、強くこだわるという個性を社会で理解されないというのが引きこもった理由と本人が言っているのを聞きます。また、ちょっと変わっている子なので小さいときにいじめられて、それがちょっと傷になっているということも本人の話で聞きます。これが障害とまで言えなくても、小さい時期に的確な対応があれば違ってきたかもしれない。町長が発達障害を理解し、見守る寛大な社会的環境とおっしゃいましたか、が必要と話されました。

一昨日、NHK 9時からの「発達障害の君が教えてくれたこと」というのを見まして、私自身も自意識が変わりました。このように映像で見るのでも、ああ、すごいな、こういうこ

とだったのかと理解が深まります。

そこで、このような映画、提案なんですけれども、どの子も見捨てないという公立の小学校の映画があります。「みんなの学校」というのがあるんですけれども、このような事業をしていただいても町民の理解が進むと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 青柳議員のご指摘の点でございますけれども、そのようなものを活用しながらも、子育て事業につきまして、これから充実をさせていく所存でございます。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） ありがとうございます。検討していただきたいと思います。

全部の若者が社会で活躍するためにも2つの事業、今申し上げました5歳児健診、または地域の理解を求める催し物、それをお願いしたいと思います。

幼稚園、保育園との連携がよくできていて、小学校へ上がる時非常に助かったという親御さんの話があります。もう二十四、五歳になる子供さんの話だったんですが、その子が幼稚園から小学校へ上がる時に、非常にこだわりが強いものですから、入学式の前日に小学校から電話があったというんですね、校長先生が来てくださいと。何かなと思って行ったら、体育館を案内して、ここであした入学式するからといって、こだわりがあるんですから隅から隅までよく調べて、時間かけて。それで次の日、入学式でおとなしくしていたというんです。お母さんに聞くと、もしそれがなければ大暴れして自分は恥ずかしいな、もう覚悟していたんだけど、前の日にその配慮があってよかったと。

この配慮というのは、幼保からのノートが行くわけですよ。連携がよくできていた。そういう話でした。やはり幼保との連携で1人の子供が大人になって社会で活躍できるまでずっと支援していただけるような、切れ目のない支援を見守っていただきたいと思いますが、その点、5歳児健診から大人まで、どうでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 切れ目のない支援ということでございます。

東吾妻町の町民のことでございますので、これからもよりよき方向に担当課とも一生懸命取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） ぜひ、将来活躍できるような子供たちにしていきたいと思いますので、お願いします。

次に、2番の質問の人材育成と重なりますけれども、町では交付金で相談窓口をつくるというようなお話が今ありましたけれども、待っているのは事は進まないということで、先進自治体ではこちらから出かけていくネウボラお婆さんという養成に取りかかっているところがあります。当事者とも行き会ってきたんですけれども、こういうネウボラお婆さんというのは、出産した直後のホルモンが変わってイライラしている、心の不安定なお母さんのところへ行ってお話をします。またヘルパーみたいな、お夕飯とか子供の離乳食もそうですけれども、出産後お勝手もしてあげる、そんなようなのがネウボラお婆さんと言います。そういう人材育成もしているところがあります。

時間がないので、次にいきたいと思います。

人材育成ということで、人材サイクル、あと当事者意識、この2つがキーワードだと自分は思っているんですけれども、まず、職員が黒子に徹して町民を次のステージへ持ち上げてあげる、これが職員の仕事かなと思います。

これを目の当たりにしたのが、もうすぐ倉淵に行きますよというところで、ここ道がよくならないやと行って何年もたっているところがあるんですね。自分たちでやればいいでしょうと言っても、できないやと言って放っておいて、もう3年は確かに、私が聞いて3年たっているんだからもっとたっていると思います。

そこで、原材料支給工事のお金で専門家の人も頼めるんだからできるよ、3人も集まりやできるよというので、そうかいということで区長さんを通じて建設課へ行きました。そうしたら、建設課の職員が次の日に来てくれたんです。これが2週間後に来たんじゃないんです。2週間後だとやる気がなくなっちゃう、しぼんじちゃう。やっぱりできないやとなっちゃうんですけれども、次の日、まだ決意が冷めやらないうちに来てくれたものですから、やろうという決意になってくれました。

これが、職員が黒子に徹して町民を次のステージに導いてくれる、こういうことだと思います。こんなことでこれが今度は地域でも当事者意識ということでやっていただきたいと思っています。

社協でやった催し物で非常にサロンの取り組みを見て皆さんが、ああいうんならできるね、やりたいね、こんなふうにする気、その気をあの場面に取り出せたと思います。こんなことで、今度は社協版ではなくて、せつかく区長さんが集まる春の会がありますので、あのときに、町内でも自分のところしか知りませんから、ああ、こんな取り組みをしているのかというのを紹介して、当事者にやってもらうのが大変だったら、写真に撮って写すだけでもいい

ですから、町内のよその取り組み、もう水路なんか昔からずっと普通にやっている。そこへちょっと若い人が入ってくる。70代が主役だったのが、若い人がそれを見て技術を覚えていくという継承がありますけれども、そんな社協のこの間のサロン版を今度、区長さん版にできないでしょうか、お考えをお聞かせください。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 区長版サロンということでございます。ご提案でございますので、そういうものを実施できるかどうか、よく担当課とも協議をいたしまして、よいことでございますので、十分に検討して、開催できればというふうに思います。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） 町長、今、区長版サロンとおっしゃいましたが、サロンの取り組みを発表されたので、自分たちもできるなという、その気を出させた場面でありましたので、いろんな地域地域の取り組み、例えば竹林を今きれいになっている、緑の県民税を使った事業もありますし、またはここの竹の機械を持って行ってきれいになっているところもありますし、そんな自分たちはこうしているよという、割合とこう、あとそんなにみんなが、地域の人がやっているのかと知らないところがあるんです。役場がやってくれないとばかり言っている地域もあるんです。

でも、ちょっと声かけたら職員がぱっと行って、次の日、熱も冷めないうちに手を打ってくれたというのがありますので、そういう取り組みの場面を見せてあげれば、自分たちもできるかなという気があると思うんです。

人材育成というお話をしましたけれども、これから職員の数も少なくなるし、自治体自体もよりコンパクト化を余儀なくされています。この人口規模に見合ったコンパクトな町づくりも短期的には進みませんが、そのときに協働の意識で当事者意識というのが、自分たちがつくっていくんだという意識というのは非常に大切だと思います。ぜひ、町を一緒につくろうよという人材育成について、研究検討をしていただきたいと思います。

また、人材育成の中から子供たちにかかわることですが、この間、地域と学校のパートナーシップという、コンベンションホールでありました、いろんな発表を見させていただきました。そのときに教育長が、いろんな人にかかわりあった子が健やかに育つよというお話しされました。非常にそれが印象に残りました。子供たち、また地域の人たちみんなでにぎやかに健やかな、一番の目的は健やかな子供をつくることですから、かかわっていきたく思いますので、よろしくをお願いします。

自分の意見ばかり申し上げましたが、検討していただけますでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 青柳議員には多岐にわたりましてさまざまな事例等もいただいて、本当に参考になった次第でございます。

そういうもの、うちの町でできるものは速やかに実施していくようにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（一場明夫君） 12番、青柳議員。

○12番（青柳はるみ君） ありがとうございます。

よく町長は、先進地を参考にと行っていただけますので、非常に助かっているんですが、ちょっとマイナス面で、ほかの自治体の動向を見てなんていうこともあるんですけども、動向を見ていたら、横一線でやるのを待っていたらいつやるのかわからないこともありますので、ぜひ、いいことは先立ってやっていただきたいと思っております。

これで終わります。ありがとうございました。

○議長（一場明夫君） 答弁はよろしいですか。

○12番（青柳はるみ君） はい。

○議長（一場明夫君） 以上で青柳はるみ議員の質問を終わります。

◎延会について

○議長（一場明夫君） お諮りいたします。本日の会議はこれをもって延会したいと思います。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（一場明夫君） 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれをもって延会することに決定いたしました。

なお、次の本会議はあす12月15日午前10から開きますから、ご出席をお願いいたします。

◎延会の宣告

○議長（一場明夫君） 本日はこれをもって延会いたします。
大変お疲れさまでした。

（午後 3時12分）

平成28年12月15日（木曜日）

（第 3 号）

平成28年東吾妻町議会第4回定例会

議事日程(第3号)

平成28年12月15日(木) 午前10時開議

第1 町政一般質問

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(14名)

1番	一場明夫君	2番	里見武男君
3番	小林光一君	4番	重野能之君
5番	竹渕博行君	6番	佐藤聡一君
7番	根津光儀君	8番	樹下啓示君
9番	山田信行君	10番	茂木恒二君
11番	金澤敏君	12番	青柳はるみ君
13番	須崎幸一君	14番	浦野政衛君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	中澤恒喜君	副町長	渡辺三司君
教育長	小林靖能君	総務課長	茂木聡君
企画課長	佐藤喜知雄君	地域政策課長	浅見梅雄君
保健福祉課長	橋爪克敏君	町民課長	三枝仁君
税務課長	黒岩康茂君	農林課長	丸山和政君
建設課長	桑原正明君	上下水道課長	高橋修君
会計課長兼 会計管理者	松井秀之君	教育課長	田中康夫君

職務のため出席した者

議会事務局長 堀 込 恒 弘

議会事務局長
議 補 佐

水 出 淳

議会事務局長
議 補 佐 高 橋 智 恵 子

◎開議の宣告

○議長（一場明夫君） 皆さん、おはようございます。

連日お疲れさまです。

ただいまより本日の会議を開きます。

(午前10時00分)

◎議事日程の報告

○議長（一場明夫君） 本日は傍聴の申し出があり、これを許可いたしました。

傍聴される方に申し上げますが、受け付けの際にお渡しした傍聴人心得をお守りの上、静粛に傍聴されますようよろしくお願いいたします。

また、傍聴席にございます議案等の傍聴用資料は、お帰りの際にはお返しくださいますよう、あわせてお願い申し上げます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

議事日程に従い、会議を進めてまいります。

◎町政一般質問

○議長（一場明夫君） 日程第1、町政一般質問を行います。

◇ 須 崎 幸 一 君

○議長（一場明夫君） 最初に、13番、須崎幸一議員。

(13番 須崎幸一君 登壇)

○13番（須崎幸一君） ただいま一場議長より許可をいただきましたので、一般質問通告書

に基づきまして質問をいたします。

町のインフラ整備事業と財源についての質問であります。

人口減少と高齢化社会の進む中で、公共施設等の更新時期を迎え、そのインフラ整備をしなければならない時期に来ていると思います。

そこで、課題になるのは、その財源の確保をどうするかということではないでしょうか。去る12月12日の議員全員協議会の中で、公共施設等の総合管理計画案が町より示されましたが、そうした中で老朽化した公共施設の更新に対する課題を再認識し、整備の必要性を町民に理解していただき、インフラ整備事業を進めていくことが大切であると考えます。

今後予定される当町のインフラ整備事業についてですが、1点目として、現在設計中の新庁舎建設事業の課題と今後の予定についてどう考えているのか。今までに示された予定では、今年度28年度に設計を行い、建設工事を来年平成29年9月に着手して、平成30年度末に完成、平成31年度に移転をすることになっていますが、その予定で変更はないのか。

また、その間、議会に対する議決事項が必要であると思います。予算関係や工事契約に関するもの、また設置する場所に関する位置条例などが考えられますが、どのタイミングで手続をとるのか、そのスケジュールについてお聞きいたします。

また、新庁舎の建設の全体の概算費用について、さきの9月定例会の議員全員協議会で示された総務課資料によると、改修建物本体工事費8億5,000万円、設計・監理費用5,200万円、附帯工事費等で1億7,000万円、用地買収費1億円、備品購入費9,000万円、旧庁舎解体費用6,300万円、健康増進施設移転にかかる改修費用として1億円、その他1,000万円、これらを合計いたしますと14億3,500万円となっております。

その財源は、主として合併特例債の発行で12億1,600万円、一般会計から2億1,900万円を充当する計画です。合併特例債では地方交付税歳入として8億5,100万円で、残りの5億8,400万円が単純に計算すると町の支出するものとなります。庁舎建設基金が6億4,000万円ありますが、計算上は財源の確保ができるように思いますが、ただし今後の工事材料費等の高騰や設計の内容により、工事費の増額変更も視野に入れた場合を考慮すると、庁舎建設基金約6億4,000万円では不足する可能性がありますので、平成28年度において最低でも1億円程度は積み立て、財源の確保を図るべきではないでしょうか。

2点目として、保育所建設事業であります。子ども・子育て支援事業計画に位置づけられているもので、老朽化した既設建物の建てかえとして原町地区に建設するようですが、当初予定のとおり平成30年度開設に向けて事業が問題なく進んでいるのか、第1次総合計画の

実施計画書では、29年度の事業費として一般財源から3億5,000万円を見込んでいます。財源の確保はどうかお聞きをいたします。

次に、今後インフラ整備事業の中で必要性があるとして取り組む事業は、ほかにどのようなことが考えられるのか、またその財源として起債による依存度が高いのではないかと考えますが、低減することを検討しなければ、借金体質からの脱却は望めないと思いますが、どう考えるか。

インフラ整備に向けての老朽化した町有施設等除却事業についてでございますが、町財産の適正管理の観点から、優先順位を決めて除却事業を行う必要があると思います。現在検討している事業は何か。

以上のことについて、質問をいたします。

○議長（一場明夫君） 続いて、町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） おはようございます。

それでは、須崎議員のご質問にお答えをいたします。

1点目の新庁舎建設事業の課題と今後の予定ですが、現在大きな課題が4つほどございます。

課題の1点目ですが、新庁舎の耐震強度の問題でございます。国が定めております官庁施設の総合耐震計画基準によりますと、一般の官庁施設は耐震強度1.0でよいとされ、これについては、ふれあいの郷はクリアできております。しかし、防災拠点の耐震強度は1.25または1.5を求められており、これが今後の課題となっております。

2点目の課題でございますが、防災拠点として耐震基準に沿った施設整備を行うには増築工事が必要でございます。

課題の3点目ですが、駐車場が狭くなる点でございます。職員の駐車場は庁舎とは別に考えておりますが、庁用車はかなりの数に上ります。

課題の4点目として、現在の出入り口が使いづらいことでございます。

今後の予定としましては、基本計画を完了して、パブリックコメントを1月中旬から2月に実施したいと考えております。その後、年度末までに詳細設計を完了したいと考えております。

議会議決を必要します手続でございますが、平成29年度庁舎建設等の予算案の議決、庁舎

建設工事や備品購入の契約締結の議決、役場の位置条例の変更の議決等がございます。今後いろいろご議決賜ることがありますので、よろしくお願いをいたします。

また、庁舎建設基金につきましては、議員ご指摘のとおり、材料費や人件費等の高騰も考えられますことから、平成28年度におきまして、できるだけの積立金を行いたいと考えております。

2点目の保育所建設事業についてでございますが、子ども・子育て支援事業計画において、老朽化した旧吾妻町の3保育所、原町、岩島、大戸を統合し、原町に保育所を建設するという計画に基づきまして事業を進めております。建設場所としまして、将来的なことを考慮し、原町幼稚園の西側隣接地の町有地等を候補地として進めておりますが、場所の特定及び用地対応に時間を要したため、スケジュール的にはおくれが生じている状況となっておりますが、極力おくれを抑えるよう事業を進めてまいりたいと考えております。

なお、建設費等に係る財源につきましては、合併特例債を充当する計画で考えております。

3点目の今後のインフラ整備でございますが、各課で各種インフラ施設の長寿命化計画等を検討しております。新庁舎後の直近の問題として、健康増進施設の移転が考えられます。健康増進センターは町外からの利用者も多く、人を呼べる施設であるため、あり方検討委員会でも答申で、代替措置を検討するよう附帯意見が述べられております。現在は関係する総務課、教育課、地域政策課を中心に、町民体育館を移転先の第1候補として検討を進めております。

4点目の質問についてでございますが、インフラ整備の財源として、地方税等の自主財源だけで事業を行うことが理想ではございますが、現実的に税収は景気の影響等を受けて安定せず、普通交付税も合併算定がえの縮減措置で減額が見込まれているため、事業実施に係る財源については地方債に頼ってしまっている状況でございます。この地方債については、交付税措置のあるものに特化しているため、将来負担比率等の悪化は最小限になるよう調整を行っております。

地方債残高に対して普通交付税措置税の占める割合は、普通会計ベースで平成21年度決算時点では73.5%であったのに対し、平成27年度決算時点では85.5%と好転をしており、実質的な借金残高は6年間で約14億円ほど減少しております。

今後のインフラ整備については、公共施設等総合管理計画により優先順位等を検討し、計画された事業の財源についても適切な財源を確保しつつ、借金体質からの早期脱却を推進してまいります。

5点目のインフラ整備に向けて老朽化した町有施設等の除却事業についてですが、来年度以降、除却事業で行う事業は、古い建物からの除却を考えております。本来の除却債では交付税措置はございませんでしたが、過疎地域においては過疎対策事業として除却債が認められ、70%の交付税措置でございます。また、現在、東吾妻町公共施設等総合管理計画を策定中であり、東吾妻町総合計画に即し、国のインフラ長寿命化基本計画、国土強靱化計画や町の行財政改革推進プラン等を踏まえて計画をしております。

今後は、人口減少による税収減などにより、財政状況が厳しくなることが予想されるため、施設の老朽化や施設利用状況を踏まえ、効率的な施設の維持管理、運営、規模や配置の適正化を検討してまいります。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） 最初の再質問なんですけれども、庁舎建設についてですが、現在では14億3,500万円ということで全体経費が明示されておりますけれども、今後、多分変更になるというふうに予測されるんですが、具体的にわかりませんが、詳細設計がまだでき上がっていないという段階ですので、わからないのかなと思うんですけれども、このでき上がった段階でしっかりとした全体的な庁舎建設の費用というのが出されるのでしょうか、その辺がちょっとお聞きしたいんですけれども。少なくとも3月の定例会には当初予算として組むというふうな、工事予算ですか、というふうに、計上するというふうに先ほどお伺いしましたけれども、全体の事業費を示していただける時期はいつなのかお聞きしたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 議員のご質問のとおり、詳細設計ができ上がらないと詳細な工事費用というものは算出ができません。詳細設計につきましては、本年度中にでき上がるように検討しております。

なお、建設工事費用につきましては、基本設計の段階ではありますが、概算の費用として、平成29年度当初予算として3月定例会に提案をしていきたいと考えておるところでございます。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） なるべく早い時点で、決定した時点で議会のほうにお示しをしていただきたいかなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

それと、今後の庁舎建設についてのスケジュール等、できれば具体的な計画を示していただきたいと思うんですけれども、そうでないとなかなか、議会ももちろんそうなんです、町民の人の理解と協力を得られないような気がいたしますので、ぜひその辺も具体的なスケジュールを示していただきたいというふうに思います。これも3月の定例会前までにはお願いできればというふうに思いますけれども、その点について、町長、どうお考えでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 議員ご指摘のとおりでございますので、でき得る限り、出し得る皆様に公表できるもの等は早目にお示しをしたいというふうに思っております。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） それと、議会議決を必要とする手続について、具体的にいつごろという時期的なものというのが示された回答がなかったと思うんですけれども、予想されることは私が質問の中で予算関係であったりとか、条例関係であったりとかということをお話しさせていただいたと思うんですけれども、町長もそのとおりの答えをいただいたんですが、実際にじゃ、いつごろこの時期に、一番最初は多分予算関係で、新年度予算ということで3月定例会出されるんでしょうけれども、位置条例ですか、これについては地方自治法の中でも、きちんとうたわれておりますけれども、かなり重要な庁舎の位置が変わること、条例改正には議会でのハードルも高いと思うんですけれども、それを議会に示す時期、これはいつごろかというのが町長の中であれば教えていただきたいんですけれども。

全く考えていないということであれば、それはそれで結構だとは思いますが、私が思うには建設をして、ある程度のめどが立った時点というふうな部分が考えられるんですが、やり方としてそれ以前にいつからというふうな形で、位置条例の改正ですか、出されることも可能だとは思って、それは町長の考え方一つかなというふうに思っているんで、お聞きいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 位置条例につきましては、新庁舎の工事が進捗をして、そしてこの旧の庁舎から移転ができる見通しが立った段階で諮るのが一番最善ではないかなというふうに思っております。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） そうしますと、移転の予定が立った時点ということになりますと、来年の9月に、この予定ですと着工、着手して、1年半をかけて完成のほうに向けていくと

ということですが、大体工事自体がめどが立っていくということになると、大体1年ぐらいかかるんですか。平成30年の、1年後の9月の定例議会ぐらいが1つの目安になるのかなと私なりに思うんですが、町長、いかがでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 議員お考えの時期というものが、1つのガイドラインというんですか、なるかとは考えております。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） その辺につきましても、ある程度の予想じゃないんですけれども、スケジュール、これからの流れについて、紙面等で示していただければありがたいかなと思いますので、ぜひ早目にお示しをいただきたいというふうに思います。

私はこの庁舎建設問題については、現在のこの本庁舎、非常に老朽化して、耐震性に非常に問題がある庁舎ですので、一日も早く移転をとというふうに願っております。それに向けて町長、ぜひ進めていただきたいかなというふうに思っておりますので、一日も早く移転が済むように努力していただきたいと思いますが、町長の考えをお聞きいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 現在の庁舎、60年が経過しようとしている古い建物でございまして、耐震的にも問題があるということでございます。前にも申し上げましたように、東日本大震災の折に秋篠宮殿下、妃殿下が町に来ていただきまして、町の役場で休んでいただくという提案を宮内庁にしましたら、どうもそれは無理でしょうと言われていたわくのある庁舎でございますので、これから新しい庁舎、東吾妻町のシンボリックな庁舎になろうかと思っております。早期に建設を進めて、新しい庁舎で職員の皆様にもばりばりと仕事をしていただくようにいきたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） 次の再質問をさせていただきます。

保育所の建設についてですけれども、子育て支援事業のハードの部分で大変大切で、必要性の高いものであるというふうに認識しております。保育施設の環境改善、これ子育て支援の本当に一番の面かなというふうに思っております。

早い建設を望む声が高いと思いますけれども、どうも先ほどの町長の答弁ですと、進捗状況が若干用地交渉の問題で揺れておるということでございますけれども、平成30年4月開所に向けて迅速かつ手戻りのないように、確実に事業が進むように取り組んでもらいたいと思

いますが、どう考えているのでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 保育所の建設事業につきましても、先ほどの答弁でお答えいたしました。議員ご指摘のとおり、事業の進捗状況は用地問題等でおくれている状況となっております。保育所建設場所の特定と、それに伴います用地の確保に時間が要したというものが大きな原因でございます。これにつきましても、早期完成を目指して、今後も事業を進めてまいりたいと考えております。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） 保育所の建設については、若干隠れて見えない部分があるんですが、文教施設として隣接する原町幼稚園がございますけれども、これの増設工事、今年度設計に入って、今設計をされていると思うんですけども、これが平成29年度に予定されるのではないかなと思うんですが、その点についても、これ保育所の建設と幼稚園の増設事業計画、これセットのような気がするんですけども、この点について町長として、平成29年度に両方セットで工事が進み、30年4月ですか、開設ができるのかどうか、幼稚園については幼稚園型認定こども園の開設につながると思うんですけども、その点について町長の考えをお聞きいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 幼稚園と保育所の今後の制度のあり方を考えた場合、当然、保育所建設と幼稚園の受け皿としての整備はセットで行うことと考えておるところでございます。そのように考えまして、しっかりと進めてまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） 幼稚園の増設工事、実際に建設費がどのぐらいかかるかというのは、今設計をしている段階で、把握、私なんかも、全然明示されていないのでわからないんですけども、また総合計画実施計画書の中にもうたわれておらないという部分では、把握し切れていない部分があるんですが、その点、多額の金額がかかるとなると保育所の建設、先ほど私質問の中でお話しさせていただきましたけれども、3億5,000万円ほど29年度には事業費として予定をされておりますけれども、この幼稚園の増設工事にかかる費用というのはどのぐらいかというのは、現段階で町長は把握なさっているのでしょうか、お聞きいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 原町幼稚園の増改築ですか、これにつきまして今、設計業務を業者に

依頼中でございます。工期は来年になるのでございますので、まだ具体的な金額というものは、ちょっと私も把握をしている段階ではございません。そのような状況でございます。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） 大型プロジェクトとして一番の庁舎建設、そして私のほうで理解しているのは保育所建設かなというふうに、新年度のところで見ているんですけども、プラスアルファまたこの原町幼稚園の増設ですか、どのくらいの規模かというのも今把握していないということなんですけれども、これも工事が高額になるようなことになれば、いろんな部分で新年度の予算、今、予算編成を一生懸命取り組んでいられると思いますけれども、かなりの平成29年度は大きな予算編成というか、予算額が生まれるんじゃないかなというふうに懸念しているところだと思うんですけども。

仮に、予算を、仮の話というのは余りいけないかなとは思うんですけども、幼稚園と原町保育所が同時にできればいいんでしょうけれども、今の話の中で予算的な部分で難しいという部分になったときには、今、幼稚園の増設工事の設計は進んでいると思うんですけども、保育所のほうの設計についてはまだ入っていないという状況だと思うんです。予算化はされてあったとしてもですね。そういった中では、どうも順序とすると、当初計画の保育所よりも幼稚園の増設工事のほうが先に工事が始まるようなこともあり得るというふうに考えてよろしいんでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 議員ご指摘のように、原町幼稚園増改築のほうが先になる可能性もあるんじゃないかということでございますけれども、現在のところは、そのところははっきり申し上げられませんけれども、そういう状況になる可能性もあるということでございます。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） 素人から見ても、その可能性が順序とすればあるような気がするんですけども、なぜかという、何回も申し上げますけれども、幼稚園の増設工事については、既に設計が発注されて業者さんが取り組んでいると思います。でも保育所のほうの建設に対する設計はこれからなんですよね。ということを考えると、優先順位が同じだとするならば、先に先行している部分を予算化するというのが順序かなというふうになったものから、今お聞きしたところであります。

よく検討していただいて、町長、町民、特に子育て世代の方に対する非常に重要なハードな部分でございますので、早期に事業化して完成するように努力していただきたいと思いま

す。

時間がありませんので、次に進みたいと思います。

今後予定されるインフラ事業についての説明が、健康増進センターの移設をというような説明があったんですけども、インフラ整備ってたくさんあると思うんですね。道路インフラももちろんそうなんですけれども、先ほど言った文教施設の中の幼稚園もそうなんです。中央公民館の耐震工事なんかもこれから必要になってくるのかなと思うんです。

それから、さらに新聞でちょっと載りましたけれども、旧太田中学校跡地の吾妻広域消防本部東部消防署の移転計画ですか、この間の全協でもお話をさせていただきました。それに係る建設事業費等もございますけれども、その辺についての町長の考えをお聞きしたかったんですが、こういうことがあるよというような話がなかったんですが、今のは、私が申し上げたものってとても大事なような気がするんですけども。

道路インフラにつきましては、長年の懸案事項であった坂上地区の馬場・手子丸線ですか、道路改良工事、これ10年ぐらいもうかかっているのかな。さらにこれから多分5年ぐらいかかる中でやらないと多分できないのかな。平成27年度から32年度で延長2.1キロで8億4,800万円とかありますし、また、改良工事といえば矢倉・沢尻線県代行による岩島橋のかけかえ工事ですか、そういったことも、これについても予定では事業費として平成29年度は5,000万円、30年度に8億3,000万円予定しているような計画になっていますので、これ多分難しいのかなというふうに今は予想されます。

また、上信道の関係するアクセス道路の整備、これなんかも出てきますし、橋梁の長寿命化もありますし、また上水道の老朽化更新事業、毎年石綿セメント管の更新事業やっていると思うんですけども、こういったことも継続してやらなくちゃならないということで、本当にいっぱいこれから道路インフラのメインとなる、お金がたくさんかかる事業があるような気がするんですが、その辺の認識についてどういうふうに考えているかお聞きいたします。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 中央公民館ですとか、広域消防本部東部消防署を太田中学校に改修して移転するというお話もございます。また、坂上地区の町道馬場・手子丸線道路改良、これも現道が非常に危険といいますか、特に冬場の状況は非常に危険な状況でございます。そのようなことから改良等進めておるところでございます。これにつきましても、財源としては厳しい中でありまして、地域の皆様の要望等もございますので、これは着実に進めていかなければならないと思っております。

また、岩島橋のかけかえでございます。この工事也非常に老朽化をしており、上信道が矢倉駅の対岸を通るということでございますので、その上信道の整備にあわせてこの岩島橋もかけかえをしていくという方針であります。これにつきましては、何といたっても橋梁は非常に金がかかるという状況でございます。吾妻ふるさと大橋につきましては、今工事中でございまして、これも以前は街路事業でやっております、県事業であっても町の負担が18%あったというものでございますが、県にお願いをして仕様がえをして道路事業で、町負担をゼロにしてもらったというふうな経緯もあります。岩島橋につきましてもこういったことで、町道でありますけれども、県の支援をいただくような形で事業ができればいいなというふうに考えております。これも財政上の考えからでございます。

中央公民館でございますけれども、これは建設から41年が経過をしているということでございます。利用実績から見れば、非常に多くの皆様に利用されておりました、年間延べ1,500団体、2万人にも上っているということでございます。耐震診断によりますと、補強が必要な施設ということでございまして、これにつきましても今後の利用等も考え、そしてまた町民の皆様のご利用になる上で、防災・安全の対策を最重要課題と捉えまして、今後安心して利用していただけるような施設になるよう取り組んでまいりたいと思います。

また、東部消防署、広域消防本部、これにつきましては、現在の原町吾妻警察署のそばに所在をいたしますけれども、皆さんごらんになっているかと思っておりますけれども、大変これも古くなってきておる。非常に入ってみてびっくりしますけれども、部屋が狭く、天井も狭く、仕事をしている人は大変だなというふうに思っております。また消防車の車庫も狭く、消防車が入り切れずに外にとめておる、常時いるというふうな状況も見ております。また、消防署員の日々の訓練も非常に重要なものでございまして、現在の施設ではその余裕もなく、非常に手狭な中でやりくりをしているというふうなことでございます。

そのようなことから、太田中学校を利用して今後吾妻郡、そして地域の防災の拠点として整備をしてみたいと思っております。これにつきましては、広域関係の事業でございますので、各町村の負担等もいただきながら行うということになっております。そのように、厳しい財源の中でインフラ整備、必要となっている時期にございます。さまざまな手法を使って、財政になるべく負担のないような形で実行できればというふうに思っております。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） 今後のインフラ整備事業、今私が、町長答えていただけなかったん

で、かなりの部分でお話をさせていただきましたけれども、基本的には、裕福な町であって、財政的な確保ができればいいんですけれども、財源の確保という部分では非常にこの町、大変厳しく思います。いろんな事業、インフラ整備をしなくちゃならない時期に来て、それが一遍に来た場合には多分財政上それは許されない部分があって、計画的にやらずにやらないと思いますけれども、今申し上げた部分ってかなり金額的にかかる部分だと思いますけれども、その辺慎重に財政計画を立てて、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

1点だけお聞きしたいんですけれども、直接じゃないんですが、東部消防署の移転計画に係る関係なんですけれども、町長が考えているところの所在町村だと50%というふうな話を聞いていますけれども、新聞紙上では8億円ぐらいですか、出ていた、上毛新聞に出ていた。そのうちの4億円ぐらいを負担しなくちゃならないという部分なんですけれども、多分私が思うには、広域のほうで有利な起債を利用したりとか、またふるさと振興基金などを利用してやるんじゃないかなと予想されるんですけれども、その点は間違いないでしょうか。また、そうでなければ、やっぱり町長のほうから提言をするような形で広域のほうに言っていただいても結構だと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 東部消防署、広域消防本部のことにつきましては、広域事業でございますので、所在市町村が半分を負担するというところでございます。8億円という話がございましたけれども、これは確定したものでございませぬ。本当に大まかなものでございます。大まかなものでありますので、その点についてはご承知をいただきたいと思っております。

そのようなことでございます。広域のふるさと基金等も2億円ほど現在東吾妻町分があるというふうなことでございますので、そういうものを利用しながら、また広域としての起債等も考えながら、進めてまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 13番、須崎議員。

○13番（須崎幸一君） ぜひよろしく願いいたします。

平成29年度をもって10年間の第1次総合計画、来年で終了しますけれども、この計画で全ての事業ができたわけではないと思っております。次期計画の中で積み残した事業を盛り込むとともに、新規事業を取り上げていくものと思っておりますけれども、どの部分に力を入れて優先順位を決め、めり張りのある事業展開を行って、町民の皆さんに理解しやすい透明性を持った行政運営に取り組んでいただきたいと思っております。

町長には、町のリーダーとして来年は8年目を迎えるわけでございます。8年間の集大成

として十分な成果が出るように、ぜひ町民のために施策事業の先頭に立って努力をしていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

最後に一言。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 須崎議員に大変激励をいただいたような気がいたします。

先ほどから申し上げましているように、インフラ整備、非常に今集中をしてきているところでございます。しかし、先ほども申し上げましたように、これを乗り切るにはいろんな手法を議員の皆様や職員の皆さんと一緒に知恵を出し合って、英知を結集してこの時期を乗り切っていかなきゃならないというふうに思っております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 町長、総合計画のどの部分に力を入れるかというようなことを問うていたと思います。

○町長（中澤恒喜君） 総合計画でございますが、平成29年度をもって10年間の第1次総合計画が終了いたします。次期計画に向けて、行政運営についてのご質問でございますけれども、議員ご指摘にもございますように、めり張りのある事業展開を行って、町民の皆さんに理解しやすい行政運営に努めてまいりたいと考えております。これもあわせて、皆さんのご理解をいただいて進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（一場明夫君） 以上で須崎幸一議員の質問を終わります。

◇ 金 澤 敏 君

○議長（一場明夫君） 続いて、11番、金澤敏議員。

（11番 金澤 敏君 登壇）

○11番（金澤 敏君） それでは、通告に従いまして、一般質問を行ってまいりたいと思います。

今回の質問は、昨年6月定例会でも行いましたが、全くこちらの意図する内容を理解されずに、ピントのずれたといいましょうか、意図的にはぐらかすといいましょうか、議論がかみ合わなかったというのが私の率直な感想です。ぜひきょうは議論のかみ合うようにしていただきたいと思います。

さて、まずなぜ自治体が小規模企業振興基本法の7条により振興条例を制定するのかの意味合いについて伺います。

この条例は、理念条例と言われるとともに、7条では小規模企業への支援を自治体の責務と明記しております。その理念や責務について、町長の理解と認識について伺いますので、明確な答えをしていただきたいと思います。以後、幾つかの項目に分けて質問をいたしますけれども、同様に明確な答弁を求めてまいりたいと思います。

さて、次の質問ですが、地方創生が、アベノミクスの企業が世界で一番ビジネスのしやすい環境づくりを、ただ単に地方に舞台を置きかえただけのものであったことが鮮明になってきております。企業のために地方がよいように利用されるだけでは、たまったものではありません。このような状況ではありますが、何としても対抗手段として地域の住民の施策、地域の中心にいる小規模企業のための施策にしていかななくてはならないのではないのでしょうか。

そのために基本条例や基本計画はまさに重要であります。その基本計画を作成するための3つの定石として、振興条例制定、小規模企業振興会議の設置、そして地域経済並びに小規模企業の実態調査となっております。これがその3つの定石であります。具体的施策を検討にするにしても現状を把握しなくてははいけません。具体策は根拠がなくなることから、11条において実態調査の実施を求めております。昨年の6月の議会以降1年半がたちますが、その取り組みが行われたのかどうか、これを伺います。

3つ目の質問ですが、総合計画や実施計画、そしてアクションプランでも目指している企業誘致のような外来型の施策ではなく、地域内での経済循環の創設などの内発型の発展志向を目指すことが、地域の発展的方向性の再生の足がかりとなるのではないかと思います、町長の考えや認識を伺います。

4つ目の質問ですが、循環型で仕事が地域内で回れば地域が元気になるということで、住宅新築改修等補助事業が始まっております。その効果は既に実証済みであります。27年度は59件、補助金額は1,328万2,000円。補助率や補助金の上限を加味すれば、その経済効果は数十倍になるはずで

す。地域消費喚起や生活支援との名目で行われたプレミアム商品券事業が限定的、一過性、一時的だったと消極的評価が多かったと聞いております。このような一過性な施策ではなく、地域経済や地域活動が活性化され、税収もふえ、自治体にとってもメリットのある次の一手を考えるべきだと思いますが、町長の考える活性化策をお答えいただきたいと思います。

以上、大きな4点の項目について質問しました。今後は自席にて質問を続けてまいります。

○議長（一場明夫君） 町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） それでは、金澤議員のご質問にお答えをいたします。

小規模企業振興基本法を生かす町の具体的な施策といたしましては、小口資金融資促進による資金繰りの支援、商工業経営振興資金の利子補給、空き店舗利活用支援による創業支援、経営支援、また企業立地の優遇措置による事業規模の拡大支援と創業支援、住環境向上を図るとともに、町内建築関係関連業振興を図るために、住宅新築改修における支援などを行ってきております。

町といたしましては、小規模企業は地域の需要に応え雇用の一端を担うなど、地域経済の安定と地域住民の生活の向上に重要な存在であることや、小規模企業が地域の重要な担い手である認識のもと、今後も小規模企業の振興に努めていく必要があると考えております。

議員ご指摘の施策の策定実施につきましては、群馬県では本年の4月に小規模企業振興条例を制定いたしました。これに連動した取り組みを町でも検討していきたいと考えております。

また、小規模企業の実態を明らかにするための調査についてでございますが、現在町では実施しておりませんが、商工会とも連携し、町内における小規模企業等の実態把握に努めて、施策に生かせるように考えております。

いずれにいたしましても、地域の重要な担い手である小規模企業の持続的な発展を目指し、今後も資金繰りの支援や、創業支援、事業規模の拡大支援などを行うとともに、東吾妻町商工会とも連携して、小規模企業の振興、ひいては地域の活性化に努めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） ほとんど1年半たっても同じような答えが返ってきております。何の発展もないなと感じてしまいましたけれども、まず町長に伺いますけれども、今このように小規模企業振興条例制定を各自治体が行い、大分ふえてきておりますけれども、何で制定するのかという理由について、その意味合いについて町長のお考えをお聞かせ願いたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 先ほども申し上げましたように、小規模事業者、おおむね常時従業員の数が5人以下の事業者ということでございまして、小規模企業者と言っておるということでございます。そのようなことでございますので、先ほども申し上げましたように、東吾妻町におきまして、地域の重要な1つの地域経済の部分を占めておるものでございます。このようなことから、基本法によりまして、地方公共団体にその振興についての責務等を明らかにして、そして小規模企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進をして、この地域内全体の健全な発展を目指すということでございます。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 今、町長、お答えになりましたけれども、そういうふうにして地域内の小規模企業を何とか守っていくんだというような内容の発言でありましたけれども、じゃ、1年半たっぴいまだまだ条例もつくらない、群馬県がつくったからちょっと考えてみようかなぐらいの答えしかなかったわけなんですけれども、本当の意味合いってどういうものかと、もう一度しっかり考える必要があるんじゃないですか。

やっぱり自治体のスタンスがどこにあるんだ、そこを明確に示すために、私言いましたよね、理念条例なんです。こういう理念でもって、この町は小規模事業者に対してしっかりとあなた方と連帯しながら、この町をつくっていくんだと、そういう意味合いがあるから、条例制定を1年半前に求めているわけですよ。

我が町総合計画、実施計画、アクションプラン等々計画立てます。理由は同じだと思いますよ。そういうものがない限り、ちゃんとした地に足のついた施策ができないから、そのために、一生懸命そういう計画等をつくっていくわけでしょう。それと同じなんです。

だから、今、町長から何点か、小口資金のことやら利子補給のことやら、そういう幾つかのことやっているからいいじゃないかというような雰囲気だったんですけれども、それじゃ行き当たりばったりなんです。理念としてちゃんと持っていない限り、この町の小規模企業さんに対する姿勢が見えないんです。

これは何で作らなきゃいけないかという、この行政職員、役場の職員ですよ。その課では小規模企業者、そして地域住民に対して理解してもらうために必要なんです。意識の共有ですよ。そのために、つくらなきゃいけない。これはそれで企業分野だけではとどまらないで、教育、福祉などそういうところまで及び、あともう一つ、首長がかわろうが、条例があればちゃんとその町はそういう方向で進んでいくんだと、そういう理念、その辺の意味合い、私いろいろ述べましたけれども、町長の考えを伺いたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 私も、先ほど申し上げましたように、やはりこのことにつきましては、地方公共団体、小規模企業者に対する積極的な支援をしていくという、そういった責務を明らかにしていくものでございまして、昨年度は前橋市、館林市で条例を制定をしたところでございます。今年度におきましては、先ほど申し上げましたように群馬県、そしてみなかみ町が施行したということでございます。このような中で、逐次その広がりが見えてきているということでございますので、今後もそういったことを踏まえながら、東吾妻町でもこれから取り組んでまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 少しお待ちください。質問の途中ですが、ここで休憩をとります。
再開を午前11時15分とします。

（午前 11 時 00 分）

○議長（一場明夫君） 再開いたします。

（午前 11 時 15 分）

○議長（一場明夫君） 休憩前に引き続き、町政一般質問を行います。

11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） それでは、ちょっと別の角度からまた質問を続けさせていただきますけれども、小規模企業の実態調査把握に努めたいというような答えが町長ありましたけれども、私、1年半も前にも言ったんですけれども、こういう問題、商工会とかそういうところに丸投げするのではなく、ちゃんとこの職員が、役場職員が、担当課ありますから、そういうところがしっかりと一件一件実態調査を行って、本当にどういうことを悩みに持っていたりとか、どういうことで今後、町とかかわっていきたいのかとか、そういうことの実態調査が必要なんじゃないかということを訴えたわけなんですけれども、町長としては前向きに把握に努めたいというような表現であったものですから、ぜひ、きょうこうやって新任の職員の方も来ています。こういう方に実態をつかむようなそういう、担当課が違うから違うと

言われればそれでおしまいなんですけれども、そうじゃなくて、なるべく若い職員にいろいろな今の町の現状はどうなんだと、そういうところをつかむためにそういう実態調査に出向かせる、そのような考えありませんか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 今、東吾妻町商工会に丸投げをしてどうのこうのというお話でございますけれども、丸投げという表現はちょっといかがなものかと思っておりますけれども、やはり商工会につきましても、やはり商工業の関係につきましても、専門家集団が集まった集団でございますので、そういう方々が調査することも非常に迅速に、また有効に調査ができるかなというふうには思っておるところでございます。それ自体、商工会の1つの事業として実施ができるのではないかなというふうには思っております。

職員を直接当たらせてはどうかということもございまして、それも1つの大きな提案だと思っておりますけれども、今後そういうものも含めまして検討してまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 丸投げでというような表現はちょっと取り下げさせていただきますけれども、私が言いたいのは協働でやっていくという方向ですよね。何とか、私、役場職員が実態調査に入っていない限りこの問題が、特に条例制定なんていう方向性は見えてこないんじゃないかなと思うから質問をしているのでありまして、ぜひ職員みずからが実態調査を行っていくんだというような方向性、それに商工会の方々との協働。ですからやっぱり制定の意味としてのところで言いましたけれども、意識の共有ですよね。町と小規模企業者と、そして地域住民、この意識の共有をするためには、そういうことが必要なんではないかなと思うから質問しているんであって、ぜひそのような方向で進めてもらえるようなことを願っているんですけれども、町長の考えを伺いたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 金澤議員のご意見でございますけれども、金澤議員の思いというものもございまして。そういうものもひとつ頭に入れて、今後は町職員が地域を把握する中で、また小規模事業者の皆さんの把握もしていくという意味で言っているのかというふうには思っておりますけれども、今後も、申し上げましたように、東吾妻町商工会との連携を深めながら、さらに小規模企業の皆様の支援をしてまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） じゃ、そのように本当に前向きに検討していただきたいと思っております。

もう一つ、別の角度から、地域経済というところからお聞きしたいんですけれども、住宅新築改修等補助事業の今までの経済効果や経済波及効果等があったと思いますけれども、これちゃんとしっかり把握していると思いますけれども、ちょっとその数字等お知らせください。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 金澤議員も先ほどご質問の中にございました。我々は住宅新築改修等補助事業といいまして、一般的にはリフォーム補助金というふうな簡略的な言い方もしておりますけれども、昨年度は議員のご指摘のとおり59件、1,328万円余りが充当されたということでございます。このように、これは年々その補助該当件数がふえている状況にあると思っております。やはり大工さんと、それから上下水道関係の業者の皆さん、両方に係る、非常に両職をタイアップさせて、そして両方を活性化する非常にいい事業でございますので、これは非常に先進的なものでございまして、力を入れてまいりたいと思っております。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 私の質問は町の実績を聞いているわけじゃないんですよ。上限があったり率があったりして出た金額は、町から出た金額が1,300万円ということはわかっているんです。それによってこの町にどれだけ、町というか、東吾妻町全体にどういう経済効果があったんだと、波及効果があったんだか、それつかまなければ、事業を進める上で意味ないんじゃないかなと思うんですけれども、地域政策課はその辺をちゃんと試算していないんですか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） このリフォーム補助金、非常に議員ご指摘のとおり有効な事業でございまして、やはり大工さんなり上下水道事業者が資材を購入して行うということでございまして、そのついでにその住宅のほかの部分も直していただきたいと、隣がやったから私のうちも続けてやってくださいとか、そういうふうなことで広がっていることは確かでございます。そのようなことで、実態的にそういった広がり細部まで集計して、その経済効果といえますか、そういうものははかり知れないものがあると思っております。

今後もこれにつきましては、しっかりとPRしながら、町民の皆様にもPRしながらご利用いただいて、また関連業界の皆様活性化を図ってまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長、経済効果を把握しているかということを問うていると思いますけれども。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 今申し上げましたように、はかり知れないものがあるので、具体的に何百万、何千万という金額は、お示しはできないということでございます。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 1つの事業を行うのに、本来ならそのところをつかんでやるのが私は筋だと思っているわけです。だから、とりあえずやっておけばいいやというような言いつばなし、出しつばなし、やりつばなしみたいなどころへつながっていくようにしてならないんですよ。本当にそこをちゃんと担当課が把握して、この事業は町民のためになっている、地域経済のためになっているんだというところを把握していきやいけないんじゃないかなと私は思うんですけれども、今の町長の答えでは、はかり知れない効果というような表現でしか出していただけなかったんですけれども、これ以上追及しても仕方がないんで。

では、プレミアム商品券、我が町も行いました。この我が町における評価と経済効果、これについてのお答えをいただきたいと思います。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） プレミアム商品券発行いたしまして、町民の皆様に広くお使いをいただきました。私どもが聞いている中では、非常に使いやすかったと、有効な買い物ができたというふうなことを聞いておるところでございます、これについても非常に効果があったと認識をしているところでございます。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） そういう高評価だったという捉え方でよろしいわけですね。じゃ、全国的な評価に比べたら、我が町はすごいよかったということでもあります。だったら、その事業、町単独でもいいからそんなに経済効果が上がっているんだっただらば、来年度も行うとか、そういう計画はありますか。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） これにつきましても、町の商工会等の皆さんと意見交換等も行いながら、商工業の活発化に有効な制度であるというふうに思っておりますので、意見交換をしながら、今後進めてまいりたいと思います。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） そうですね、町長が高評価を出した事業でありますから、私の聞いているところでは大した評価を聞いていませんけれども、町長が高評価であったんだっただらば、

ぜひ続けていってほしいと思います。うちの町としては、財政的に厳しくなるとは思いますが、それでも、それで地域中に地域経済が活性化していくんだったら、いたし方がないのかなと思っております。

時間がちょっともう足りなくなりましたので、単刀直入に伺いますけれども、この小規模企業振興条例基本計画等、群馬県がことしの4月から、各町村でも、中之条町も今年度中にはというような話を聞いておりますけれども、我が町はいつごろつくるといような計画があるかちょっと聞かせていただきたいと思ひます。

○議長（一場明夫君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） これにつきましては、町商工会等のご意見もいただきながら、早急に対応して、これを制定してまいることを積極的に取り組んでまいります。

○議長（一場明夫君） 11番、金澤議員。

○11番（金澤 敏君） 今回の町長の発言、きつこの町として重く受けとめて進めていくということを私、確信したわけなんですけれども、本当に町民と小規模企業者との共通認識を持って当たっていると。それなくして、協働の町づくりとかいう表現で総合計画の中でもうたっていますけれども、それを実現するのがこういう一つ一つの計画なんだということを述べまして、ぜひ今の町長の発言進めていってほしいと思ひます。

以上で私の質問を終わらせていただきます。

○議長（一場明夫君） 最後に答弁はよろしいですか。

○11番（金澤 敏君） 結構です。

○議長（一場明夫君） 以上で金澤敏議員の質問を終わります。

これをもって町政一般質問を終わります。

○議長（一場明夫君） お諮りいたします。会議規則第45条の規定に基づき、本会議の結果、その条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思ひます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（一場明夫君） 異議なしと認めます。

したがって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に一任することに決定いたしました。

○議長（一場明夫君） お諮りいたします。本定例会に付された事件は全て終了いたしました。したがって、会議規則第7条の規定により、本日をもって閉会にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（一場明夫君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会はこれをもって閉会することに決定いたしました。これをもって本日の会議を閉じます。

◎町長挨拶

○議長（一場明夫君） 閉会の前に町長の挨拶をお願いいたします。町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 平成28年第4回定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

去る6日に開会をされました今期定例会におきましては、東吾妻町固定資産評価員の選任について、人事案件1件、東吾妻町情報公開条例の一部を改正する条例を初め条例関係9件、平成28年度東吾妻町一般会計補正予算を初め予算関係7件、工事請負契約の変更締結について、その他関係1件を提案させていただき、原案のとおりご議決をいただき、本日、閉会の運びとなりました。

また、議案審議や一般質問におきまして頂戴いたしました貴重なご意見、ご提言につきましては、真摯に受けとめ、今後の町政運営に反映してまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

議員の皆さんには、この1年、町民の代表として重責を果たされ、重大なご尽力をいただきましたことに深く敬意を表するとともに、心から御礼を申し上げます。これから、寒さも一段と厳しさを増してまいりますが、議員皆様におかれましても、年末のお忙しい時期、健

康にご留意をされ、輝かしい新春を迎えてくださいますようご祈念申し上げまして、閉会の挨拶といたします。

ありがとうございました。

◎議長挨拶

○議長（一場明夫君） 閉会に際し、ご挨拶を申し上げます。

平成28年第4回定例会は、12月6日から本日まで10日間にわたり開催され、人事案件、条例、平成28年度補正予算、その他の執行部提案に加え、委員会提案の意見書等、終始熱心にご審議をいただきました。

また、町政一般質問には6人が立ち、ここに終了することができました。

10日間にわたる会期中、格別なるご精励を賜りました議員各位、また諸般にわたりご協力をいただきました執行部の皆様に心からお礼を申し上げます。

会議中の発言には、町政執行するに当たり参考になるものがあつたかと思えます。東吾妻町における地方創生をより具体的に推進するための新年度予算編成に当たり、それらが十分生かされてくるものと期待しております。

ことしも残り少なくなりました。これからは、寒さも増してまいります。健康や事故に十分ご留意され、輝かしい新年に期待を託しながら、ご家族ともどもよい年を迎えられますことをご祈念申し上げて、閉会の挨拶といたします。

◎閉会の宣告

○議長（一場明夫君） 以上をもって平成28年第4回定例会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

（午前11時36分）

地方自治法第123条の規定により下記に署名する。

平成 年 月 日

東吾妻町議会議長 一場 明 夫

署名議員 重野 能 之

署名議員 竹 淵 博 行

署名議員 佐 藤 聡 一